
2012(平成24)年度

事業報告書

学校法人 麻布獣医学園

2012 (平成24) 年度 事業報告書

目次

I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 設置する学校	1
3. 沿革	2
4. 将来に向けてのビジョン[学校法人麻布獣医学園中期目標・中期計画]	4
5. 機構図	6
6. 役員・評議員	7
(1) 役員	7
(2) 評議員	8
7. 学生・生徒の状況	9
(1) 入学定員, 収容定員, 学生・生徒数, 収容定員充足率	9
(2) 専任教員一人当たりの学生数	10
(3) 留学生数	10
(4) 社会人学生数	10
(5) 非正規課程履修者	10
8. 教職員の状況	11
(1) 大学教員(常勤)	11
(2) 高等学校教員(常勤)	11
(3) 職員(常勤)	11
(4) 非常勤教職員	12
(5) 年齢別大学教員数(常勤)	12
(6) 専任教員と非常勤教員の比率	12

II 事業の概要

1. 平成24年度事業計画の実施状況	13
2. 教育研究の概要	19
(1) 平成24年度の教育実施体制	19
(2) 教育に関する情報	20
① 入学者の選抜	20
② 教育課程	27
③ 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準	31
④ 平成24年度卒業生・修了者数及び進路状況	36
⑤ 国家試験合格率の推移	38
⑥ 退学者数・中退率・留年者数	39
⑦ 学習環境	40
⑧ 学生納付金	42
⑨ 学生支援と奨学金	44
⑩ 学生表彰制度	46
⑪ 学生の課外活動の状況	46
⑫ 国際交流	47
⑬ 大学間等の連携	48
⑭ 高大連携協定校	48

(3) 研究に関する情報	49
①競争的資金等受入状況	49
②学内競争的資金の状況	50
③知的財産データ	50
④受託研究等の受入状況	51
(4) 麻布大学附属瀧野辺高等学校に関する情報	52
3. 管理運営の概要	55
(1) 学園運営に係る会議等	55
(2) 会議等の開催状況	55
(3) 平成24年度 行事報告	63
4. 前年度決算監査における監事要望事項の履行状況	71

III 財務の概要

1. 財務状況の推移	74
2. 財務比率の推移	76
3. 寄附金収入の推移	78
4. 経常費補助金の推移	78
5. 動物病院収入の推移	79
6. 資金残高	79

I 法人の概要

法人名	学校法人 麻布獣医学園
理事長名	政岡 俊夫
所在地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-7 1
目的	教育基本法及び学校教育法に従い、大学教育及び高等学校教育を行う。

1. 建学の精神

学理の討究と誠実なる実践

本学は、創設者與倉東隆先生の建学の精神である、学理を討究し実践を重んじる誠実なる校風を受け継ぎ、人と動物との共存及び人と自然環境との調和の途を探求することを目的として、獣医学、動物応用科学及び生命環境科学に関する専門の知識を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することとしています。

2. 設置する学校

◆ 麻布大学

設置認可年月	昭和25(1950)年 2月
学 長 名	政岡 俊夫
所 在 地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-7 1
目 的	[大 学]

獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用能力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献する。

[大学院]

学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する。

◆ 教育研究の理念 ◆
地球共生系
～人と動物と環境の共生をめざして～

◆ 麻布大学附属淵野辺高等学校

設置認可年月	昭和36(1961)年 5月
校 長 名	有嶋 和義
所 在 地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-5 0
目 的	教育基本法及び学校教育法に基づき、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育を施す。

3. 沿革

明治23 (1890) 年	9 月	東京獣医講習所開所 (現 東京都港区南麻布)
明治27 (1894) 年	4 月	麻布獣医学校開校
明治45 (1912) 年	3 月	麻布獣医畜産学校と改称
大正 9 (1920) 年	9 月	財団法人麻布獣医畜産学校認可
昭和 9 (1934) 年	4 月	実業専門学校令による麻布獣医専門学校の設置
		財団法人麻布獣医専門学校と改称認可
昭和19 (1944) 年	12 月	麻布獣医畜産専門学校と改称
昭和22 (1947) 年	6 月	現在地 (神奈川県相模原市) に移転
昭和25 (1950) 年	2 月	新学制による麻布獣医科大学の設置認可 財団法人麻布獣医学園
	4 月	麻布獣医科大学として開学
昭和26 (1951) 年	3 月	財団法人から学校法人へ改組, 学校法人麻布獣医学園となる
昭和27 (1952) 年	3 月	麻布獣医畜産専門学校廃止
昭和32 (1957) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科開設
昭和35 (1960) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院修士課程開設
昭和36 (1961) 年	5 月	麻布獣医学園淵野辺高等学校設立認可
昭和37 (1962) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院博士課程開設
昭和40 (1965) 年	4 月	麻布公衆衛生短期大学開学
昭和51 (1976) 年	2 月	麻布獣医科大学獣医学部家畜環境学科認可
昭和53 (1978) 年	2 月	麻布獣医科大学環境保健学部 (環境保健学科及び衛生技術学科) 設置認可
	11 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科廃止
昭和54 (1979) 年	6 月	麻布公衆衛生短期大学廃止
昭和55 (1980) 年	4 月	麻布獣医科大学を麻布大学に名称変更
		獣医学部家畜環境学科を獣医学部環境畜産学科に名称変更
昭和59 (1984) 年	4 月	獣医学教育6年制発足 (学校教育法の一部改正による)
昭和60 (1985) 年	10 月	淵野辺高等学校を麻布大学附属淵野辺高等学校に名称変更
昭和63 (1988) 年	4 月	麻布大学附置生物科学総合研究所開設
平成元 (1989) 年	12 月	麻布大学大学院獣医学研究科博士課程 (4年制) 認可
		獣医学部環境畜産学科, 環境保健学部 臨時定員増認可
平成 5 (1993) 年	3 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (修士課程) 設置承認
	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (修士課程) 開設
	12 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科設置認可
平成 6 (1994) 年	3 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 設置承認
	4 月	麻布大学獣医学部環境畜産学科を獣医学部動物応用科学科に改組
		麻布大学獣医学部環境畜産学科募集停止
麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 開設		
平成 7 (1995) 年	3 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (博士課程) 設置承認
	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (博士課程) 開設
	12 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (博士課程) 設置承認

平成8 (1996) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (博士課程) 開設
平成9 (1997) 年	7 月	麻布大学附属動物管理センター設置
		麻布大学大学学生部保健課を麻布大学健康管理センターに組織変更
平成10 (1998) 年	2 月	麻布大学環境保健学部環境保健学科を環境保健学部健康環境科学科に名称変更認可
	12 月	麻布大学環境保健学部環境政策学科設置認可
		麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員延長認可 (平成11年度まで)
平成11 (1999) 年	3 月	麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止認可
	4 月	麻布大学環境保健学部環境政策学科開設
	7 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員延長認可 (平成16年度まで)
		麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員廃止に伴う収容定員増認可
	10 月	麻布大学環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の編入学定員設定認可
平成12 (2000) 年	4 月	麻布大学附属図書館と麻布大学附属情報処理センターを統合し, 麻布大学附属学術情報センターを設置
平成14 (2002) 年	12 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻 (修士課程) 設置承認
平成15 (2003) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻 (修士課程) 開設
平成18 (2006) 年	7 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科の入学定員増に係る学則変更認可
平成19 (2007) 年	4 月	麻布大学獣医学部附属動物病院を麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更
		麻布大学附属教育推進センター設置
	7 月	生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科の設置届出
		生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科編入学定員設定届出
平成20 (2008) 年	4 月	環境保健学部を改組し, 生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科を開設 (環境保健学部健康環境科学科, 衛生技術学科及び環境政策学科は募集停止)
		麻布大学研究推進・支援本部を設置

4. 将来に向けてのビジョン

◆ 学校法人麻布獣医学園 中期目標・中期計画 [平成21年度～平成26年度]

- 中期目標・中期計画は、「学校法人」「大学」「高等学校」が、平成21年度から平成26年度までに達成すべき事項を掲げたものである。
【平成21年5月28日理事会・評議員会決定，平成21年9月29日 理事会一部改定】
- 中期目標・中期計画は、学校教育法に規定する認証評価機関が定めた大学における評価項目を基に取りまとめたものである。また、高等学校については、文部科学省が定めた学校評価ガイドラインに基づいた評価項目を基に取りまとめたものである。

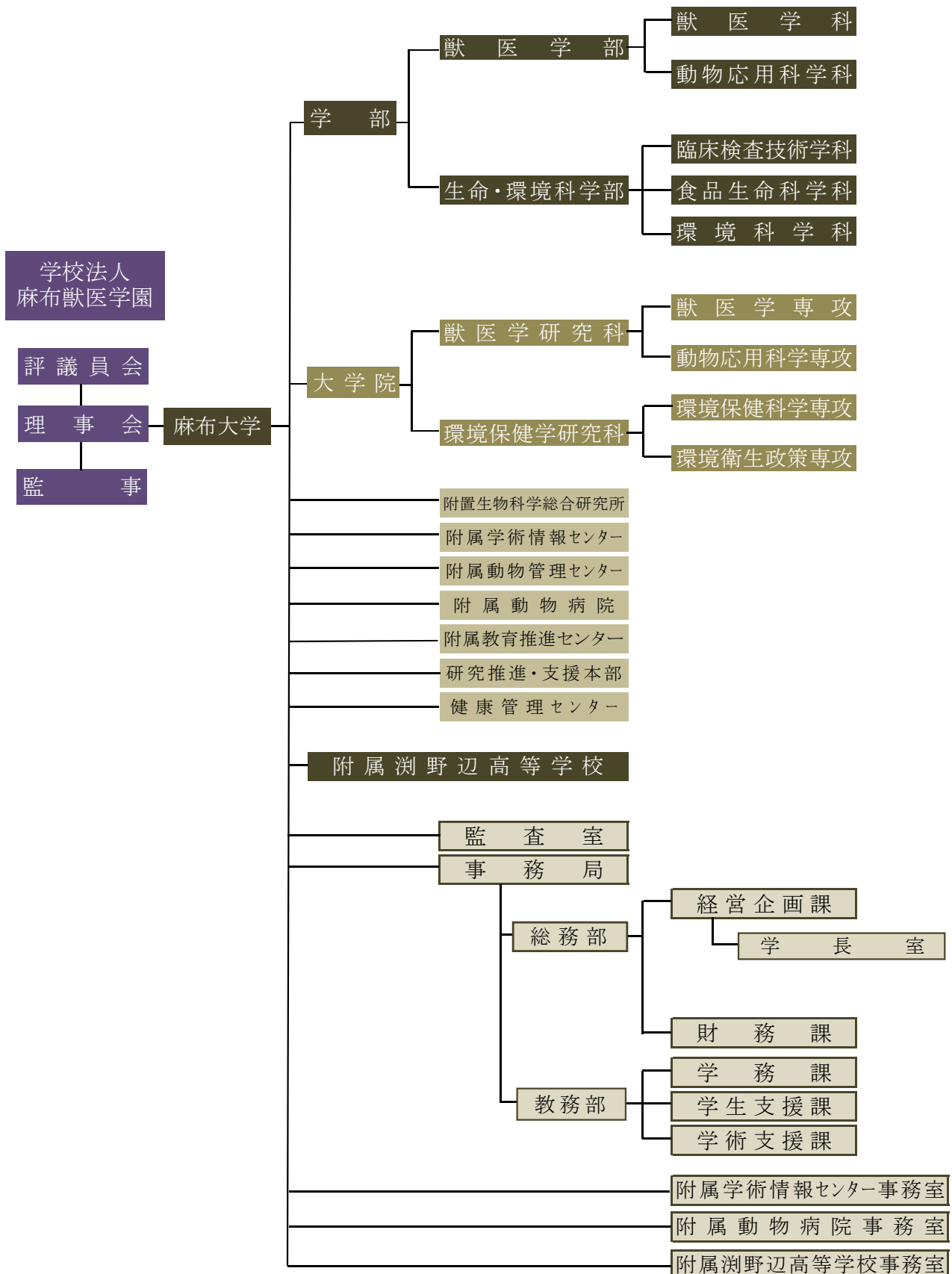
● 概要

中期目標	中期計画
(1) 法人の経営管理について	
<p>■ 大学及び高等学校を取り巻く経営環境の悪化と社会環境の変化に迅速に対応するために、機動的な意思決定と着実な業務執行を可能とする管理運営体制の構築を目指すものとする。</p>	<p>▶ 法人の経営方針は、大学及び高等学校の教学方針に基づいた経営管理を行うものとし、そのために経営側と教学側の意思疎通を図るための連絡調整組織を置く。</p>
	<p>▶ 国の私立大学等経常費補助金の予算額が前年比1%削減されるのに合わせて、本学においても一般管理経費を毎年度1%の削減を行い、日本私立学校振興・共済事業団が示す経営指標において、良好な財務状況であることを維持する。</p>
	<p>▶ 教職員の職責に係る利益相反・責務相反に関する規則を整備し、併せて教職員研修内容の充実・強化を図る。</p>
(2) 大学の教育について	
<p>■ 本学は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、大学学則及び大学院学則に基づき、人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という標語を掲げ、生態系と人間社会の接点で生じる諸問題、特に動物及び生活環境を介して生じる人と動物の健康影響について、動物側あるいは環境因子側から教育研究し、人及び動物の健康社会に貢献する高度専門職業人（研究者養成を含む。）及び幅広い職業人の人材養成を教育成果の目標とする。</p>	<p>▶ 文部科学省中央教育審議会答申から、大学は、機能別に分化することが望ましいとの提言があることを踏まえ、本学は、「高度専門職業人養成」又は「幅広い職業人養成」の機能を担う大学として、個性化及び特色化を図るものとする。</p>
	<p>▶ この個性化及び特色化へ取り組むに当たり、大学は、教学方針として「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」をそれぞれ明確に定め、もって教学方針を確立する。</p>
	<p>▶ 現行の教育研究体制を改め、平成25年度から新教育研究体制で新たな教育研究を行う。</p>
(3) 大学の学術研究及び社会貢献について	
<p>■ 人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という考えの下、本学の特徴的・個性的な研究を発掘及び顕在化させ、研究面でのブランド化を目指す。また、地域社会との連携推進の充実を図り、教育研究成果を社会に還元することをもって、本学が広く社会に貢献することを目指す。</p>	<p>▶ 経常的な研究条件の更なる整備に努める。</p>
	<p>▶ 本学の研究内容の可視化（研究マップの作成）を図り、共同研究及び大型研究プロジェクトを構築し、研究成果を知的財産として保護し、活用する。</p>
	<p>▶ 地域社会及び産学官連携並びに国際・文化交流に努め、教育研究成果を社会への還元に寄与する。</p>

中期目標	中期計画
(4) 高等学校について	
<p>本校は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、高等学校学則に基づき、次に掲げる事項を人材育成目標及び教育成果目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学力の向上及び高校生としての学力の保証 ■ 学習の場には積極的に参加し自ら学ぶ意欲を持った人材育成 ■ 秩序、良識、礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材育成 ■ 夢を持ち未来を拓く強い精神力と健康な身体を持つ人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文部科学省学習指導要領（平成20年度改訂，平成25年度入学者から適用）の改訂に伴い，新教育課程を編成し，原則として，平成25年度入学者から，新たな教育を実施する。 ▶ 生徒，保護者に選ばれる高等学校を作り，学校評価等を通じて社会からの評価及び認知度を高め，もって安定した生徒数を確保する。 ▶ 学力受験偏差値が「60」以上と評価されることを目指す。

5. 機構図

平成25年5月1日現在



6. 役員・評議員

平成25年5月1日現在

	任期	定数	現員
理事	4年	10～11人	11人
監事	4年	2人	2人
評議員	4年	28～34人	34人

(1)役員

理事・監事 の区別	担当職務等	氏名	就任	選任区分等		常勤/ 非常勤	備考
			就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分		
理事	理事長	政岡俊夫	平成14年6月25日 (平成22年6月25日)	第8条第1号	大学長	常勤	平成21年6月1日理事長 就任
理事	総務担当	柏崎直巳	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	財務担当	福山正文	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	改革担当 (組織・管理運営)	山本雅子	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	改革担当 (教育・研究)	村上 賢	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	総務副担当	田中克明	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	財務副担当	宮澤 宏	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	改革副担当 (組織・管理運営)	高橋 徹	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	改革副担当 (教育・研究)	横尾清文	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事		市川正雄	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	平成15年6月1日～平成 21年5月31日 寄附行為第8条第2号 理事
理事		谷口隆良	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	
監事		小野口勝巳	平成24年6月1日	第9条		非常勤	
監事		宮島 成郎	平成22年6月1日 (平成24年6月1日)	第9条		非常勤	

(2) 評議員

氏名	就任	選任区分等		備考
	就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分	
武本 成十	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	議長
白石 政美	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	副議長
浅利 昌男	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
猪股 智夫	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
柏崎 直巳	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
加藤 政博	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
川上 泰	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
田中 秀和	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
土屋 亮	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	
福山 正文	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
三宅 太	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
村上 賢	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
村山 洋	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
柳原 新太郎	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
山本 雅子	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
高橋 徹	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
勝見 晟	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
保坂 広	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
有賀 誠	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
横尾 清文	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
宮澤 宏	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
田中 克明	平9年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
松家 芳実	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
長友 士郎	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
谷川 力	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
佐藤 泰	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
市川 正雄	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
加山 俊夫	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
三東 崇秀	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
塩田 浩平	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
谷口 隆良	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
中村 滋	平成24年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
政岡 俊夫	平9年6月1日 (平成22年6月25日)	第18条第4号	大学長	平成9年6月1日～平成14年6月24日寄附行為第18条第1号評議員兼理事長
有嶋 和義	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第5号	高等学校長	平成15年6月1日～平成24年5月31日寄附行為第18条第1号評議員

7. 学生・生徒の状況

平成25年5月1日現在

(1) 入学定員，収容定員，学生・生徒数，収容定員充足率

(人)

学部・学科等	入学定員	編入学定員	収容定員	学生・生徒数							収容定員充足率		
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計			
学部	獣医学部	獣医学科	—	720	143	158	161	147	160	151	920	127.8%	
		動物応用科学科	—	480	145	144	144	129	—	—	562	117.1%	
		小計	—	1,200	288	302	305	276	160	151	1,482	—	
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	2年次 5 3年次 5	305	90	96	85	91	—	—	362	118.7%	
		食品生命科学科	2年次 5 3年次 5	305	88	87	88	83	—	—	346	113.4%	
		環境科学科	2年次 4 3年次 4	420	129	125	119	111	—	—	484	115.2%	
		小計	2年次 14 3年次 14	1,030	307	308	292	285	—	—	1,192	—	
	学部計	2年次 14 3年次 14	2,230	595	610	597	561	160	151	2,674	—		
	研究科	獣医学専攻 研究科	獣医学専攻 博士課程	—	40	5	7	0	7	—	—	19	
			動物応用科学専攻 博士前期課程	—	24	26	23	—	—	—	—	49	
動物応用科学専攻 博士後期課程			—	12	3	2	5	—	—	—	10		
小計			—	76	34	32	5	7	—	—	78		
環境保健学専攻 研究科		環境保健学専攻 博士前期課程	—	14	2	4	—	—	—	—	6		
		環境保健学専攻 博士後期課程	—	6	1	0	1	—	—	—	2		
		環境衛生政策専攻 専攻修士課程	—	14	2	0	—	—	—	—	2		
		小計	—	34	5	4	1	—	—	—	10		
研究科計		—	110	39	36	6	7	—	—	88			
附属潤野辺高等学校		—	774	261	191	221	—	—	—	673			
総合計	—	3,114	895	837	824	568	160	151	3,435				

平成25年5月1日現在

(2) 専任教員一人当たりの学生数

学部・学科		専任教員一人当たりの学生数	
		(学生数/教員定数※1)	
学 獣 部 医	獣医学科 ※2	15.1 人	(14.4 人)
	動物応用科学科	29.6 人	(29.6 人)
生 命 学 部 ・ 環 境 科 学	臨床検査技術学科	25.9 人	(22.6 人)
	食品生命科学科	38.4 人	(26.6 人)
	環境科学科	44人	(30.3 人)

※1 教員定数は、本学における教育研究上必要な教員数

※2 獣医学科専任教員は、附属動物病院及び附置生物科学総合研究所の専任教員を含む。

※3 特任教員は除く。

(3) 留学生数

獣医学科	0人
動物応用科学科	0人
臨床検査技術学科	0人
食品生命科学科	1人
環境科学科	0人
獣医学研究科獣医学専攻	0人
獣医学研究科動物応用科学専攻	1人
環境保健学研究科環境保健科学専攻	0人
環境保健学研究科環境衛生政策専攻	0人

(4) 社会人学生数 ※ (人)

学部・学科		社会人学生数
学 獣 部 医	獣医学科	106
	動物応用科学科	3
生 命 学 部 ・ 環 境 科 学	臨床検査技術学科	5
	食品生命科学科	2
	環境科学科	1
合計		117

※ 平成25年4月1日現在で、満25歳以上の者
(入試区分の社会人選抜による入学者とは異なる。)

(人)

研究科・専攻		社会人学生数
研 獣 究 医 科 学	獣医学専攻博士課程	19
	動物応用科学専攻 博士前期課程	4
	動物応用科学専攻 博士後期課程	7
環 境 研 究 科 保 健 学	環境保健科学専攻 博士前期課程	1
	環境保健科学専攻 博士後期課程	2
	環境衛生政策専攻 修士課程	0
合計		33

(5) 非正規課程履修者 (人)

区 分	獣医学部	獣医学研究科	動物病院	生命・環境科学部	環境保健学研究科	合計
研究生	19	0	0	1	0	20
研修生	0	0	0	0	0	0
研修獣医師	—	—	74	—	—	74
聴講生	2	0	0	1	0	3
科目等履修生	2	0	0	0	0	2
単位互換履修生(受入)	1	0	0	0	0	1
外国人研究生	2	0	0	0	0	2
特別聴講学生(受入)	0	0	0	0	0	0
特別研究学生(受入)	0	0	0	0	0	0
聴講生徒	0	0	0	0	0	0
研究室体験生徒	0	0	0	0	0	0
合計	26	0	74	2	0	102

【注】

- 単位互換履修生として各協定大学に派遣する獣医学部及び生命・環境科学部の各学生は、平成25年度前期は両学部ともになし
- 特別聴講学生、特別研究学生として各協定大学大学院研究科に派遣する大学院学生は、両研究科ともになし
- 科目等履修生は、獣医学研究科動物応用科学専攻博士前期課程2年次の大学院学生
- 聴講生徒の受入れ決定時期にあつては4月上旬、研究室体験生徒の受入れ決定時期にあつては、7月上旬。
[平成24年度の実績は、聴講生徒 0人、研究室体験生徒42人(獣医学部15人、附属動物病院3人生命・環境科学部24人)]

8. 教職員の状況

平成25年 5月 1日 現在

(1) 大学教員 (常勤)

(人)

学部・学科等	学長		教授		准教授		講師		助教		助手		特任教員		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
学長	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
獣医学部	獣医学科	—	—	18	3	13	2	7	5	5	1	0	0	1	0	55
	動物応用科学科	—	—	11(1)	1	5	0	1	1	0	0	0	0	0	1	20(1)
	基礎教育系	—	—	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	小計	0	0	30(1)	5	21	2	9	6	5	1	0	0	1	1	81(1)
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	—	—	6	0	2	1	3	2	0	0	0	0	0	0	14
	食品生命科学科	—	—	1(1)	1	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	9(1)
	環境科学科	—	—	4	0	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	11
	教職・学芸員課程	—	—	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	寄附講座	—	—	(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2(2)
小計	0	0	12(3)	1	6	3	12	2	0	0	0	0	0	2	38(3)	
大学院	獣医学研究科	—	—	(29)	(5)	(16)	(1)	(4)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(56)
	環境保健学研究科	—	—	(11)	(1)	(3)	(2)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(21)
	小計	(0)	(0)	(40)	(6)	(19)	(3)	(8)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(77)
附置生物科学総合研究所	—	—	(3)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(3)
附属学術情報センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
附属動物管理センター	—	—	0	0	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
附属動物病院	—	—	1(1)	0	2	0	0	0	3	0	0	0	2	1	9(1)	
附属教育推進センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
研究推進・支援本部	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
健康管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
合計	1	0	43	6	30	5	21	8	8	1	0	0	3	4	130	

【注】 () は、兼務者を表す。ただし、同一部門内兼務者を除く。

(2) 高等学校教員 (常勤)

(人)

	校長		教頭		教諭		契約講師		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
附属浏野辺高等学校	(1)	0	1	0	24	7	2	0	34

(3) 職員 (常勤)

(人)

校名等	事務局長		次長		課長 事務長 室長・主監		補佐		主査		主任		一般職		契約職員		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
麻布大学	1	0	1	0	9	2	4	4	8	4	3	3	21	10	3	6	79
附属浏野辺高等学校	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	5
合計	1	0	1	0	10	2	4	4	9	4	4	3	21	12	3	6	84

常勤教職員

男 186 人 女 62 人 総合計 248 人

【注】 常勤教職員の合計欄は、実人数である。

平成25年5月1日現在

(4) 非常勤教職員

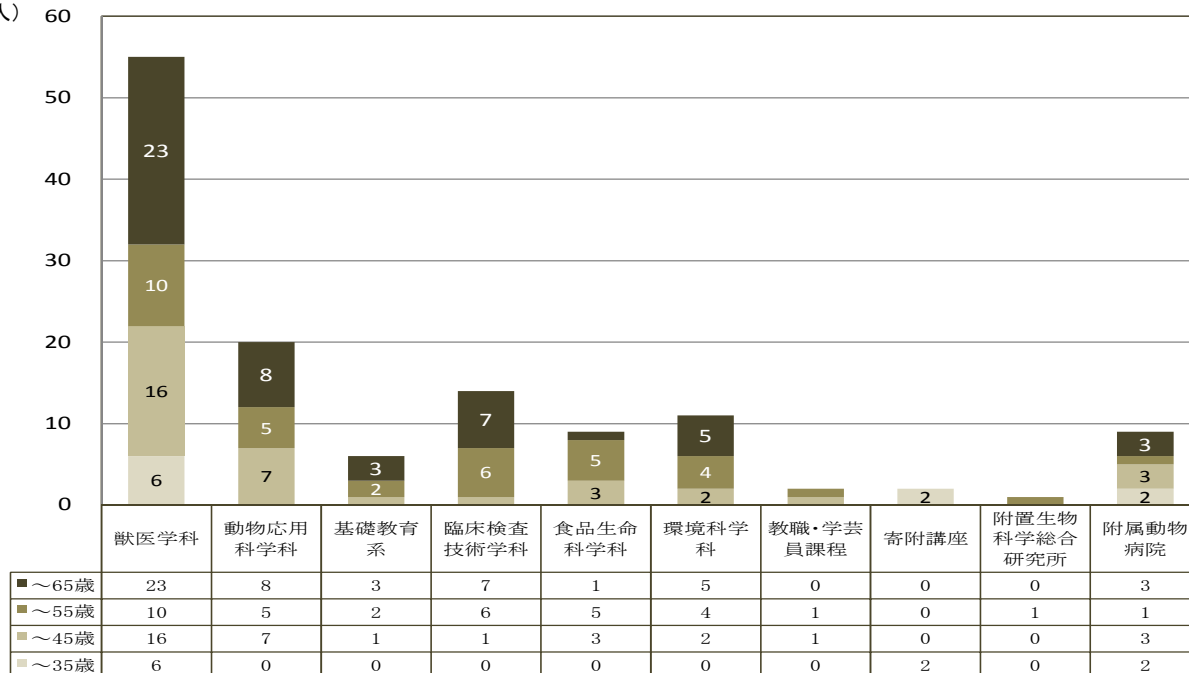
(人)

学部等	非常勤講師	非常勤職員	合計
獣医学部	44	20	64
生命・環境科学部	85	4	89
附属刈野辺高等学校	22	0	22
事務組織	0	34	34
合 計	151	58	209

- 【注】1.非常勤講師欄は、獣医学部、生命・環境科学部及び附属刈野辺高等学校を兼務する者を含む延べ人数である。
 2.非常勤講師には、業務委託による講師を含む。
 3.非常勤職員には、派遣職員を含む。

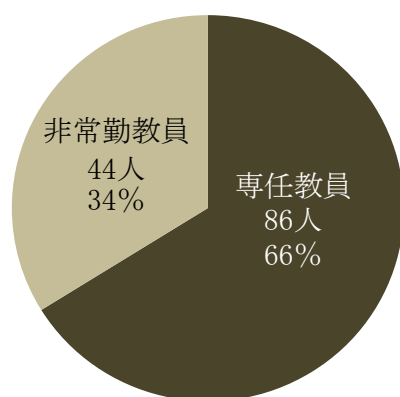
(5) 年齢別大学教員数（常勤）

(人)

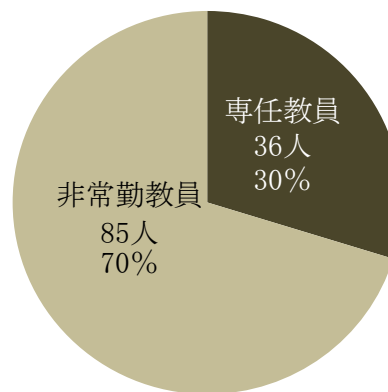


(6) 専任教員と非常勤教員の比率

■ 獣医学部



■ 生命・環境科学部



- 【注】1.獣医学部の教員には、獣医学科、動物応用科学科、基礎教育系、附置生物科学総合研究所、附属動物病院を含み、特任教員を除く。
 2.生命・環境科学部の教員には、臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科を含み、特任教員を除く。

II 事業の概要

1. 平成24年度事業計画の実施状況

- 平成24年度事業計画〔平成24年2月28日開催の理事会及び評議員会で承認〕は、平成24年度に学園全体として事業を推進するに当たり、学園の中期目標・中期計画〔平成21年度～平成26年度〕を基に、本学園の役員及び教職員が共通の認識に立って内外ともに明確にしておかなければならない事項を取り上げたもので、その実施状況は、次のとおりである。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成24年度事業計画	実施状況	
1. 優秀な教職員の確保	決算額 3,372	予算額 3,570
(1) 将来展望を見据えた職員の計画的採用と人材の適正配置	新たな教育研究組織の構成を見据えながら、現在実施している教育及び研究活動に支障が生じないよう、教員組織の維持及び退職者の補充・確保に努めた。	
(2) 学園教職員に相応しい資質の向上に向けた人材育成の推進 (「職場内外の各種研修の積極的実施、高等学校における教員能力の向上と組織の活性化の継続実施」ほか)	<p>【職場内外の各種研修】</p> <p>大学教員におけるFD活動に積極的に取り組み、資質の向上に努めた。具体的には、学生による授業評価とその結果を教員へフィードバックすることにより、授業改善の意識向上につなげる。外部講師を招へいし、FD講演を3回実施した。</p> <p>全学的には、ハラスメント防止に関する加害者及び被害者双方の視点から問題意識を喚起するよう、大学教員、高校教員、事務職員及び高校生徒の層別に、教育講演会及び研修会を計4回開催した。</p> <p>事務職員においては、主任及び一般職員を対象に、外部講師等による研修会を6回開催し、実務における企画、立案能力の向上、基礎的な教養、知識の習得に努めた。</p> <p>【高等学校における教員能力の向上】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒による授業評価を年2回実施:分析・評価結果を各教諭にフィードバックし、教育や生活指導等に活用(PDCAサイクルのCAの充実)を図った。 2. 教員の研修会等[教科, 教育課程(学習指導要領改訂), 学校づくり, 分掌, 人権, 道德教育研修, 公私合同研修会, 初任者研修, 10年経験者研修及び教員免許更新制度に係る講習]への積極的な参加を推進した。 <p>【高等学校における組織の活性化】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 円滑な学校運営を図るため、校務分掌を見直し、平成25年度から生徒指導部を生活指導部と生徒会指導部に分轄することとした。 2. 管理職研修会で学んだ資料提示, 校内研修会の実施により, 危機管理意識の向上を図った。 3. 学校評価及び学校関係者評価の継続実施 <ol style="list-style-type: none"> (1)分掌, 学年, 教科及び学級担任として目標を設定し, 取組内容, 評価の観点を明確に自己評価を実施した。 (2)各教諭が行った学校評価について, 第三者で構成される学校関係者評価委員会にて, 総合評価・検証を実施した。 	
2. 教育事業の見直し・活発化	決算額 832	予算額 826
(1) 大学		
① 学士課程教育と大学院コースワークを見据えた教学方針の確立と平成25年度からの新たな教育研究組織の発足に向けた教育課程の構築の継続検討	「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」において、平成26年度を目途とした新たな教育研究組織の構築に関する基本的な考え方がまとめられた。今後は、実行に向けた学内制度設計を行うこととなる。	

決算額・予算額(単位:百万円)

平成24年度事業計画	実施状況
② カリキュラムマップの作成と公表	<p>授業科目とディプロマポリシー及び学士力の関連を示すカリキュラムマップを作成、平成25年度の履修ガイド及びホームページ上で公表できるよう準備を進めた。ただし、生命・環境科学部においては、カリキュラム及び3ポリシーを決定次第、作成することとなった。</p> <p>また、シラバスについては、学習成果が具体的にわかるよう記載方法や書式を統一し、平成25年度からホームページ上で公表できるよう準備を進めた。</p>
③ 入学時修学指導の充実	<p>4月2日～4月9日に、入学者オリエンテーションを実施し、カリキュラム、学生生活、科目履修、各学科の進級基準及び卒業要件等大学生活に必要な事項の説明を行った。</p> <p>また、教育推進センター及び2学部の協同で、オリエンテーション及びグループワークからなるフレッシュャーズセミナーを2日間にわたって実施した。このプログラムの中で学生相互及び教員との交流を通し、大学生生活の不安解消を図った。</p>
④ ファカリティ・ディベロップメント活動の推進	<p>各部局が主体となって、次のアンケート調査、FD講演会及び研修会を実施した。</p> <p>①教育推進センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査『2012年度 麻布大学卒業生アンケート調査』(平成24年8月28日(火)～9月18日(火)実施) ・FD研修会『2012年度 麻布大学卒業生アンケート調査結果報告会』(平成24年12月18日(火)実施) <p>②生命・環境科学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD講演会『大学の教育改革とFD』(平成24年12月14日(金)開催) <p>③獣医学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD講演会『新3つのポリシー(ディプロマ、カリキュラム、アセスメント)を活かした組織的な教育の構築』(平成25年1月30日(水)開催)
⑤ 認証評価結果に基づく教育改善の推進	<p>平成22年度に受審した公益財団法人大学基準協会の大学評価において、助言及び勧告があった事項のうち次の事項に対して改善を図った。</p> <p>【助言】</p> <p>①学部及び研究科のシラバスの記載内容の精粗について</p> <p>学部のシラバスは、授業の予復習や各科目の到達目標・教育目標を記載した新様式に改訂、平成25年度からの実施に取り組んだ。研究科のシラバスについては、改善に向けた取組の検討に入った。</p> <p>②「課程博士」の学位授与の取扱いについて</p> <p>博士の学位については、退学後3年以内に論文を提出し申請した場合や大学院の博士課程を経ない場合でも申請可能となっていたが、麻布大学学位規則を平成24年11月21日付けで一部改正し、適正化を図った。</p> <p>【勧告】</p> <p>①学生の受入りに係る定員管理について</p> <p>平成25年度入学試験から、全学科において入学定員に対する入学者数比率を1.20未満に抑制するよう調整を図った。</p>
⑥ 学部学生・大学院学生への就職支援の強化・拡充	<p>就職相談に係る業務委託人数を増員し、就職相談体制の充実を図った。また、さがみはらハローワークと連携し、相模原市内の企業の説明会を検討するなど、地元企業への就職支援の強化に取り組んだ。</p>

平成24年度事業計画	実施状況
<p>⑦ 附属高等学校との高大一貫教育及び他校との高大連携教育の推進</p>	<p>【高大一貫教育の推進】 附属沼野辺高等学校生徒に対し、例年行っている高大一貫授業(74人受講)及び研究室体験生徒の受入れ(31人参加)のほか、夏期体験実習(59人参加)を開講した。また、同校生徒に特化した学内見学会(1年～2年生徒102人及び父母42人参加)及び施設見学会(1年生全員参加)を開催し、附属高等学校生徒として、大学を身近に感じられるよう取り組んだ。</p> <p>【高大連携教育の推進】 例年どおり、高大連携協定校7校(県立相原高等学校、県立麻溝台高等学校、県立川崎工科高等学校、県立相模原高等学校、県立座間高等学校、県立城山高等学校、県立大和東高等学校)と、協定に基づき、研究室体験生徒の受入れ(11人参加)及び演習講座・教養講座(81人受講)の開講を実施し、協定校からは、教育実習生の受入れ(2人)、高校教諭による教職課程科目への講師派遣を行い、相互に教育交流を行った。</p>
<p>(2) 高等学校</p>	
<p>① 募集定員の確保と全教員による募集活動の推進</p>	<p>入試説明会参加者及び塾講師を対象にアンケートを実施、アンケート結果を基に、高等学校のホームページを充実するとともに、最新の情報提供に努めた。</p> <p>また、相模原市及び隣接している町田市での志願者獲得強化を図るため、校長及び事務長による中学校訪問を実施するとともに、全教諭による15市町村の中学校訪問を実施し、志願者確保に努めた結果、平成25年度入学者は入学定員を上回った。</p>
<p>② きめ細かな生徒生活指導の実施</p>	<p>平成25年度からの習熟度別授業の実施及び生徒の学力に合わせた形の学習効果向上計画の作成に向けて検討を進めた。</p> <p>また、生活指導において、生徒が安心して通える学校づくりを目標に、①登下校の安全指導、②挨拶の励行と礼儀を重んじ、他人を思いやる心を持った人材の育成、③規範意識の向上と実践、を心がけ、きめ細かな指導を行った。</p>
<p>③ 平成25年度からの学習指導要領改訂に伴う教育課程の策定</p>	<p>平成25年度からの学習指導要領改訂に対応するため、カリキュラム委員会を中心に新たなカリキュラムの編成を行い施行した。なお、一部の修正等について、その必要性も含めて継続検討を行っている。</p>
<p>④ 大学との高大一貫教育及び他大学との高大連携教育の推進</p>	<p>麻布大学との高大一貫教育として、「麻布学概論授業」(週2時間)を実施した。なお、3年生後期の同授業の内容を検討し、麻布大学進学後に必要となる科目を中心とした学習を進めるカリキュラムを導入した。</p> <p>その他の大学との高大連携については、協定を締結している6大学(桜美林大学、関東学院大学、田園調布学園大学、文教大学、日本体育大学及び立正大学)の授業等を受講できる体制を整えたものの、平成24年度は生徒の受講希望はなかった。</p>
<p>(3) 学生・生徒募集のための広報活動の効果的実施</p>	<p>高校内説明会・相談会及び進学媒体企業主催の相談会に積極的に参加した。相談会ではブース展示の装飾を工夫し、自作のポスター等を導入した結果、参加者に好印象を与えることができた。</p> <p>また、積極的な高校訪問等の成果により、高校内授業の実施要請、学問紹介中心の進学イベント等への参加要請が増加、これらのイベント等では大学教員の協力により大きな反響を得ることができ、大学の広報に大きく貢献した。</p> <p>さらに、Webを活用した広報活動をより円滑に展開するため、大学ホームページのスマートフォン対応に着手した。</p>

決算額・予算額(単位:百万円)

平成24年度事業計画	実施状況	
(4)地域社会との連携強化	神奈川県内12の大学と10の公的支援機関が参画する「かながわ産学公連携推進協議会」に参加し、県内の加盟大学や公的機関と共に地域企業の抱える課題解決への協力や、技術、助成金情報等の共有を図った。	
3. 研究活動の活発化	決算額 392	予算額 404
(1) 研究推進・支援本部による研究活動の推進・支援		
① 支援計画の策定と活動の点検・評価	学園の補助金の有効活用及び外部競争的資金の獲得に向けた支援計画を策定し、年間スケジュールに基づき、随時、活動状況を点検・評価した。	
② 本部機能の充実・強化	本学の研究上の特徴や個性の顕在化のため、組織的な大型プロジェクトの推進や学内外競争的資金獲得のためのインセンティブの提供を行った。また、知財を軸とした産学連携においては、学内の知的資産(研究成果全般と知財)の有効活用のための仕組み作りや、外部から専門的知識を有する人材を産学連携コーディネーター及び知的財産コーディネーターとして登用し、これらと協同して本学発の研究成果の技術移転を積極的に進めた。	
③ 学内競争的資金の効果的活用	麻布大学(研究推進・支援本部取扱)補助金として「特色ある大型研究プロジェクト」、「知財展開研究」及び「若手育成研究」の公募を行った。外部大型プログラムへ申請しうるプロジェクトの醸成を目的とした「特色ある大型研究プロジェクト」は、本年度は外部への申請を見送ったが、今後も継続して取り組んでいくこととしている。一方、「知財展開研究」及び「若手育成研究」において採択した課題は、それぞれ研究に進展が見られた。	
④ 外部資金獲得の推進	国の補助金である私立大学戦略的研究基盤形成支援事業及び学術研究振興資金に各1件採択された。 科学研究費補助金については、申請率100%を目指したが、87.1%の申請率にとどまった。(獣医学部 85.9% 生命・環境科学部 90%) なお、企業からの共同研究・受託研究については、手続等を含めた本部機能が周知され、年々外部資金の獲得件数及び金額は増加している。	
⑤ 知的資産の蓄積及び活用と産学官連携の推進	国内特許出願を3件、海外特許出願を4件行い、有償での技術移転(ライセンス、譲渡等)が3件に至った。また、卒論発表会や大学院論文発表会等を活用し、学内知財専門家(知的資産コーディネーター及び産学官連携コーディネーター)を中心にシーズ発掘を実施し、本学の知的な資産としての展開・育成を図った。さらに、外部専門家とのプロジェクト課題が、活用に向けて大きく進展した。 産学連携イベント(BIOtech, アグリビジネス創出フェア)に出展し、共同研究等の獲得やライセンス先の獲得に結びついた。	
⑥ セミナーの実施	学生を対象とした起業家セミナーを6回開催し、起業に対する意識の醸成を図るとともに、教職員を対象とした外部資金獲得セミナーを1回開催し、研究活動への積極的な取組に対する意識付けを行った。	
⑦ 知財教育及びベンチャー企業育成の推進		
4. 附置・附属施設の充実	決算額 749	予算額 843
(1) 生物科学総合研究所の機器・設備の更新(購入・修繕)	平成24年度の事業計画に基づき、空調設備の更新及び老朽化に伴う施設・設備の修繕を実施した。	

決算額・予算額(単位:百万円)

平成24年度事業計画		実施状況	
(2) 学術情報センターの機器・設備の更新(購入・委託保守管理等)	事業計画に基づき、施設及びPC教室の利便性並びに安全性の向上、環境改善を図るため、(1)図書館3階の閲覧用椅子の入替え、(2)メディアステーションの施設リニューアル、(3)図書館2階の書架増設、(4)図書館2階の防犯カメラ設置を行った。 大学の研究教育成果の長期的保存及び積極的な情報発信に対応していくため、国立情報学研究所による「学術機関リポジトリ構築連携支援事業」に応募した結果、採用承認された。これにより、本学のリポジトリ「azabook」を構築、3月に学位論文を中心に一般公開・運用を開始した。		
(3) 動物病院の医療用器具・機械の計画的整備	平成22年度に作成した備品購入計画(平成23年度から平成25年度まで)に基づき、耐用年数を越えた備品を中心に整備、超音波診断装置等の検査機器や手術室カメラの入替え、受像器等の増設、ハイエントモバイル型デジタルX線(通称Cアーム)の新規導入等を実施した。これらにより、診療や学生教育における効率化や利便性の向上、安全性の確保につながった。 また、平成26年度から平成30年度までの備品購入計画を新たに作成した。		
5. 教育研究環境の整備		決算額 867	予算額 865
(1) 安全・良質な施設の構築			
① 新キャンパス・マスタープランにおける第Ⅱ期事業の計画策定	「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」での検討を受け、平成24年9月開催の理事会において、建物整備の考え方や学園内のゾーニング等について整理を行った上で、新キャンパス・マスタープランにおけるⅠ期事業の残りとして、(仮称)新5号館・新食堂等の整備計画を策定し、平成25年度から整備工事に着手する。		
② 大学・高校における既存設備の改修・活用	生物科学総合研究所の冷暖房設備の更新をはじめ、メディアステーションのリニューアルを行い学生への利便性向上を図った。 また、維持保全の上から7号館の外壁の修繕及び塗装工事を実施した。		
③ 教育研究機器備品の整備	平成24年度の事業計画に基づき、全学共用機器としての実験機器(セルソーター)の整備、動物病院における機器等の更新、学術情報センターにおける閲覧用椅子の入替えや書架の増設等を実施した。		
④ 3号館・旧体育館の解体、跡地整備	生命・環境科学部棟が竣工したことに伴い、3号館・旧体育館の解体及び跡地の整備工事を行い、平成24年8月末に引渡しを受けた。3号館跡地は、跡地の利用計画実施までの間、緑地としての整備を行い、旧体育館解体跡地については、約70台が収容できる駐車場として整備し、動物病院への来院者用としても対応している。		
6. 業務運営の改善・効率化		決算額 189	予算額 266
(1) 法人運営の改善			
① 人事・給与制度改革案の推進	給与制度については、平成13年度国家公務員俸給表を学園独自の制度とすることを基本方針とし、新たな教育研究組織に対応した職務手当を含め、諸手当の見直しについて着手した。今後、実施に向け具体的検討を進める。 評価制度については、事務職員を先行して具現化し、大学教員、高校教員についても検討を進める。		

決算額・予算額(単位:百万円)

平成24年度事業計画	実施状況		
② 今後の在り方委員会答申に基づく各種制度改革(案)の企画検討及び推進	平成24年3月9日付け麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申を受け、同答申に基づく改革について理事会で検討を行い、学園が取り組むべき事項を「麻布獣医学園の今後の在り方について」として取りまとめ、平成24年4月25日付けで教職員に公表した。 これについて、学内パブリック・コメントを実施し教職員から意見募集を行うとともに、同答申に基づく改革内容の理解促進・深化のため、教職員全体説明会及び職種別懇談会[大学教員(学部・職階別)、高校教員、事務職員対象]をそれぞれ実施した。 また、理事会において改革に向けた具体的検討に着手し、平成24年10月までに「学園の今後の在り方答申に基づく改革の進め方」と題する18の改革項目に係る改革の課題整理及びスケジュールを策定、その後は学園の統治体制に着手し、平成24年10月から高等学校改革を推進していくため、(仮称)高等学校運営会議を発足させて高等学校に関する諸課題に対応する体制を整えた。大学に関する諸改革については、改革担当理事を中心に具体的制度設計の検討に入った。		
③ 新たな教育研究組織の発足に向けた企画検討及び推進			
④ 合理的な資金・資産の運用管理	資金の運用管理について、四半期ごとに理事会で報告を行った。 また、平成23年度に解約したSMA及びグローバル債券ファンドに係る資金について、理事会において資金の運用方法等を検討し、元本の安全性の確保を最重要視し、元本が保証され、リスクの極めて少ない国債や地方債等を中心に運用することとした。 なお、具体的な資金運用方法については、平成25年度に継続して検討することとした。		
⑤ 競争的資金の適正管理	会計検査院実地検査における指摘事項を踏まえて、物品の検収体制の強化を行い、採択された研究者に説明会を開催、経費の適正執行に係る意識付けを行った。 また、物品の購入に当たっては、物品購買システム(オフサイド)により透明性を確保する等、競争的資金等執行マニュアルに則り執行した。		
⑥ 内部監査の効果的实施	平成24年度は、前年度に実施した5部署における改善要望事項等について改善進捗状況の確認を行ったほか、教員研究費等研究室経費の執行状況について、不適切な使用が生じないよう、試行的に無作為抽出を行い、支払内容等の確認を実施した。		
(2) 情報システムの充実・強化	安全かつ利便性の高い情報システムの維持と最適化に向けて、メディアステーションシステムの整備強化を実施し、ユーザビリティの向上とPCの省電力化を図るとともに、ゼミやグループ学習などの多様な学習形態に対し適応力を持つマルチメディア環境を構築した。 また、研究業績管理システム及び動物病院システム第2期のリプレイス事業の技術支援を行った。		
(3) 創立125周年記念事業への取組・推進	平成23年11月1日付け創立125周年記念事業準備委員会答申を受け、理事会において「創立125周年記念事業委員会」を設置、同委員会において、周年事業実施の趣意や事業内容、実行体制等を検討した。 事業委員会の検討結果を受け、平成25年2月理事会において、事業実施の趣意、記念事業及び実行体制を承認、事業委員会の下に実行委員会及び検討委員会(「式典・行事実行委員会」、「年史実行委員会」、「募金実行委員会」、「広報実行委員会」、「大学・高校名検討委員会」及び「博物館/資料館設立委員会」)を設置した。以降、各実行委員会及び検討委員会において、支援業者の協力を得ながら、各周年事業の詳細検討に入った。		
合計		決算額 6,401	予算額 6,774

2. 教育研究の概要

(1) 平成24年度の教育実施体制

平成24年5月1日現在

①教員及び学生数

(人)

学部・学科等		教員							学生					
		大学設置基準上の教員数		常勤教員数		常勤教員の学位取得状況			非常勤教員数	入学定員	編入学定員	収容定員	学生数	
		総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(大学院)	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(大学院)	博士	修士 (6年制含む)	学士						
獣医学部	獣医学科	19	10	54	18	52	2	0	42	120	—	720	934	
	動物応用科学科	10	5	21(1)	11(1)	21(1)	0	0		120	—	480	560	
	基礎教育系	—	—	6	2	3	3	0		—	—	—	—	
	小計	—	—	81(1)	31(1)	76(1)	5	0		42	240	—	1,200	1,494
環境保健学部	健康環境科学科	—	—	(9)	(5)	(8)	(1)	0	0	—	—	0	1	
	衛生技術学科	—	—	(16)	(7)	(13)	(1)	(2)		—	—	0	0	
	環境政策学科	—	—	(8)	(4)	(2)	(6)	0		—	—	0	6	
	教職・学芸員課程	—	—	(2)	(1)	(2)	0	0		—	—	—	—	
	小計	—	—	(35)	(17)	(25)	(8)	(2)		0	—	—	0	7
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	8	4	15	6	11	1	3	84	70	2年次 3年次	5 5	305	366
	食品生命科学科	8	4	12	5	12	0	0		70	2年次 3年次	5 5	305	363
	環境科学科	10	5	13	6	5	8	0		100	2年次 3年次	4 4	420	493
	教職・学芸員課程	2	1	2	1	2	0	0		—	—	—	—	—
	寄附講座	—	—	2(2)	(2)	2(2)	0	0		—	—	—	—	—
	小計	—	—	44(2)	18(2)	32(2)	9	3		84	240	2年次 3年次	14 14	1,030
大学設置基準上、大学全体で必要な教員数		23	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学部 計		80	43	125	49	108	14	3	126	480	2年次 3年次	14 14	2,230	2,723
研究科	獣医学専攻博士課程	8	4	(37)	(14)	—	—	—	0	10	—	40	16	
	動物応用科学専攻	博士前期課程	6	3	(18)	(11)	—	—		—	12	—	24	61
		博士後期課程	8	3	(18)	(11)	—	—		—	4	—	12	7
	小計	22	10	—	—	—	—	—		0	26	—	76	84
	環境保健科学専攻	博士前期課程	12	4	(18)	(6)	—	—		—	7	—	14	13
		博士後期課程	12	4	(13)	(6)	—	—		—	0	2	—	6
	環境衛生政策専攻修士課程	3	2	(9)	(2)	—	—	—		7	—	14	3	
小計	27	10	—	—	—	—	—	0	16	—	34	17		
研究科 計	49	20	—	—	—	—	—	0	42	—	110	101		
附属動物病院		—	—	10	0	5	5	0	—	—	—	—	—	
附置生物科学総合研究所		—	—	1(3)	(3)	1(3)	0	0	—	—	—	—	—	
総合計		—	—	136	49	114	19	3	126	522	—	2,340	2,824	

②職員数

(人)

	常勤職員	非常勤職員	合計
麻布大学	76	61	137

- 【注】 1. ()は、兼務者を表す。
 2. 非常勤教員は、獣医学部、環境保健学部、生命・環境科学部、大学院、附属淵野辺高等学校を兼務するものを含む延べ人数である。
 3. 非常勤教員には、業務委託による講師を含む。
 4. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

(2) 教育に関する情報

① 入学者の選抜

◆ 麻布大学

○ 各学部学科の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の教育は、獣医師として高い倫理観を有し、高度な専門知識・技術を身に付けて社会に貢献できる人材を養成することを目的にしているため、次のような人物を求めている。

1. 人や動物、自然が好きの人
2. 獣医学に強い関心を持ち、獣医師となることについて明確な問題意識を持っている人
3. 学習意欲が旺盛で、獣医学を学ぶ上で必要な生物・化学など理科の素養を含む基礎学力が十分に備わっている人
4. 獣医師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持っている人

◇ 動物応用科学科

本学科の教育理念を理解し、自ら学ぶ姿勢を持ち、本学での学習を通して人間と動物と社会の接点で通用するキャリアを身に付け、動物応用科学の諸領域で活躍したいという強い意志と意欲を持った人物を募集する。なかでも次のような人物を求めている。

1. 高等学校までの基礎学力、特に生物・化学を含む理科の学力が十分にある人
2. 問題意識を持ちチャレンジ精神が旺盛である人
3. リーダーシップと協調性を有し、動物応用科学の社会的使命をよく認識している人

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科の教育理念を十分に理解し、最後まで目標に向かって努力できる強い意志と意欲を持った次のような人を求めている。

1. 臨床検査技師として医療分野において活躍したい人
2. 疾病の発症機序や病態について広く興味がある人
3. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力(特に数学、生物、化学)を有する人

◇ 食品生命科学科

高等学校までの中等教育で学んだ基礎学力、特に化学、生物、英語の学力を有し、次のような人を求めている。

1. 本学科の教育理念を理解するとともに、食品に関する問題とその改善に強い関心を持っている人
2. 自ら考えて問題解決に積極的に挑戦する意欲を持った人
3. 食の安全・安心確保の見地から、正義感と責任感にあふれている人

◇ 環境科学科

高等学校までの中等教育で学んだ化学、生物、国語、英語の基礎学力を有し、次のような志向を持つ人を求めている。

1. 環境問題に強い関心がある人
2. 環境改善にチャレンジしようと考えている人
3. 環境の科学について学習意欲がある人
4. 環境科学科の教育理念、教育方針、教育内容等を理解し、自然科学的立場あるいは社会科学の立場から環境問題の解決に貢献したいとの強い意欲を持っている人

● 入学者の推移(過去5年) *

(人)

学部・学科		平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
学 獣 部 医	獣医学科	138	146	149	148	149
	動物応用科学科	144	144	144	147	144
生 命 学 ・ 部 環 境	臨床検査技術学科	85	90	90	90	90
	食品生命科学科	84	91	90	88	100
	環境科学科	120	128	128	127	129
合計		571	599	601	600	612

* 編入学者は除く。

■ 獣医学部

(人)

学部	区分 学科等	募集人員	平成25年度												平成24年度	平成23年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
獣	獣医学科	推薦等	33	80	169	249	80	169	249	8	32	40	8	32	40	259	226
		一般	75	778	727	1,505	750	707	1,457	102	62	164	55	32	87	1,558	1,499
		センター利用	12	197	204	401	197	204	401	34	37	71	5	6	11	299	258
		計	120	1,055	1,100	2,155	1,027	1,080	2,107	144	131	275	68	70	138	2,116	1,983
医	動物応用科学科	推薦等	40	19	74	93	19	74	93	9	36	45	9	36	45	102	129
		一般	55	186	308	494	178	299	477	49	77	126	30	45	75	464	446
		センター利用	25	145	228	373	143	226	369	57	78	135	13	11	24	290	254
		計	120	350	610	960	340	599	939	115	191	306	52	92	144	856	829
部	合計	推薦等	73	99	243	342	99	243	342	17	68	85	17	68	85	361	355
		一般	130	964	1,035	1,999	928	1,006	1,934	151	139	290	85	77	162	2,022	1,945
		センター利用	37	342	432	774	340	430	770	91	115	206	18	17	35	589	512
		計	240	1,405	1,710	3,115	1,367	1,679	3,046	259	322	581	120	162	282	2,972	2,812

□ 獣医学部編入学

(人)

学部	区分 学科	募集人員	選抜区分	平成25年度												平成24年度	平成23年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
獣医学科	若干名	第1次選抜	29	27	56	29	27	56	24	23	47	-	-	-	87	85	
		第2次選抜	24	23	47	24	23	47	2	4	6	2	4	6			
動物応用科学科	若干名	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 平成25年度から獣医学科の編入学試験は2段階選抜。

■ 生命・環境科学部

学部	区分 学科等		募集人員	平成25年度									平成24年度		平成23年度		
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
生命・環境科学部	臨床検査技術	推薦等	15	8	31	39	8	31	39	7	23	30	7	23	30	56	32
		一般	50	162	379	541	152	369	521	28	92	120	13	37	50	492	431
		センター利用	5	62	113	175	62	113	175	11	21	32	2	3	5	139	154
		計	70	232	523	755	222	513	735	46	136	182	22	63	85	687	617
	食品生命科	推薦等	20	20	16	36	20	16	36	14	15	29	14	15	29	25	31
		一般(I期)	45	152	138	290	147	135	282	45	65	110	22	22	44	408	300
		一般(II期)	若干名	16	16	32	16	15	31	1	4	5	2	3	5	28	10
		センター利用(I期)	5	90	100	190	90	100	190	21	40	61	2	4	6	153	175
		センター利用(II期)	若干名	7	16	23	7	16	23	2	6	8	0	0	0	10	10
		計	70	285	286	571	280	282	562	83	130	213	40	44	84	624	526
	環境科	推薦等	30	23	15	38	23	15	38	19	11	30	19	11	30	32	36
		一般(I期)	55	140	88	228	132	82	214	86	67	153	40	26	66	212	218
一般(II期)		5	6	13	19	6	11	17	4	6	10	2	9	11	8	13	
センター利用(I期)		5	100	77	177	100	77	177	41	39	80	8	1	9	173	196	
センター利用(II期)		5	10	7	17	10	7	17	7	4	11	3	1	4	8	15	
計		100	279	200	479	271	192	463	157	127	284	72	48	120	433	478	
合計	推薦等	65	51	62	113	51	62	113	40	49	89	40	49	89	113	99	
	一般(I期)	150	454	605	1,059	431	586	1,017	159	224	383	75	85	160	1,112	949	
	一般(II期)	5	22	29	51	22	26	48	5	10	15	4	12	16	36	23	
	センター利用(I期)	15	252	290	542	252	290	542	73	100	173	12	8	20	465	525	
	センター利用(II期)	5	17	23	40	17	23	40	9	10	19	3	1	4	18	25	
	計	240	796	1,009	1,805	773	987	1,760	286	393	679	134	155	289	1,744	1,621	

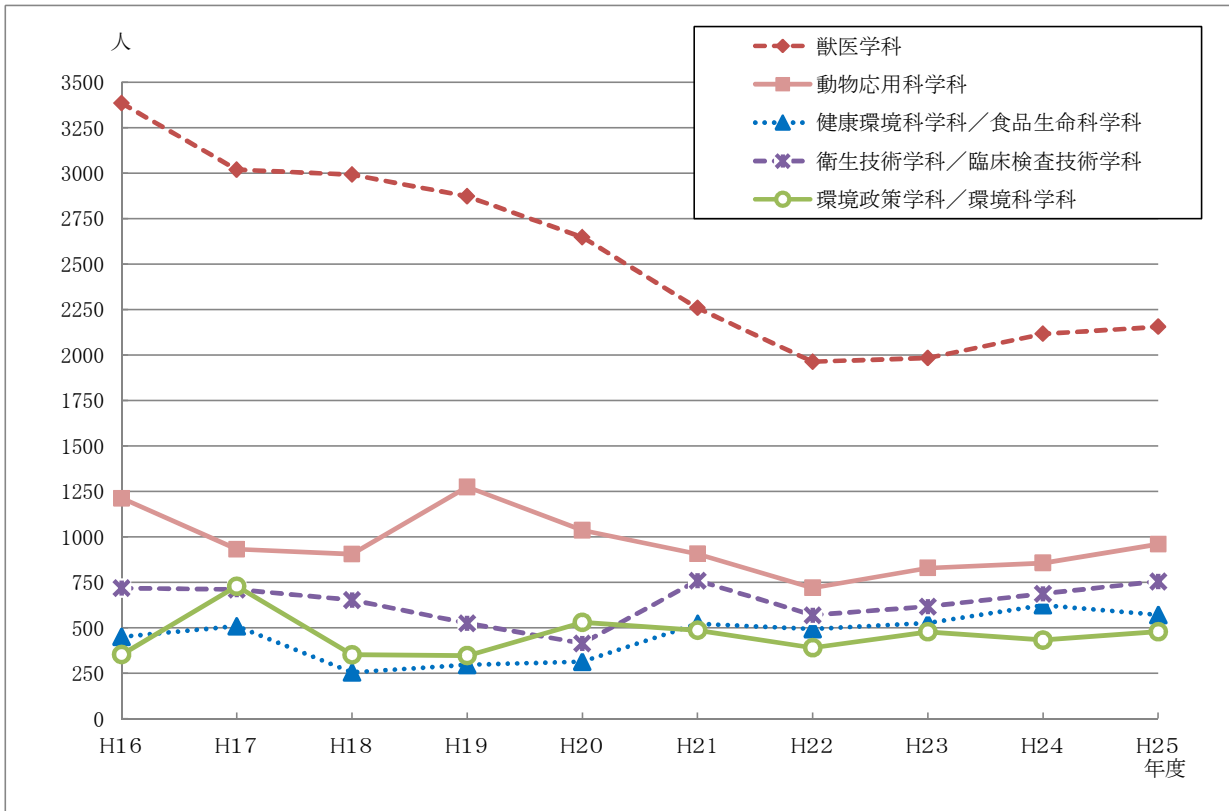
□ 生命・環境科学部編入学

学部	区分 学科等		募集人員	平成25年度									平成24年度		平成23年度		
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
生命・環境科学部	2年次	臨床検査技術	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
		食品生命科	5	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
		環境科	4	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	14	3	0	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	6	7
	3年次	臨床検査技術	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		食品生命科	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境科	4	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	4
		小計	14	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	2	5
合計			28	4	1	5	3	1	4	1	1	2	1	1	2	8	12

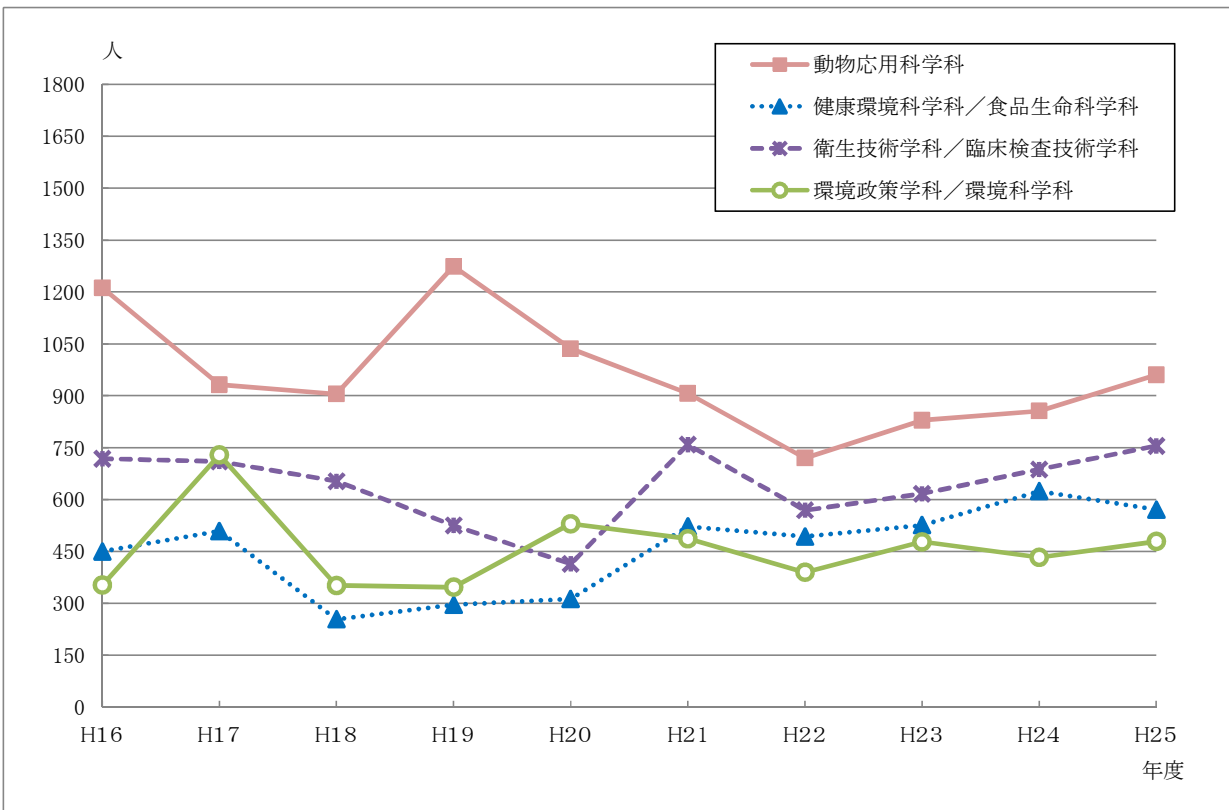
● 志願者の推移【麻布大学 過去10年】

■ 一般入学試験・推薦等入学試験・大学入試センター試験利用入学試験

◇ 全学科

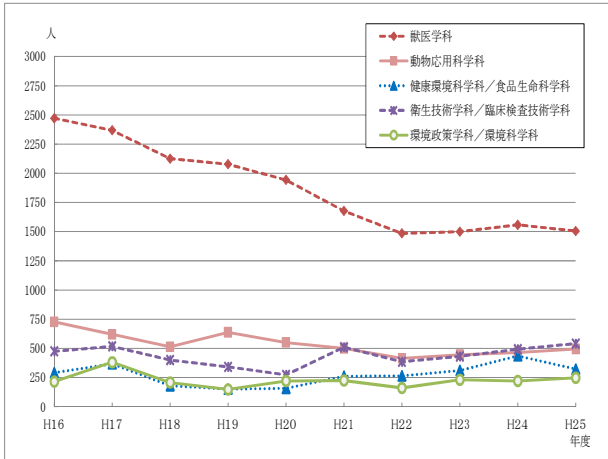


◇ 獣医学科を除く学科

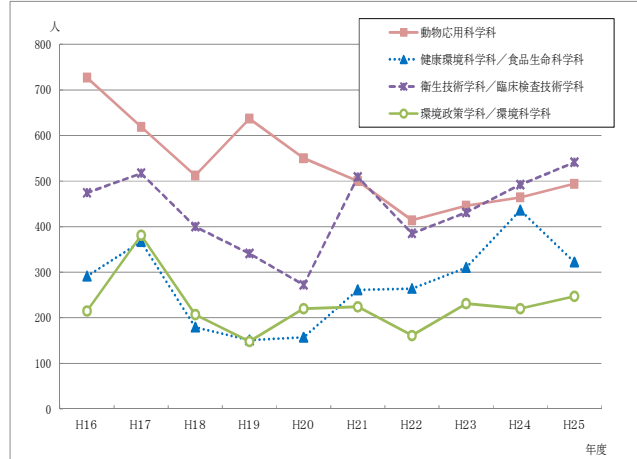


■ 一般入学試験

◇ 全学科

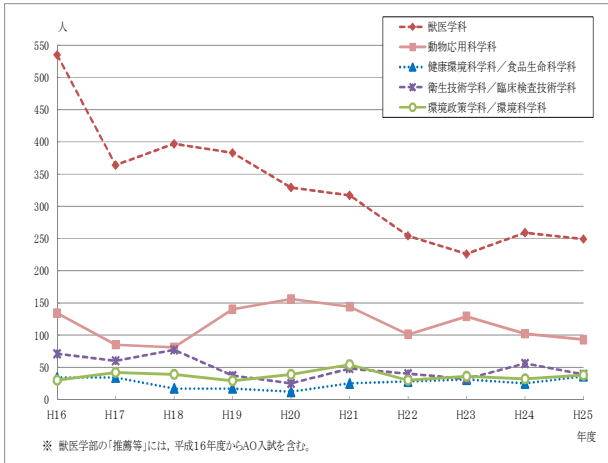


◇ 獣医学科を除く学科

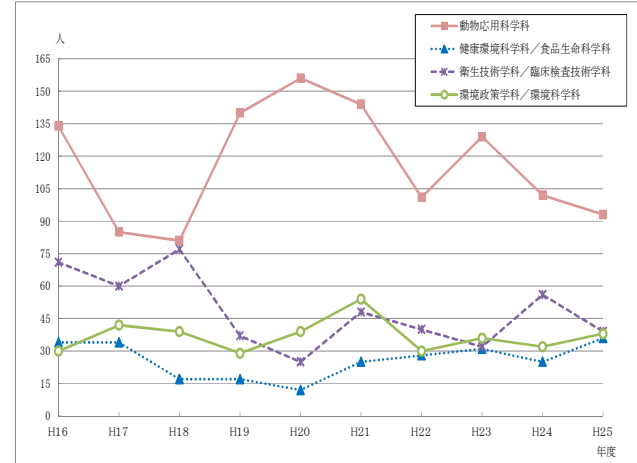


■ 推薦等入学試験

◇ 全学科

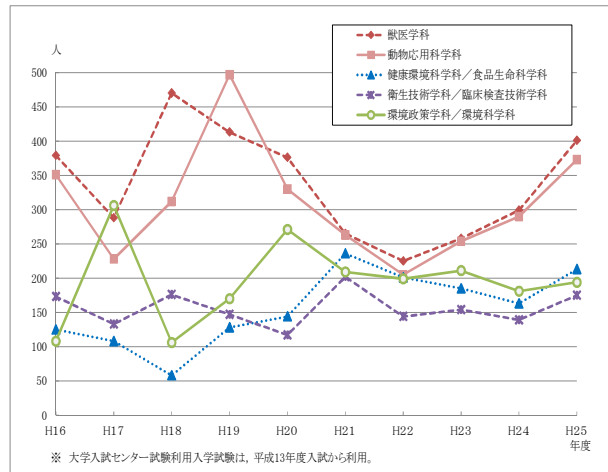


◇ 獣医学科を除く学科



■ 大学入試センター試験利用入学試験

◇ 全学科



◆ 麻布大学大学院

○ 各研究科・専攻の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

■ 獣医研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

獣医学専攻博士課程では、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 獣医学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 獣医学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の健康維持に貢献しようとする意識のある人
3. 獣医学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に対しても果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

博士前期課程(修士課程)では、人と動物の健康社会を科学する高度な専門性職業人の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 学部の専門にかかわらず、人と動物の健康を科学する動物応用科学の基礎となる生物学、化学の基礎知識を持ち、かつ国際化に対応できるだけの語学力を備えている人
2. 動物応用科学に強い関心を持ち、新しい知識の吸収意欲があり、かつそれらの知識を科学的発見及び問題解決に結びつけようとする意識のある人
3. 動物応用科学の社会的使命をよく認識し、リーダーシップと協調性を持って問題解決に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程で修得した広い視野に立って、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 動物応用科学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 動物応用科学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の福祉、社会の平和、生物としての共生並びに文化の進展に貢献しようとする意識のある人
3. 動物応用科学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

博士前期課程では、国の内外を問わず、またこれまでの大学・学部での専攻学科にとらわれず高い基礎学力と、将来に対する明確な目標とそれぞれの各研究分野に対して強い興味を持った人物を求めている。

1. 環境保健科学に強い関心を持ち学習意欲に富んだ人
2. 社会人等でこれらの分野にかかわる業務に就いている人

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、6つの専門分野あるいは関連する研究分野で修士号を取得した者又は取得見込みの者を求めている。

1. 高度な研究者、技術者あるいは統括指導者として活躍したい人
2. 社会人等でこれら分野にかかわる業務に就いている人

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

大学までに学んだ様々な分野の知見を踏まえて、更に環境衛生に関する専門的知見を身に付け社会全体の環境衛生レベルの向上について取り組みたい人物を求めている。

1. 人間社会にとって、人の健康と環境保全に関する、最も身近な政策である環境衛生政策に強い関心のある人
2. 自然科学・社会科学・人文科学など学問の全分野と深くかかわった政策を検討しようとする意欲を持っている人

● 入学者の推移（過去5年）

(人)

研究科	専攻	年度等		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
		4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学		
研究 獣医学	獣医学専攻博士課程	3	6	2	1	1	5	0	1	2			
	動物応用科学専攻博士前期課程	23	24	3	38	0	27	0	27	0			
	動物応用科学専攻博士後期課程	3	2	0	5	0	1	0	6	0			
研究 環境保健学	環境保健科学専攻博士前期課程	2	3	0	7	0	10	1	8	0			
	環境保健科学専攻博士後期課程	1	0	0	1	0	0	0	3	0			
	環境衛生政策専攻修士課程	2	0	0	3	0	1	0	0	0			
合計		34	35	5	55	1	44	1	45	2			

■ 獣医学研究科

(人)

研究科	専攻	区分	募集人員	平成25年度												平成24年度	平成23年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
獣	獣医学専攻博士課程	1期	10	0	3	3	0	3	3	0	3	3	0	1	1	7	0
		2期 若干名		3	0	3	3	0	3	2	0	2	2	0	2	4	1
		計	10	3	3	6	3	3	6	2	3	5	2	1	3	11	1
医	動物応用科学専攻博士前期課程	1期	12	11	15	26	11	15	26	11	13	24	10	11	21	22	44
		2期 若干名		0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	18	8
		計	12	11	17	28	11	17	28	11	15	26	10	13	23	40	52
学	動物応用科学専攻博士後期課程	1期	4	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	1
		2期 若干名		0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	2	4
		計	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	1	2	3	3	5
合計			16	22	38	16	22	38	15	20	35	13	16	29	54	58	

*平成25年度第1期合格者のうち、平成24年度10月入学希望者は、平成25年度入学者数に含まれていない。
 (獣医学専攻博士課程…女性2人、動物応用科学専攻博士後期課程…男性1人(辞退)、動物応用科学専攻博士前期課程…男性1人・女性2人)

■ 環境保健学研究科

(人)

研究科	専攻	区分	募集人員	平成25年度												平成24年度	平成23年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
環	環境保健科学専攻博士前期課程	1期	7	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	3	6
		2期 若干名		1	1	2	1	1	2	1	1	2	0	0	0	1	4
		計	7	3	1	4	3	1	4	3	1	4	2	0	2	4	10
保	環境保健科学専攻博士後期課程	1期	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1
		2期 若干名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1
学	環境衛生政策専攻修士課程	1期	7	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	2
		2期 若干名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		計	7	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	3
合計			6	1	7	6	1	7	6	1	7	5	0	5	4	14	

②教育課程

◆ 麻布大学

- 各学部学科の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の教育理念・目的に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムとなっている。

1. 初等年次では、教養から基礎獣医学まで幅広い知識や倫理観を身に付けるために基礎系教員と獣医学系教員の協力による総合的なカリキュラムの設定や選択科目を増やした学生の自主性を尊重したカリキュラムを設定している。
2. 中等年次では、基礎獣医学から臨床獣医学、応用獣医学まで獣医師として必要な要素を身に付けるために獣医学系教員による専門的なカリキュラムを設定している。このため専門教育を基礎獣医学系、病態獣医学系、生産獣医学系、臨床獣医学系及び環境獣医学系の5系のカテゴリーに分け、系内及び系外教員との協力体制の下に教育を展開している。
3. 高等年次では、小動物臨床獣医師、産業動物臨床獣医師あるいは公衆衛生獣医師などの獣医師としての専門性を身に付け、実践力を体得するためのカリキュラムを設定している。
4. 獣医師として、社会に巣立つための獣医師ライセンスの取得を目的とした獣医師国家試験対策のために、専門教育5系に属する獣医学系全教員の連携による総合的なカリキュラムを設定している。

◇ 動物応用科学科

動物生命科学コースでは、分子、細胞、組織、器官、個体及び生態系と様々な段階における生命現象について、その機能を解析し、動物資源の利用・開発とその保全・増殖並びに人と動物に対する安全の観点から学際的な分野を含む広範な動物生命科学の総合的な知識と技術、バイオテクノロジーの多様な応用領域について幅広い知識と技術を身に付けた人材の育成を目標とする。

動物人間関係学コースでは、自然科学と人文科学・社会科学の境界領域の学問分野として、すべての動物を対象に人と動物のより良い関係を学び、動物と人の健康・福祉・教育への貢献、また人と野生動物とのより良い関係及び野生動物の生息地管理などについて幅広い知識を備えた人材の育成を目標とする。

このような基本方針に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムを用意した。

1. 初年次教育から卒業時まで在学期間全体を通して、社会人・職業人として必要な知識・技術の習得が可能となるようにキャリア形成科目を各年次に計画的に配分した。
具体的には、人文科学・社会科学など一般教養や英語を主とした語学力並びにコミュニケーション能力、情報処理能力などである。
2. 動物科学の基礎学力の向上を起点とし、2年次までに動物応用科学が目指す人間社会と動物とのより良い共利共生につながる幅広い教育科目群を配当した。
1年次前期から生物学、化学、生態学などの科目配当で基礎学力を身に付け、その後段階的に専門基礎科目を配当し、動物の形態と機能、動物の特性及び基本的な病態について教育する。
また、本学科の全教員による動物応用科学概論、基礎ゼミなどを通じて、動物応用科学の広がりを認識し、その中で自らの修学意欲を高める教育を行っている。
3. 3年次以降においては、拡大・深化した動物応用科学の諸領域を動物の生命活動とその資源の利用・開発にかかわる動物生命科学コースと、人と動物のより良き共利共生関係を目指す動物人間関係学コースの2コースの教育科目を設けた。

動物生命科学コースでは、遺伝子から、細胞、組織・臓器、微生物、個体、群集、生態系までの種々の段階における生命現象を、保全・増殖、機能解析、利用・開発並びに人と動物に対する安全の観点から、分子から個体までの多様なレベルで総合的に学ぶ。

動物人間関係学コースでは、伴侶動物、介在動物、野生動物を対象に、人の福祉や教育の現場に活用できるような、これらの動物の特性とその応用及び人と動物と環境の共生について総合的に学ぶ。

4. 4年次には、卒業論文や科学の伝達によってそれぞれの領域における動物応用科学の専門性の追求と、それを基礎とした人間社会への貢献の在り方を学ぶ。
具体的には、社会最先端の実験手法、それを基にした動物機能性製品や新たな動物飼育法、社会調査、フィールド・ワークの実場面を体験し、そのデータ解析やレポート作成などを通じて、最新の研究情報を社会へ発信する能力、逆に社会ニーズに対応するための問題発見・解決能力を兼ね備える人材の教育を目指す。

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科の教育理念と教育目標を具体化したカリキュラムは、「臨床検査技師学校養成所指定規則」第2条第3号に規定されている「臨床検査技師養成教育」に必要な専門科目80単位を基本とし、これに本学科独自の科目を加えて構成されている。すなわち、高い倫理観を養うための生命倫理学、科学英語論文を理解するための基礎科学英語や医学英語を取り入れた教養科目、及び疾病並びにチーム医療を理解させるための医学系科目や介護学、看護学概論を配当した。さらに、履修した科目の内容を総合的に理解させるとともに、早い時期から国家試験を意識させ、合格率を高めるために、教育の進行に合わせて総合臨床検査学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ（合計15単位）を開講する。

1. 1～2年次において教養科目20単位（必修16単位、選択4単位）の他、解剖学、組織学、生理学、微生物学、生化学、病理学、免疫学、衛生・公衆衛生学などの専門基礎科目51単位（必修）及び病理組織細胞学、医動物学、検査管理総論、RI検査技術学などの専門科目13単位（必修）を配当し、基礎学力並びに専門基礎学力を身に付ける。
2. さらに、3～4年次において臨床病理学、臨床血液学、臨床化学、臨床微生物学、臨床免疫学、臨床生理学などに加えて、内科学概論などの医学系科目を含め、専門科目59単位（必修53単位、選択6単位）を配当し、臨床検査技師教育の専門分野を展開する。
3. 卒業論文（6単位）は、2～4年次の3年間で履修させる選択科目とした。これは、学生を各研究室に所属させ、研究テーマの決定、研究活動に必要な知識と実験手技の習得、文献の講読、実験の実施、データの解析・考察法、論文作成などを通して、問題に取り組む能力、必要な最新の情報を収集する能力及びプレゼンテーション能力など社会で要求される幅広い能力を身に付ける。

◇ 食品生命科学科

本学科の教育目標を達成するためのカリキュラムの設定方針としては、次のようなカリキュラム（教育課程）を組み立てている。

1. 高等学校までの基礎学力があることを前提として、1年次前期に生物学、有機化学などの自然科学系科目を配当する。また、1年次前期から専門基礎科目を配当し、食の安全及び生命科学について学ぶ専門基礎学力を育成する。一方、学生の学習意欲を増進させるために、1年次前期に社会の第一線で活躍する企業人などによる各専門分野のエキスパートを講師としたフード・バイオビジネス概論及び専門教育を担当する教員による食環境論などの導入科目を配当する。さらに、学生として必須の自学自習の習慣付けの強化、資料の読解とレポート作成能力を強化するために基礎科目の実習も1年次前期より配当し、さらにローテーション方式による少人数のプレ専門ゼミを1年次後期に配当する。
2. 社会人・職業人として最低限必要な教養とスキルの修得については、1年次から2年次にかけての人文科学、社会科学などの一般教養、食生活と健康科学等を通して、多面的・倫理的に物事を考察できる能力が身に付くように配慮している。また、1年次から2年次にわたり、英語を主とした語学力の向上を図るとともに情報処理及びデータ解析能力の基礎を身に付ける。
3. 2年次以降においては、食の安全及びバイオの科学コースの2コースを設けて、それぞれのコースにおいて専門教育を十分に展開する。2コースに共通する科目は専門共通科目群として2、3年次に配当する。
4. 4年次には、専門ゼミや卒業論文に取り組むことより、食品生命科学領域の深さと広がり認識し、最新の必要情報を収集する能力と問題発見・解決能力及びプレゼンテーション能力を身に付ける。

◇ 環境科学科

持続可能な社会の担い手を養成するために、以下のポリシーに従ってカリキュラムを編成している。

1年次には、教養科目・基礎専門科目として経済学・社会学・法学などの社会科学の基本的な科目を置くほか、大気環境学、水環境学、土壌環境学、廃棄物リサイクル論などの環境の基礎に関する科目を配置する。また、コース選択の指針を与える環境科学概論を配置し、1年次終了時点で適切なコース選択が行えるよう配慮する。

2年次以降のコース別教育では、次のような教育カリキュラムを編成している。

「環境技術コース」

1. 2年次に、水質衛生学、食品衛生学などの保健衛生に関する科目、機器分析化学、病原微生物学など、環境に悪影響を及ぼす因子やその分析に関する科目などを配置して、「環境の分析・調査能力」を養成する。
2. 3年次には、化学物質毒性評価学、農薬化学、環境リスク評価論など環境の評価に関する科目を配置し、分析結果に基づいて「環境の質を評価」する能力を養う。

3. 2年次後期から3年次後期にかけて、化学物質管理学、衛生管理学、水質汚染制御学、水処理工学・同演習など環境の維持・改善及び環境管理に関する科目を配置し、「環境の保護・保全に必要な技術やシステムを提案」できる能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

「環境と社会コース」

1. 2年次に、環境社会学、環境統計学、社会調査法などを配置し、「環境の社会的分析・調査に必要な能力」を養成する。
2. 3年次には環境影響評価論、リスクコミュニケーション論、環境管理論などを配置し、「社会調査等に基づく環境の質の評価手法」や「環境の維持・改善のための対策立案」する能力を養う。
3. 2, 3年次には、まちづくり論、ビオトープ論、市民環境活動論、都市計画論、エネルギー環境論など、持続可能性の観点から社会を分析・評価し、政策を提言する方法論を学ぶ。さらに「使える英語」教育の徹底を図り、グローバル化した社会における新しいライフスタイルの確立に向けた実践的なコミュニケーション能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

◆ 麻布大学大学院

- 各研究科・専攻の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

■ 獣医研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

1. 獣医学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に担当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. 各研究室において、それぞれの指導教員との討論の下、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取組、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 動物応用科学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に担当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. それぞれの指導教員の下、研究指導を受けながら研究課題に積極的に取組、修士論文としてまとめる。これにより、科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識及び実験手法について学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、学外の学会等において発表することを支援する。これにより、プレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

1. それぞれの指導教員との討論の下、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取組、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
2. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 6つの専門分野のいずれかに所属し、必修科目として開講されている授業科目の講義、実験及び実習により、その専門分野の基礎となる幅広い知識を修得する(22単位)。
2. 他の専門分野の講義を4単位及び共通科目として開設されている「科学英語」(ネイティブスピーカーが担当)及び「科学者・研究者論」を含め8単位を修得させる(合計30単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、環境保健科学分野の幅広い基礎知識を習得させる。
4. 授業科目を2年間で修得するとともに、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密な指導を行う。

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 各専門分野及び環境保健科学分野の基礎となる幅広い知識を土台に、更に高度な専門的知識を習得させる。
2. 所属する専門分野の「特別演習」及び「特別実験」を3年間にわたって履修させる(合計12単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、高度で専門的な博士(学術)にふさわしい学識を習得させる。
4. 授業科目を3年間で修得させるとともに、博士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密かつ高度な研究指導を行う。

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

1. 環境衛生政策を立案するために必要な自然科学的知識、社会科学的知識及び人文科学的知識にかかわる授業科目の講義及び演習により習得させる(合計30単位)。
2. 世界の最新情報を身に付けるためのネイティブ教員による科学英語を開講する。
3. これらの学問を2年間で修得し、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による綿密な指導を行う。
4. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会で発表させるとともに、大学院を担当する全教員による総合的指導を行う。

③学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準

◆ 麻布大学

● ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標），必要単位修得数及び取得可能学位

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の定められた教育課程を修了することで、次のような人材が育成されることを目標とする。

1. 獣医師としての専門分野の学問内容についての知識を習得している。
2. 獣医師として、臨床・予防衛生・公衆衛生に対応できる専門家としての実践能力を習得している。
3. 獣医師としての高い倫理観を有し、高度な専門職業人として責任をもった行動をとることができる。
4. 獣医師である高度な専門職業人として、課題発展能力・問題解決能力を習得し、獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズの変化に、持続的に対応できる柔軟さと学習意欲を持つ。

◇ 動物応用科学科

本学科の定められた教育課程に在籍し、本学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することが学位授与の要件である。修得すべき授業科目には、講義科目のほか、演習や実習、フィールド・ワークや卒業論文作成等の科目が含まれる。この卒業要件を満たすことで、次のような人物が育成されることを目標とする。

1. 社会から求められる幅広い知識、教養と高い社会倫理を習得した人物
2. 社会から求められる語学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力を習得した人物
3. 動物応用科学の領域の特性、その社会的責任、また動物応用科学の知識と技術を基に人間社会への貢献に寄与する人物
4. 動物応用科学における最新の科学技術に立脚した生命科学と社会の発展に貢献する、論理的で科学的な思考を習得した人物

□ 獣医学科（平成24年度入学者）

区分	単位数
基礎教育科目	
必修	5
選択必修	12
選択	23
専門科目	
必修	140
選択	7
計	187

取得可能学位 学士(獣医学)

□ 動物応用科学科（平成24年度入学者）

区分	単位数
基礎教育系科目群	
必修	22
選択必修	6
選択	7
専門共通科目群	}
動物生命科学コース科目群	
動物人間関係学コース科目群	
必修	72
選択	17
計	124

取得可能学位 学士(動物応用科学)

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科は、次のような能力・知識を有する卒業生を輩出する。

1. 臨床検査技師国家資格を取得できる学力
2. 医療従事者としての高い倫理観
3. 各種の疾患を理解し、疾患と臨床検査成績との関連性を深く把握できる能力
4. チーム医療を理解し、実践できる能力
5. 自分の考えを論理的に口頭発表したり、記述できる総合的能力(卒業論文を通して)

上記の能力・知識の習得について、定期試験・追再試験などを行い、厳格な単位認定を行う。また、必修科目133単位、選択科目10単位の計143単位を卒業要件とし、これを修得した者に対して卒業認定を行う。

◇ 食品生命科学科

本学科では、多くの実習・演習を通じて、食品衛生学・食品生命科学分野の諸領域における幅広い知識と専門技術に加え、高度なバイオ技術を用いた研究方法を修得し、以下のとおり、社会で活躍できる人材の育成を目指している。そのため卒業要件として、基礎科目と専門教育科目からそれぞれ19単位及び105単位、合計124単位以上を修得することが義務付けられていて、目標を達成した学生に対して単位を認定する。

1. 生物学的及び化学的な分析の知識・技術に精通し、得られた実験・調査成績に基づいて適切な評価・解決策を講じられる。
2. 食の安全・安心分野でリーダーシップを発揮し、問題の追求と解決に情熱を持って取り組む。
3. 広い識見と創造性に富み、人の健康にかかわる専門分野で実践・活躍できる実力を身に付ける。

◇ 環境科学科

卒業要件として、環境技術コースでは必修95単位、選択29単位以上、環境と社会コースでは必修66単位、選択58単位以上、合計124単位以上の修得を義務付けている。これらの単位の認定に当たって、それぞれの科目担当者は、学生の学力を十分考慮しつつ一定レベルの到達目標を定め、その目標に達した学生にのみ単位を与えることとしている。

本学科の教育課程は次のような人材の育成を目標としている。

1. さまざまな環境問題に遭遇した時に、その問題の本質がどこにあるのかを自然科学的あるいは社会科学的に正しく捉えることのできる問題発見能力と問題解決能力を身に付ける。
2. 環境技術コース履修者にあつては、対象となる環境の理化学的、生物的な分析・評価と環境の維持・改善のための技術的な提案を通して、社会に貢献できる。
3. 環境と社会コース履修者にあつては、社会科学的な視点に立って、環境問題に対する政策的な立案と実践を通して、社会に貢献できる。

□ 臨床検査技術学科(平成24年度入学者)

区分	単位数
必修科目	133
選択科目	10
┌ 教養科目	4
└ 専門科目	6
計	143

取得可能学位 学士(保健衛生学)

□ 食品生命科学科(平成24年度入学者)

区分	単位数
必修科目	114
選択科目	10
┌ 基礎・教養科目	4
└ 専門科目	6
計	124

取得可能学位 学士(保健衛生学)

□ 環境科学科(平成24年度入学者)

コース	区分	単位数
環境技術 コース	必修科目	95
	選択科目	29
	┌ 教養科目	10
	└ 専門科目	19 ※
計		124
環境と社会 コース	必修科目	66
	選択科目	58
	┌ 教養科目	18
	└ 専門科目	40
計		124

※ 19単位のうち6単位以上を4年次に修得すること。

取得可能学位 学士(環境科学)

◆ 麻布大学大学院

● ディプロマ・ポリシー（修了時の到達目標），必要単位修得数及び取得可能学位

■ 獣医研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

1. 博士課程にあつては，所定の修業年限である4年以上在学し，必修20単位，選択10単位計30単位以上を修得し，必要な研究指導を受け，かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に，博士（獣医学）の学位を与える。
2. ただし，博士課程に3年以上在学し，定められた授業科目につき課程修了必要単位を修得し，かつ，特に優れた研究業績を上げ，指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し，博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には，修業年限の特例により博士（獣医学）の学位を与える。
3. また，博士課程修了にあつては，以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識（専門的知識と見識）並びに研究技術を習得している。さらに，その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し，それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力，コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。上記3点の能力を通じて，獣医学における高度な専門性を持つ職業人，研究者及び教育者として社会に貢献できるようにする。

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程（修士課程）にあつては，所定の修業年限である2年以上在学し，必修・選択両科目を併せて30単位以上を修得し，必要な研究指導を受け，かつ修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に，修士（動物応用科学）の学位を与える。
2. ただし，博士前期課程（修士課程）に1年以上在学し，所定の課程修了必要単位数を修得し，かつ特に優れた研究業績を上げ，指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し，修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には，修業年限の特例により修士（動物応用科学）の学位を与える。
3. 博士前期課程（修士課程）修了に当たっては，以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) 動物，微生物などに由来する遺伝子，細胞，タンパク質などの機能解析とその応用，食品科学における危険要因の低減，除去及び生理活性マテリアルとしての環境改善への応用，更に「健康な動物」の持つ機能の人間生活への活用，野生動物の保全・人間社会との軋轢の軽減などの研究領域に関する高度な専門知識を習得している。
 - 2) それぞれの専門領域における科学的な課題設定方法，論理的思考，各分野の先端的知識の収集及び実験手法など基本的な研究技術を習得している。
 - 3) それぞれの研究成果を学会等において公表するために必要なプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身に付けている。

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては，所定の修業年限である3年以上在学し，必修科目12単位以上を修得し，必要な研究指導を受け，かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に，博士（学術）の学位を与える。
2. ただし，博士後期課程に2年以上在学し，所定の課程修了必要単位数を修得し，かつ特に優れた研究業績を上げ，指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し，博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には，修業年限の特例により博士（学術）の学位を与える。
3. 博士後期課程修了に当たっては，以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識（専門的知識と見識）並びに研究技術を習得している。さらに，その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し，それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力，コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。
4. 上記3点の能力を通じて，人と動物の健康社会に貢献する高度な専門性を持つ職業人，研究者及び教育者としての資質を備えている。

□ 獣医学専攻 博士課程

区分	単位数
必修	20
選択	10
計	30

取得可能学位 博士(獣医学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 動物応用科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
計	30

取得可能学位 修士(動物応用科学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 動物応用科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程にあつては、高い倫理観を養うとともに、コメディカルな分野に新しいバイオテクノロジーを導入した臨床検査技術と生命科学及び環境科学にかかわる諸問題を解明する基礎的かつ応用的能力を身に付けて修了させる。
2. 高度な専門知識と技術を備えた有能な中堅研究者、技術者又は統括指導者を育てる。
3. 教育研究職等で活躍できる能力を持った人材を養成する。

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、独創性の高い研究能力を培い、関連する分野で自立した研究者、技術者又は統括指導者になる能力を身に付けて修了させる。
2. 自立した研究者、技術者又は指導者として活躍できる人材を養成する。

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

1. 人間社会の身近な環境衛生政策分野に関連する自然科学・社会科学の両方の専門知識を備えた能力を身に付けて修了させる。
2. 環境衛生政策を直接担当する地方公共団体等の行政機関や環境衛生に関する一般企業において活躍できる能力を持った人材を養成する。

□ 環境保健科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
計	30

取得可能学位 修士(環境保健科学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 環境保健科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 環境衛生政策専攻 修士課程

区分	単位数
必修	22
選択	8
計	30

取得可能学位 修士(環境衛生政策)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

● 博士・修士学位授与数 (平成24年度)

平成25年3月31日現在

研究科・専攻等	学位授与数			
	修士	博士(獣医学)	博士(学術)	
獣医学研究科	獣医学専攻	-	1	-
	動物応用科学専攻	36	-	0
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※	-	1	0
	小計	36	2	0
環境保健学研究科	環境保健科学専攻	9	-	0
	環境衛生政策専攻	3	-	-
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※	-	-	1
	小計	12	-	1
合計	48	2	1	

※【麻布大学学位規則】第3条

- 3 博士の学位は、本学大学院の博士課程を経ない者であっても、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、前項に該当する者と同等以上の学力があることを確認された場合には授与することができる。

④ 平成24年度卒業生・修了者数及び進路状況

(人)

	麻布大学								麻布大学大学院				計
	獣医学科	動物応用科学科	臨床検査技術学科	食品生命科学科	環境科学科	健康環境科学科	衛生技術学科	環境政策学科	獣医学専攻	動物応用科学専攻*	環境保健科学専攻*	環境衛生政策専攻	
卒業生・修了者数	153	136	81	90	105	1	-	4	1	36	9	3	619

進路状況

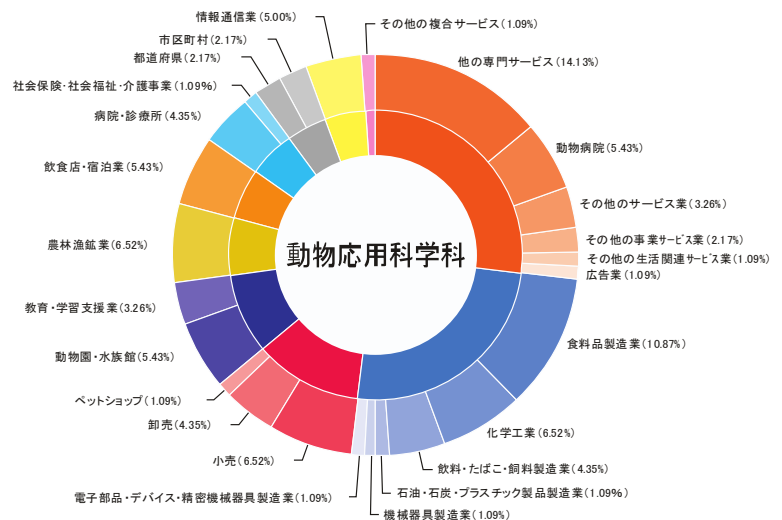
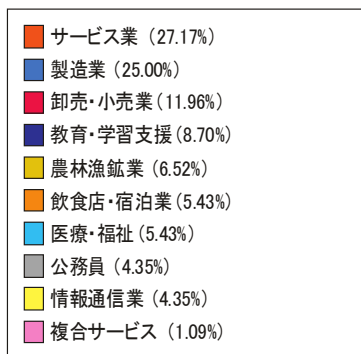
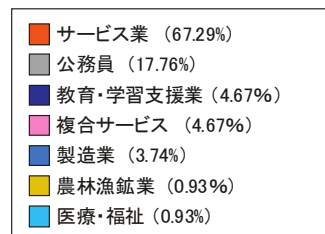
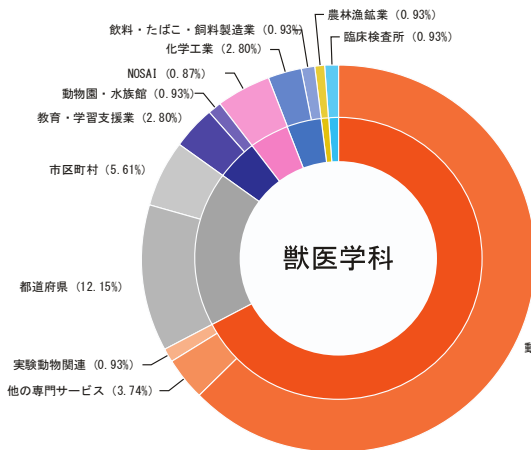
就職	114	94	50	61	64	0	-	2	1	27	6	1	420
進学	12	29	8	14	16	0	-	0	0	3	1	0	83
その他(浪人等)	27	13	23	15	25	1	-	2	0	6	2	2	116

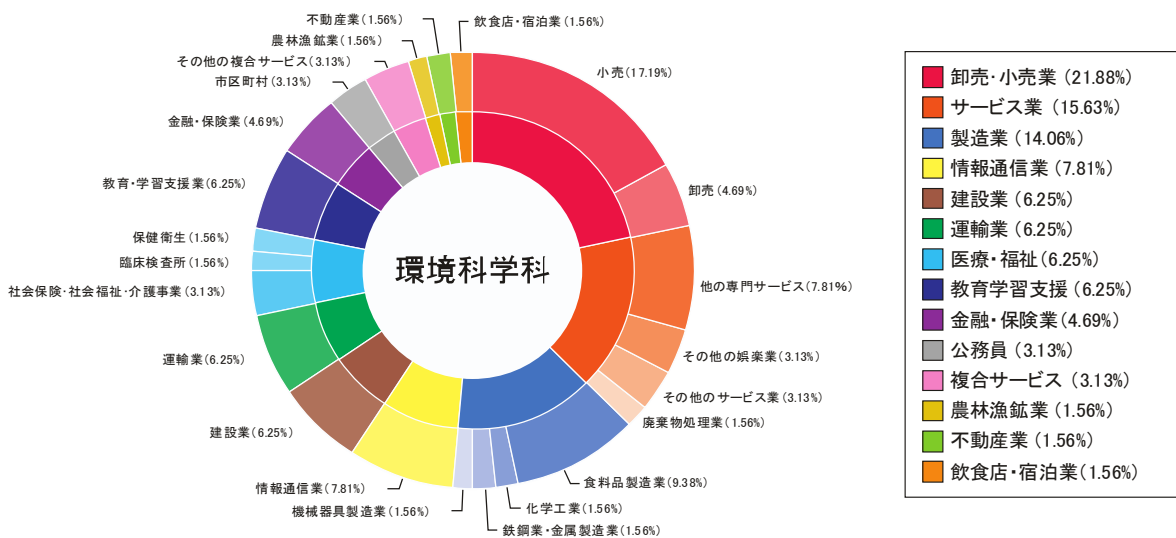
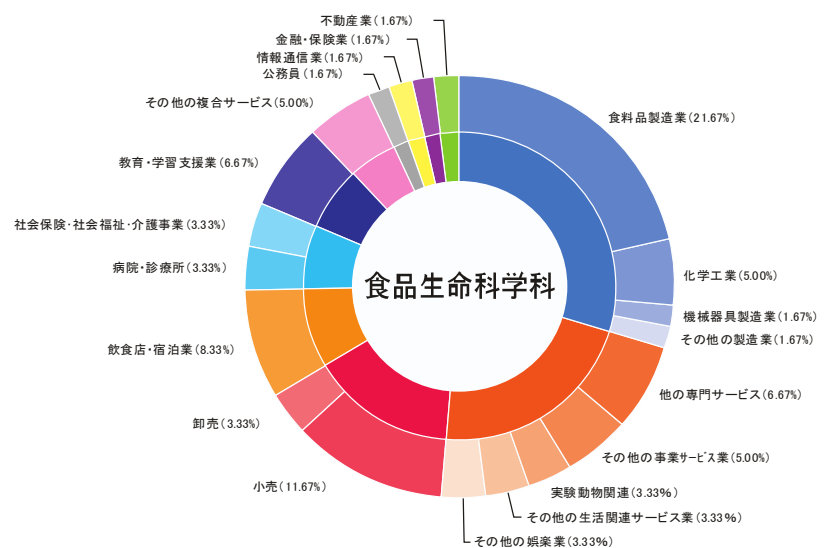
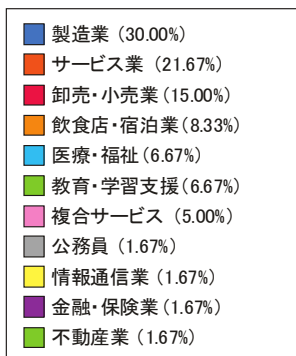
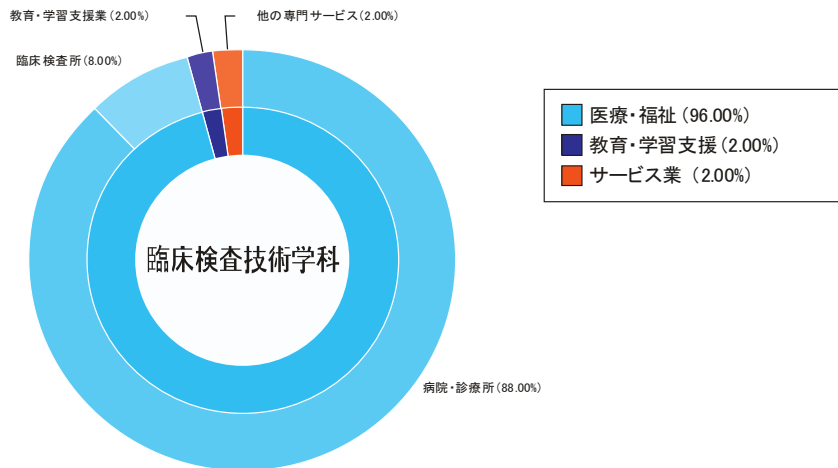
[進学先内訳]

自大学院	1	19	3	1	2	0	-	0	0	3	1	0	30
他大学院	6	3	2	8	4	0	-	0	0	0	0	0	23
自大学	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1
他大学	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
短期大学	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
専門学校・各種学校	1	0	0	4	7	0	-	0	0	0	0	0	12
その他(留学等)	4	6	3	1	3	0	-	0	0	0	0	0	17

*麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻及び環境保健学研究科環境保健科学専攻の欄は、博士前期課程及び博士後期課程を合算した人数である。

● 就職先内訳 [麻布大学]

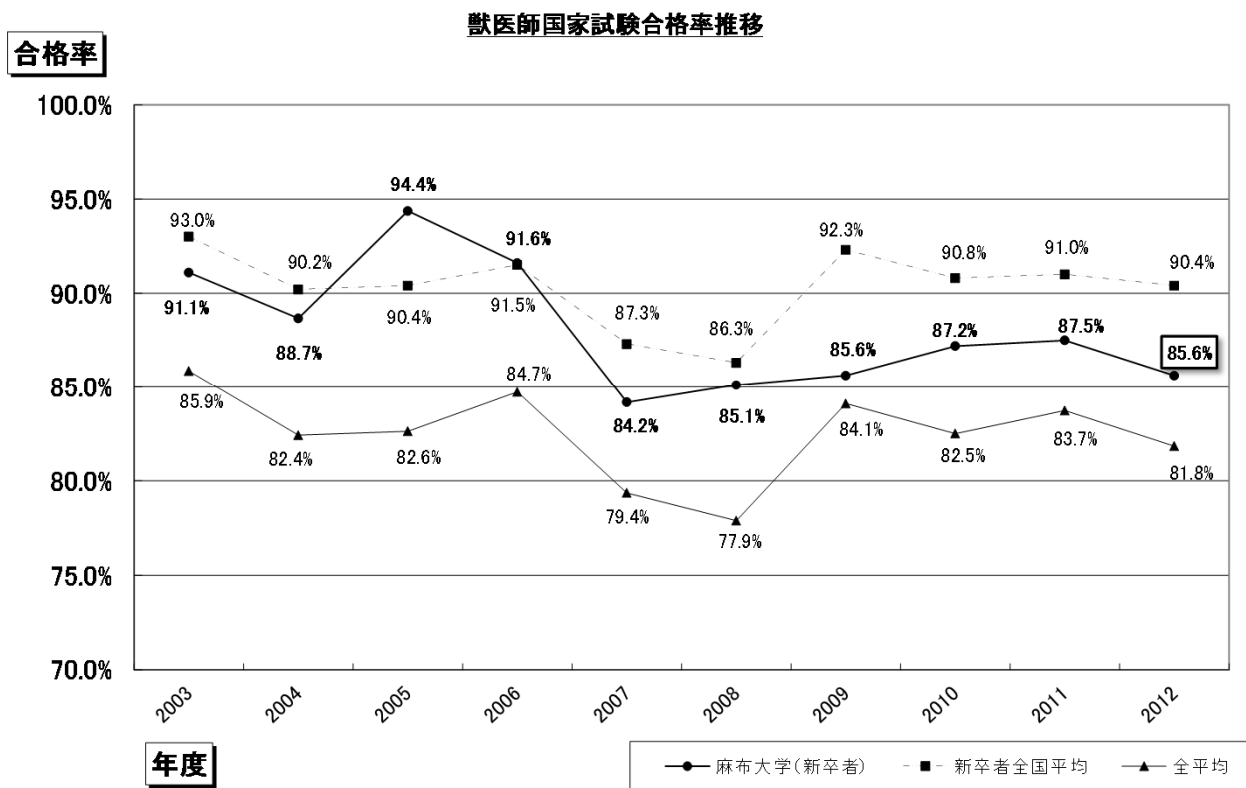




⑤ 国家試験合格率の推移

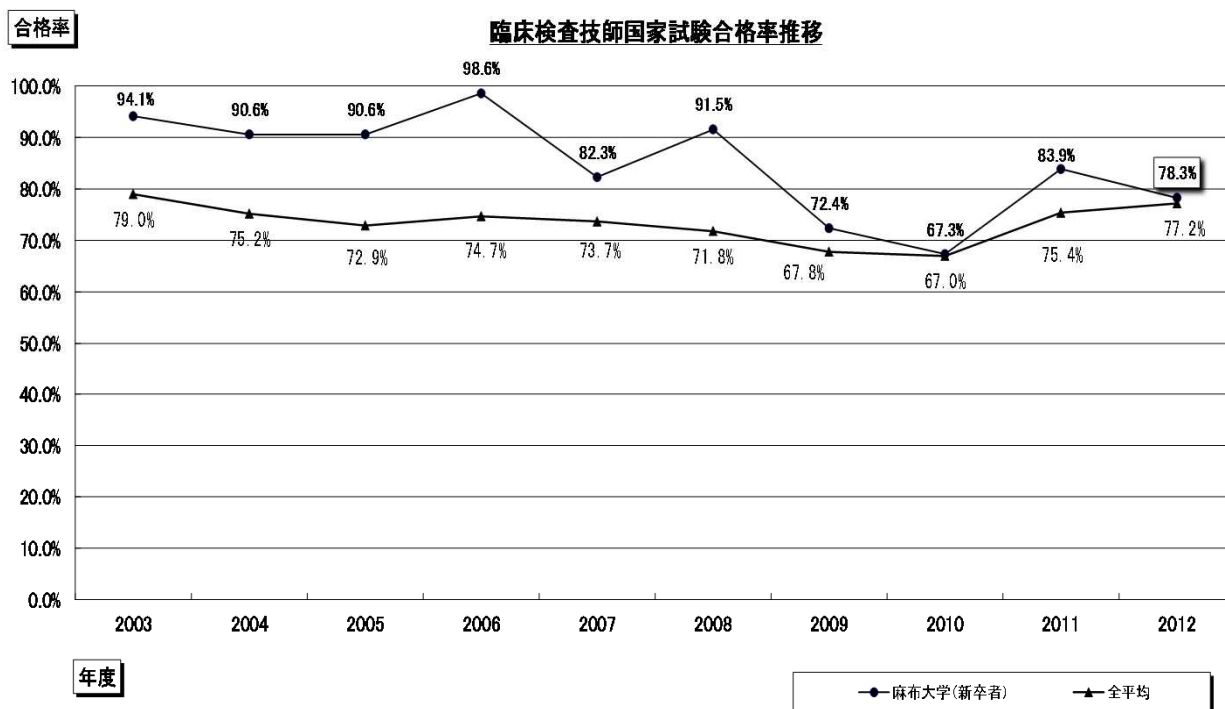
◆ 獣医師国家試験

(麻布大学 獣医学部獣医学科)



◆ 臨床検査技師国家試験

(麻布大学 環境保健学部衛生技術学科, 生命・環境科学部臨床検査技術学科)



※ 2011(平成23)年度受験者から生命・環境科学部 臨床検査技術学科入学者が受験

⑥退学者数・中退率・留年者数

◆ 麻布大学

平成25年5月1日現在

● 退学者数

(人)

学部	獣医学部						生命・環境科学部						環境保健学部												
	獣医学科			動物応用科学科			臨床検査技術学科			食品生命科学科			環境科学科			健康環境科学科			衛生技術学科			環境政策学科			
区分	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
1年次	男	4	2	0	0	2	3	1	1	3	6	4	4	7	9	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0	1	1	4	3	3	2	4	1	1	3	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	5	2	1	1	6	6	4	3	7	7	5	7	9	11	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2年次	男	0	1	1	0	1	1	1	2	2	0	1	2	6	6	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0	1	0	3	1	3	1	5	0	3	5	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	1	1	2	0	4	2	4	3	7	0	4	7	8	8	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3年次	男	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	1	2	2	—	—	1	—	0	2	—	—	—
	女	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	—	—	0	—	1	0	—	—	—
	計	0	1	0	2	2	0	0	0	1	2	0	3	1	2	3	—	—	1	—	1	2	—	—	—
4年次	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	6	0	—	0	0	0	1	0	0	4	6
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	—	0	1	0	1	0	0	0	3
	計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	8	0	—	0	1	0	2	0	0	4	9
5年次	男	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6年次	男	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	8	4	4	3	12	8	8	6	15	10	10	17	22	29	17	0	0	2	0	3	2	0	4	9	

● 中退率 (平成24年度)

学部・学科	中退率
学 獣医学科	0.86%
部 動物応用科学科	0.54%
境 臨床検査技術学科	2.19%
生 食品生命科学科	2.75%
命 環境科学科	4.46%
部 環境科学科	

● 留年者数 (平成24年度)

(人)

学部・学科	留年者数
学 獣医学科	21
部 動物応用科学科	6
境 臨床検査技術学科	17
生 食品生命科学科	8
命 環境科学科	30
部 環境科学科	

※ 中退率＝平成25年5月1日現在での平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)退学者数÷平成24年度在籍学生数(平成24年5月1日現在)×100

◆ 麻布大学大学院

平成25年5月1日現在

● 退学者数

(人)

研究科	専攻	獣医学研究科						環境保健学研究科								
		獣医学専攻博士課程		動物応用科学専攻博士前期課程		動物応用科学専攻博士後期課程		環境衛生政策専攻修士課程		環境保健科学専攻博士前期課程		環境保健科学専攻博士後期課程				
年度	専攻	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
1年次	男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2年次	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	女	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3年次	男	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	—	—
4年次	男	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		1	0	0	2	1	2	0	0	2	0	0	0	0	1	1

● 中退率 (平成24年度)

研究科・専攻	中退率
研 獣医学専攻博士課程	6.25%
究 動物応用科学専攻博士前期課程	3.28%
医 動物応用科学専攻博士後期課程	0.00%
学 環境保健科学専攻博士前期課程	0.00%
院 環境保健科学専攻博士後期課程	0.00%
環 環境衛生政策専攻修士課程	0.00%

● 留年者数 (平成24年度)

(人)

研究科・専攻	留年者数
研 獣医学専攻博士課程	0
究 動物応用科学専攻博士前期課程	1
医 動物応用科学専攻博士後期課程	0
学 環境保健科学専攻博士前期課程	1
院 環境保健科学専攻博士後期課程	0
環 環境衛生政策専攻修士課程	0

※ 中退率＝平成25年5月1日現在での平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)退学者数÷平成24年度在籍学生数(平成24年5月1日現在)×100

⑦学習環境

平成24年5月1日現在

● キャンパス等

区分		敷地面積(㎡)
淵野辺キャンパス	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71	110,078.31
信濃研修場	長野県佐久市布施字御牧原15-156	4,339.30
敷地面積合計		114,417.61

● 建物

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
淵野辺キャンパス 麻布大学	獣医学部棟	獣医学部実習室, 研究室, 実験サポート室, 共用機器室	19,348.37	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根7階建
	生命・環境科学部棟	生命・環境科学部実習室, 研究室, 高大共用講義室, 共用機器室, 自習室	1,032,325	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根6階建
	3号館	生命・環境科学部実習室, 研究室, 談話室	5,492.12	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建地下1階
	4号館	学生食堂, 留学生研修室	1,605.73	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
	5号館	実習室, 標本室	2,656.39	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建地下1階
	6号館	研究室, 食肉加工場, 水生生物飼育室	2,685.03	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	7号館	研究室, 手術室, X線室	1,233.86	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	8号館	講義室, コンピュータ・LL教室, 百周年記念ホール, 事務局各課	6,387.84	鉄骨鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺8階建
	9号館	メディアステーション, 講義室, 研究室	4,704.40	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	大教室		468.22	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
	生物科学総合研究所	事務局, 飼育室, 実験室	3,423.22	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	本館	事務局各課, 学生相談室, 就職相談室, 会議室	1,656.95	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
	学術情報センター(図書館)	図書館	1,846.96	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建地下1階
	獣医臨床センター	附属動物病院, 小動物飼育施設, ハイテク・リサーチセンター	5,583.43	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付6階建
	コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ	「動物トレーニング実習」を本格的に行う施設	214.11	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	教育用動物繋留施設		164.03	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	学生ホール	生協, 部室	1,276.08	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス1	部室, 音楽練習場, 土俵, ボクシング練習場	729.75	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス2	部室, 多目的ルーム	207.36	鉄骨造鉄板葺2階建
	百十周年記念会館	学生食堂, 同窓会事務局, 会議室	764.01	鉄骨造ルーフィング葺2階建
	空手道場		197.55	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	馬術部部室		99.00	軽量鉄骨プレハブ造2階建
	小動物舎1		280.50	鉄骨造陸屋根平家建
	小動物舎2	手術室, 飼育室	213.84	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	鶏舎1		51.84	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	鶏舎2		25.92	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	厩舎		476.97	鉄骨造鉄板葺一部2階建
	厩舎(小)		18.90	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	豚舎		597.34	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	羊舎		40.71	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	牛舎		728.72	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
危険物倉庫		7.68	コンクリートブロック造波スレート葺平家建	
ボイラー室		49.20	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建(平家建)	
更衣室		180.18	木造波トタン葺平家建	
倉庫(守衛所横)		38.66	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	
正門守衛所		28.57	鉄筋コンクリート造平家建	

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
麻布大学	東門守衛所		5.05	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	特別高压変電所		22,323.00	鉄骨造合金メッキ銅板葺平家建
	床面積小計		1,118,136.49	
淵野辺キャンパス 附属高等学校	高校1号棟	教室, 食堂, 売店	4,325.82	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	高校2号棟	教室, 事務室	3,026.29	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	体育館		1,082.61	鉄骨鉄筋コンクリート造鉄板葺2階建
	麻布獣医学園アリーナ		354,781	鉄骨鉄筋コンクリート造ステンレス銅板葺2階建
	武道館		777.49	鉄骨造亜鉛メッキ銅板葺2階建
	高校部室	部室	337.60	鉄骨造鉄板葺2階建
	高校倉庫		138.80	鉄骨造合金メッキ銅板葺2階建
	総合グラウンド管理棟	体育教員室, 更衣室	222.31	鉄骨造亜鉛メッキ銅板葺2階建
	総合グラウンド倉庫棟	倉庫	280.80	鉄骨造亜鉛メッキ銅板葺平屋建
	床面積小計		364,972.72	
信濃研修場	研究棟		559.54	鉄骨造ルーフィング葺2階建
	職員棟		165.62	木造ルーフィング葺平家建
	床面積小計		725.16	
床面積合計			1,483,834.37	

● 厚生補導施設等

施設等	概要
学生ホール	1階には談話室, シャワー室, 生協店舗(売店)等があり, 2階にはクラブ部室(25室)がある。学生は, 憩いとコミュニケーションの場として活用している。
クラブハウス1	学生ホールに隣接して建設しており, 1階には防音設備完備の音楽練習場, 弓道場, 相撲部土俵, ボクシング練習場があり, 2階には学生自治会及びクラブ部室(11室)がある。学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
クラブハウス2	クラブハウス1の北側に建設しており, 1階にはクラブ部室(4室), 2階には筋力トレーニングやミーティングといった様々な用途に利用可能な多目的ルーム(3室)がある。クラブハウス1と同様, 学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
麻布総合グラウンド	敷地面積は15,906㎡。各種球技(野球, サッカー, ラグビー等)及び陸上競技に使用できる総合グラウンドである。 学生は, クラブ活動等で利用するほか, 大学祭などの各種イベントの会場として活用している。また, 附属高等学校では, 授業や部活動等で大いに活用している。
麻布総合グラウンドの管理棟・倉庫棟	麻布総合グラウンド西側に大学と附属高等学校の共同施設として建設。管理棟2階には, 多目的室(2室)があり, クラブハウス2と同様の設備がそろい, 筋力トレーニングやミーティング等に利用できる。倉庫棟には広い収納スペースがある。
4号館	1階には生協が運営するカフェテリア方式の学生食堂(300席)があり, 2～3階には教員室や留学生研修室等がある。学生は, 食堂利用のほか, 授業の合間の休憩, 自主学習やコミュニケーションの場として活用している。
百十周年記念会館	創立百十周年を記念し, 平成14年10月に竣工した。1階にはカフェテリア方式の食堂(150席)があり, 2階には多用途に利用できる会議室や麻布大学同窓会の事務室がある。
バーベキュー場	4号館横に設置しており, 学生はルールを厳守の上, 懇親の場として活用している。
ラウンジ	獣医学部棟1階の一部を, ラウンジとして開放している。学生は, 授業の合間の休憩や懇親の場として利用するほか, 放課後の自主学習の場としても活用している。
自習室	生命・環境科学部棟の自習室に加え, 獣医学部棟1階115室, 116室及び117室を学生用自習室として開放している。なお, 116室及び117室については, 11月初旬から2月下旬にかけて, 獣医師国家試験を控えた獣医学科6年次学生優先の自習室としている。
大学テニスコート	敷地面積は1,517.7㎡, 設置コートは2面。学生ホールの北側に設置しており, 学生は, クラブ活動等で利用している。
附属高等学校テニスコート	敷地面積は1,424.5㎡, 設置コートは2面。附属高等学校2号棟の北側に設置しており, 主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用される。
武道館	床面積は, 777.49㎡。1階には柔道場があり, 2階には剣道場がある。主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用されるほか, 大学の学生も, クラブ活動等で使用している。
附属高等学校食堂・売店	附属高等学校1号棟1階に設置しており, 食堂の収容数は120席である。また, 食堂の隣には生協が運営する売店を設置している。生徒等は, 昼食時に利用するほか, 憩いの場として活用している。
信濃研修場	昭和52年6月, 学生・生徒等の学外教育施設として開設した。研修棟には宿泊室(7室), 宿泊室兼研修室(1室), 研修室兼食堂があり, 職員棟には宿泊室(4室)及び応接室兼会議室(1室)がある。

⑧ 学生納付金

◆ 麻布大学

● 平成20年度以降入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科・コース		年次	1年次		2年次以降		
			前期	後期	前期	後期	
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000	
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000	
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000		
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000		
合計	975,000	725,000	675,000	675,000			
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	食品生命科学科	食の安全コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	バイオ科学科	バイオ科学コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	環境科学科	環境技術コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
授業料			350,000	350,000	425,000	425,000	
実験実習費			—	—	100,000	100,000	
教育充実費			50,000	50,000	50,000	50,000	
合計		800,000	550,000	675,000	675,000		
環境と社会コース		入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	350,000	350,000	350,000	350,000	
		実験実習費	—	—	—	—	
	教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000		
合計	800,000	550,000	500,000	500,000			

【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。
2 編入学生の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

● 平成19年度以前入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科		年次	1年次		2年次以降	
			前期	後期	前期	後期
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000	
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
環境保健学部	健康環境科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	衛生技術学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	環境政策学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	350,000	350,000	350,000	350,000
実験実習費		—	—	—	—	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	800,000	550,000	500,000	500,000		

【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。
2 編入学生の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

◆ 麻布大学大学院

(単位 円)

項目	区分 年度	動物応用科学専攻 博士前期課程		獣医学専攻博士課程・ 動物応用科学専攻博士後期課程		環境衛生政策専攻 (修士課程)		環境保健科学専攻 博士前期課程		環境保健科学専攻 博士後期課程	
		初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降
学納金	入学金	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—
	授業料	600,000	600,000	600,000	600,000	500,000	500,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	実験・実習費	200,000	200,000	200,000	200,000	—	—	200,000	200,000	200,000	200,000
	施設設備費	150,000	—	150,000	—	150,000	150,000	150,000	—	150,000	—
	合計	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000	900,000	650,000	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000

【注】 1 施設設備費は本学を卒業した者に限り免除とする。
2 本学の博士前期課程修了者が博士後期課程に入学した場合の入学金は免除する。

● 授業料の免除・徴収猶予

■ 麻布大学学則

第62条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業が優秀と認める場合、その他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費・教育充実費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

■ 麻布大学大学院学則

第19条の2 経済的理由によって学納金納付が困難であり、かつ学業が優秀と認めた場合又はその他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

⑨ 学生支援と奨学金

● 学生支援体制（麻布大学・麻布大学大学院）

支援内容	支援組織等	場所	具体的な支援内容等
就職支援・進路相談	学生支援課	8号館1階	進路・就職についての相談、斡旋、就職相談室の受付、就職に必要な事務手続、キャリア形成支援、インターンシップ、就職活動関係講座等の開催、企業等説明会の開催など
	就職閲覧室	8号館1階	就職及び進学に関する資料の展示・配付、求人情報の提供、就職情報検索専用パソコンの設置など
	キャリア・就職相談室	本館2階	相談員による就職相談、提出書類の添削、模擬面接など
教育支援・履修支援	附属教育・推進センター	8号館1階	リメディアル授業の開講、チューターによる個別指導、履修相談、学生による授業評価の実施など
	学生支援課	8号館1階	入学前教育、教職課程、各種資格、単位互換、転学部・転学科、学外実習に関する事。その他、履修・成績に関する教務全般、履修相談、休学、退学、学生の個人情報の変更に関する事
研究支援	研究推進・支援本部 学術支援課	本館2階	知的財産権等研究成果及び競争的資金を含む外部資金（共同研究、受託研究など）に関する事等の研究活動支援全般
生活支援	学生支援課	8号館1階	学生生活相談、各種証明書の発行、自転車・ロッカーの登録、課外活動支援など
経済支援	学生支援課	8号館1階	各種奨学金の案内、学納金の徴収猶予・免除等の相談、アルバイト求人案内など
保健・衛生	健康管理センター	8号館1階	健康相談、応急処置、定期健康診断、健康診断証明書の発行、検査など
メンタルヘルス	学生相談室	本館2階	カウンセラー（学外の臨床心理士等）による相談
ハラスメント防止	ハラスメント防止委員会	—	セクシュアル・ハラスメント等の人権侵害の防止と被害からの救済・回復、啓発活動
	セクシュアル・ハラスメント等相談員	—	学内相談員（教職員）によるハラスメント相談
	ハラスメント相談室	本館2階	学外相談員によるハラスメント相談

◇ クラス担任 ◇

麻布大学では、学生の最も身近な相談相手として、各学科各年次に2～3人の「クラス担任」を置いている。クラス担任は、クラス全体の問題を始め、学生生活で直面する学習上の問題、健康、生活、経済面などの個人的な悩みについても相談に応じ、助言等を行っている。

● 奨学金

種類	貸与の種類	対象・条件	金額
麻布大学奨学金	無利子	なし	学納金相当額
麻布大学父母会奨学金	無利子	なし	学納金相当額
麻布大学同窓会奨学金	無利子	なし	学納金半期相当額
日本学生支援機構 (JASSO)	第1種	学部学生	
		自宅通学者	54,000円又は30,000円より選択(月額)
		自宅外通学者	64,000円又は30,000円より選択(月額)
		大学院学生(修士・博士前期)	50,000円又は88,000円より選択(月額)
	大学院学生(博士後期)	80,000円又は122,000円より選択(月額)	
	第2種	有利子	学部学生
		大学院学生 (修士・博士前期・博士後期)	50,000円, 80,000円, 100,000円 130,000円, 150,000円より選択(月額)

● 平成24年度 各種奨学金貸与状況

平成25年3月31日現在

■ 麻布大学

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	小計	合計
麻布大学奨学金		0	2	7	2	2	1	-	14
麻布大学父母会奨学金		0	0	0	3	1	0	-	4
麻布大学同窓会奨学金		0	0	0	0	0	1	-	1
日本学生支援機構奨学金(JASSO)		227	260	231	244	70	67	-	1,099
獣医学科 (学生数934人)	第1種	22	26	21	21	14	20	124	404
	第2種	40	45	40	52	56	47	280	
	(併用者)	(7)	(15)	(6)	(9)	(7)	(5)	(49)	
動物応用科学科 (学生数560人)	第1種	17	20	20	16	-	-	73	211
	第2種	29	36	34	39	-	-	138	
	(併用者)	(2)	(7)	(2)	(7)	-	-	(18)	
臨床検査技術学科 (学生数366人)	第1種	8	7	7	12	-	-	34	161
	第2種	31	36	32	28	-	-	127	
	(併用者)	(4)	(1)	(2)	(4)	-	-	(11)	
食品生命科学科 (学生数363人)	第1種	8	8	10	6	-	-	32	139
	第2種	30	30	23	24	-	-	107	
	(併用者)	(3)	(2)	(4)	(2)	-	-	(11)	
環境科学科 (学生数493人)	第1種	8	11	3	7	-	-	29	184
	第2種	34	41	41	39	-	-	155	
	(併用者)	(3)	(2)	0	(1)	-	-	(6)	
合計		227	262	238	249	73	69	-	1,118

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

■ 麻布大学大学院

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	小計	合計
日本学生支援機構奨学金(JASSO)		17	21	4	1	-	43
獣医学専攻 博士課程	第1種	4	0	4	1	9	9
	第2種	0	0	0	0	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
動物応用科学専攻 博士課程前期	第1種	10	13	-	-	23	23
	第2種	0	0	-	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
動物応用科学専攻 博士課程後期	第1種	0	2	0	-	2	2
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境保健科学専攻 博士課程前期	第1種	2	4	-	-	6	8
	第2種	1	1	-	-	2	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
環境保健科学専攻 博士課程後期	第1種	0	1	0	-	1	1
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境衛生政策専攻 修士課程	第1種	0	0	-	-	0	0
	第2種	0	0	-	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
合計		17	21	4	1	-	43

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

⑩ 学生表彰制度

◆ 麻布大学

■ 学業成績優秀者

年度始めに、各学科から年次ごとに原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。表彰式は6月に行われ、賞状・副賞及び奨学金が授与される。なお、この賞は複数回受賞することができる。また、卒業認定時に、越智賞受賞者を除く各学科から原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。表彰式は卒業式に行われ、賞状及び副賞が授与される。

■ 越智賞

麻布獣医学園越智基金により、昭和63年度から設けられた制度で、毎年度の卒業生で最も学業成績及び人物が優秀な者に対して、各学科1人を表彰する。表彰は、卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

■ 増井光子賞

麻布獣医学園増井光子基金により、平成24年度から設けられた制度で、学部学生及び大学院学生で、専門領域において、各種の受賞など学会等で高く評価され、今後の可能性が期待されると認められる者及び社会活動等で顕著な功績を上げた者を表彰する。表彰式は6月に行われ、賞状と副賞が授与される。(授与者数:若干名)

■ 学生功労賞

本学の学生及び団体が、スポーツ若しくは文化活動において、顕著な業績を上げ、又は社会に対して模範となることを行い、もって本学の名誉を著しく高めた場合に表彰する。表彰式は次年度6月に行われることとなり、賞状と副賞が授与される。(年間表彰予定数:個人5人, 3団体)

■ 日本獣医師会優等卒業生

日本獣医師会より、獣医学教育の振興のため、獣医学科において最も優秀な卒業生1人に対し、優等卒業生の表彰をする。表彰式は卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

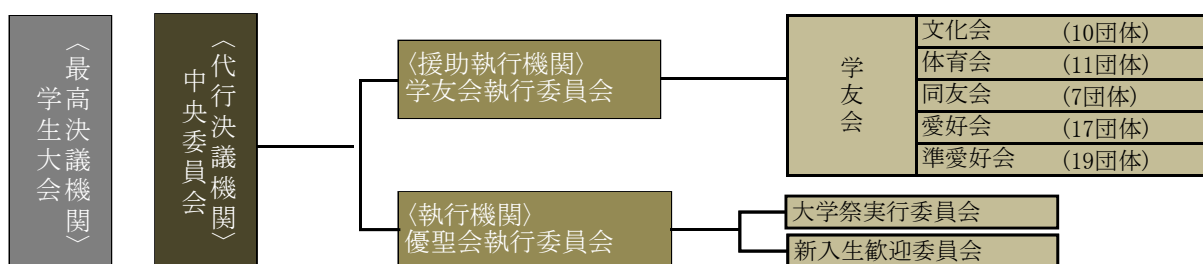
⑪ 学生の課外活動の状況

● 学生団体・生徒会

■ 麻布大学全学学生自治会

麻布大学学部学生全員(獣医学科5, 6年次を除く。)で構成し、全員の民主的精神, 自主的活動により, 大学生活の維持充実を図り, 学生自治の健全化に努め, 学風・環境の刷新に資することを目的に活動している。

主な活動内容としては, 学生大会等で学生から提案された要望などについて, 大学と話し合いを行い, 学生生活がより充実したものになるように努めているほか, 「大学祭」や「新入生歓迎週間」に際し, 学生自治会中央委員会が中心になって実行委員会を組織して取り組んでいる。



■ 獣医学科5・6年生会

全学学生自治会とは独立した固有の自治団体として、獣医学科5・6年次の学生によって、中央委員会、国家試験対策委員会、アルバム委員会等を構成し、獣医師国家試験対策、獣医学科卒業記念アルバム作製等を中心とした活動を行っている。

■ 謝恩会実行委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、毎年3月に実施されるそれぞれの謝恩会の企画・運営を行う。

■ 卒業アルバム委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、卒業アルバムの発行に向けて外部業者と共同作業で作製・編集に関する活動を行う。

⑫ 国際交流

平成25年5月1日現在

● 国際交流協定校

■ 学術交流協定一覧

国名		学術交流協定校・機関	協定締結年	協定形態
1	パラグアイ共和国	アスンシオン大学	昭和61年	大学
2	アメリカ合衆国	ペンシルヴァニア大学	平成2年	獣医学部
3	中華人民共和国(台湾)	国立中興大学	平成9年	大学
4	大韓民国	全北大学校	平成16年	大学
5	中華人民共和国	吉林農業大学	平成17年	大学
6	中華人民共和国	北京農学院	平成18年	大学
7	タイ王国	チェンマイ大学	平成19年	大学
8	モンゴル国	モンゴル大学	平成20年	機関
9		モンゴル科学アカデミー		
10		フスタイ国立公園		
11		モンゴル自然史博物館		

■ 学術交流準協定一覧

国名		学術交流準協定校	協定締結年	協定形態
1	英国 (スコットランド)	エジンバラ大学	平成20年	大学—獣医学部間

● 海外派遣学生数 (平成24年度)

(人)

学部・研究科等		海外派遣学生数
学 部 獣 医	獣医学科	25
	動物応用科学科	4
生 命 科 学 ・ 部 環 境	臨床検査技術学科	0
	食品生命科学科	0
	環境科学科	2
学部計		31
研 究 医 学 科 学	獣医学専攻博士課程	0
	動物応用科学専攻博士前期課程	0
	動物応用科学専攻博士後期課程	0
環 境 研 究 保 健 科 学	環境保健科学専攻博士前期課程	0
	環境保健科学専攻博士後期課程	0
	環境衛生政策専攻修士課程	0
研究科計		0
合計		31

※ 学術交流協定校への派遣のみを対象としている。

⑬ 大学間等の連携

	連携機関	連携内容	協定締結年	備考
1	放送大学	単位互換	平成6年	
2	首都圏西部大学単位互換協定会	単位互換	平成10年	
3	神奈川県教育委員会	部活動支援学生ボランティア事業	平成17年	
4	東京都町田市(町田市学長懇談会)	包括協定	平成18年	
5	公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	地域貢献・生涯学習	平成19年	
6	公益財団法人日本盲導犬協会	包括協定	平成20年	
7	一般財団法人C. W. ニコル・アフエンの森財団	学術交流	平成22年	
8	かながわ産学公連携推進協議会	産学官連携	平成22年	
9	神奈川県(県及び県内農学系4大学)	都市農業振興	平成24年	

⑭ 高大連携協定校

	協定校	連携内容	協定締結年	備考
1	神奈川県立座間高等学校	【大学側】 聴講生徒・研究室体験生徒の受入れ 大学教員による高校への出張講義 【高校側】 教育実習生の受入れ 【双方】 教育についての情報交換及び交流 その他双方が協議した合意事項	平成15年	
2	神奈川県立城山高等学校		平成15年	
3	神奈川県立麻溝台高等学校		平成16年	
4	神奈川県立相原高等学校		平成16年	
5	神奈川県立大和東高等学校		平成22年	
6	神奈川県立川崎工科高等学校		平成22年	
7	神奈川県立相模原高等学校		平成23年	

(3) 研究に関する情報

① 競争的資金等受入状況

● 文部科学省及び厚生労働省 科学研究費補助金 ※

交付元	研究種目	件数(件)		交付金額(千円)		
				直接経費	間接経費	計
文部科学省	新学術領域研究	新規	0	0	0	0
		継続	1	7,500	2,250	9,750
	基盤研究(A) 海外	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(A)	新規	0	0	0	0
		継続	1	7,000	2,100	9,100
	基盤研究(B)	新規	0	0	0	0
		継続	1	3,400	1,020	4,420
	基盤研究(C)	新規	7	10,100	3,030	13,130
		継続	17	14,800	4,440	19,240
	挑戦的萌芽研究	新規	1	700	210	910
		継続	3	3,700	1,110	4,810
	若手研究(A)	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	若手研究(B)	新規	2	3,000	900	3,900
		継続	5	5,429	1,628	7,057
	奨励研究	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	特別研究員奨励費	新規	2	2,000	0	2,000
		継続	2	1,200	0	1,200
小計		新規	12	15,800	4,140	19,940
		継続	30	43,029	12,548	55,577
厚生労働省	健康安全・危機管理 対策総合研究事業	新規	0	0	0	0
		継続	1	2,847	853	3,700
	小計		新規	0	0	0
			継続	1	2,847	853
合計			43	61,676	17,541	79,217

※本学教員等が「研究代表者」となっているもの。

● その他の競争的資金等

交付元/研究種目		件数(件)		受入額(千円)
文部科学省 (独立行政法人科学技術振興機構含む)		獣医学部	4	7,538
厚生労働省	科学物質リスク研究事業	獣医学部	1(分担者)	9,447
	難治性疾患克服研究事業	獣医学部	1(分担者)	
	健康安全・危機管理対策総合研究事業	獣医学部	1(代表者)	
内閣府		獣医学部	1	3,500
		生命・環境科学部	1	
農林水産省		獣医学部	2	3,200
厚生労働省		獣医学部	1	5,000
自治体	平成24年度ふくしま医療福祉機器 開発事業費補助金	獣医学部	1	4,200
財団等	平成24年度日本中央競馬会畜産 振興事業	獣医学部	1	2,200
受入金額合計(千円)				35,085

② 学内競争的資金の状況

学内競争的資金	件数	金額(千円)	
大学院整備重点化経費	獣医学研究科	26	30,900
	環境保健学研究科	7	7,100
特色ある大型研究プロジェクト経費	獣医学部	2	7,000
知財展開研究経費	獣医学部	3	6,000
若手育成研究経費	獣医学部	3	1,500
	附属動物病院	1	500

③ 知的財産データ ※

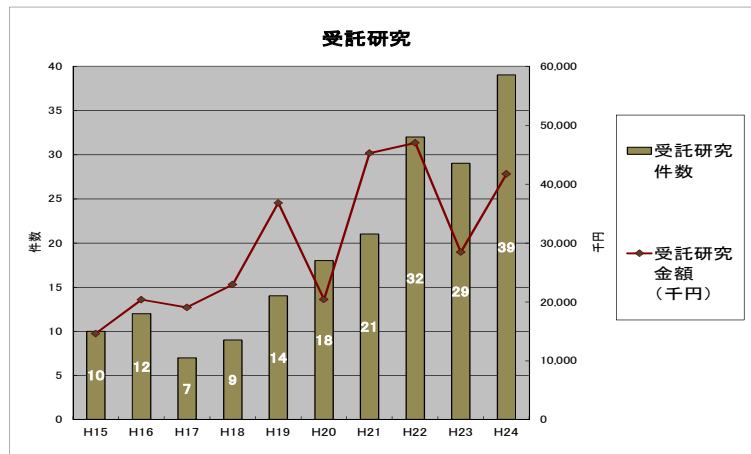
年度 出願・登録	平成24 年度	平成23 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成20 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成17 年度	平成16 年度	平成15 年度	合計
国内特許出願	3	8	3	3	5	4	2	6	0	0	34
海外特許出願	4	3	2	0	2	5	3	0	0	0	19
国内外審査請求	3	4	2	2	3	1	0	1	0	0	16
国内特許登録	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
特許登録	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
商標登録	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4
技術移転(ライセンス, 譲渡等)	4	4	0	2	1	0	0	0	0	0	11

※ 平成15年度～平成24年度の職務発明を対象とする。

④ 受託研究等の受入状況 (平成15年度～平成24年度までの推移)

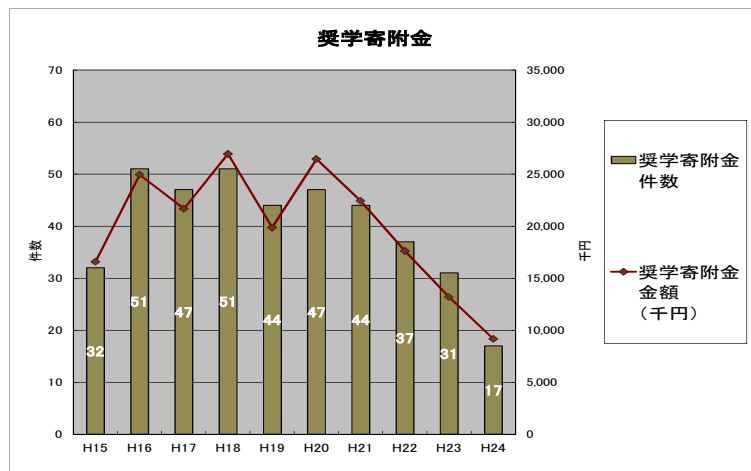
● 受託研究

年度	金額(千円)	件数
15	14,613	10
16	20,362	12
17	19,045	7
18	22,936	9
19	36,799	14
20	20,386	18
21	45,243	21
22	46,989	32
23	28,426	29
24	41,697	39



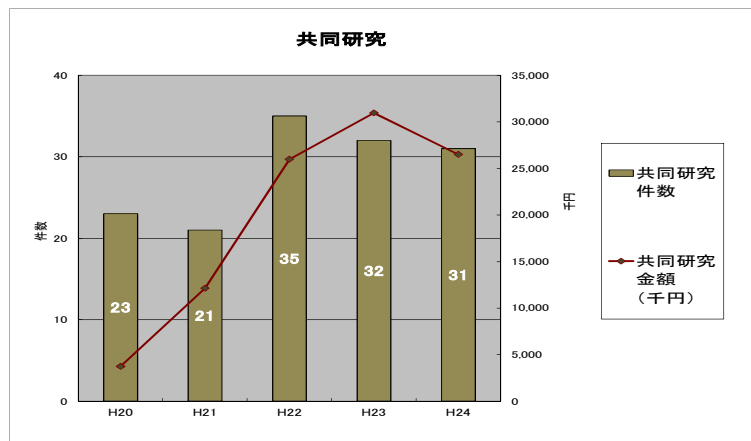
● 奨学寄附金

年度	金額(千円)	件数
15	16,570	32
16	24,938	51
17	21,665	47
18	26,932	51
19	19,864	44
20	26,445	47
21	22,421	44
22	17,612	37
23	13,192	31
24	9,165	17



● 共同研究

年度	金額(千円)	件数
20	3,730	23
21	12,121	21
22	25,979	35
23	30,947	32
24	26,489	31

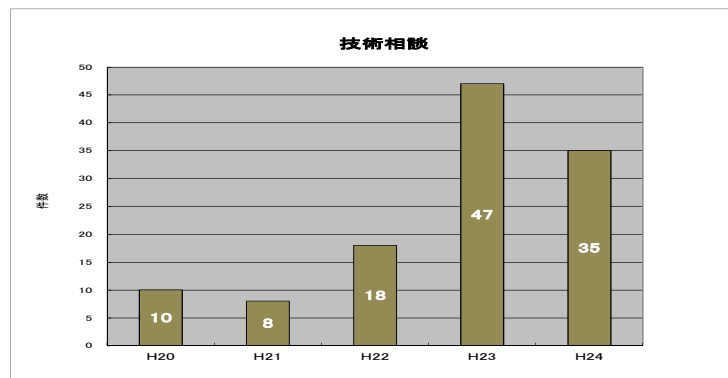


● 寄附講座

年度	金額(千円)	件数
23	20,000	1
24	20,000	1(継続)

● 技術相談

年度	件数
20	10
21	8
22	18
23	47
24	35



※件数及び金額は、契約した年度をもって記載した。

(4) 麻布大学附属渋野辺高等学校に関する情報

① 教育理念

夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会建設に貢献する。

② 教育方針

1. 生徒の個性を伸ばし、確かな学力の向上と未来を切り拓く力の育成 →【学力の向上】
2. 豊かな人間性や望ましい社会性を具え、国際社会に対応できる人材の育成 →【生きる力】
3. 命の大切さを自覚すると共に、人には博愛の心で接し、他人の痛みが分かる人材の育成 →【命の大切さ】

③ 学校教育目標

1. 学力の向上並びに高校生としての学力の保証
2. 学習の場には積極的に参加し、自ら学ぶ意欲を持った人材の育成
3. 秩序・良識・礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材の育成
4. 夢を持ち、未来を拓く強い精神力を健康な身体を持つ人材の育成

④ 教職員数

平成24年5月1日現在

(人)

	校長	教頭	教諭	契約講師	非常勤講師	専任職員	合計
教職員数	1	2	31	2	22	5	63

⑤ コース・クラス別生徒数及び必要単位修得数

平成24年5月1日現在

学年	コース・クラス	組	生徒数(人)	必修科目	選択必修科目	ホームルーム活動	単位数合計
1年	一般コース	-	-				
	進学クラス	A	30	32		1	33
		B	30				
	一般クラス	C	28				
		D	27				
		E	27				
		F	27				
	体育系コース	G	29	27		1	28
生徒数小計(人)			198				
2年	一般・理系コース	-	-				
	麻布大・進学クラス	A	37	28	2	1	31
		B	37				
	理系クラス	C	32	28	4	1	33
	一般・文系コース	-	-				
	進学クラス	D	33	28	2	1	31
		文系クラス	E	26	28	4	1
	F		26				
体育系コース	G	35	25	2	1	28	
生徒数小計(人)			226				
3年	一般・理系コース	-	-				
	麻布大・進学クラス	A	35	28	2	1	31
		B	35				
	理系クラス	C	29	28	2	1	31
		D	28				
	一般・文系コース	-	-				
	進学クラス	E	35	26	4	1	31
		文系クラス	F	27	26	4	1
G	27						
体育系コース	H	27	25	2	1	28	
生徒数小計(人)			243				
生徒数合計(人)			667				

※平成24年度入学者から教育課程を変更。

⑥ 学納金

(単位 円)

年度		初年度	次年度以降
項目			
学納金	入学金	200,000	—
	授業料	396,000	396,000
	教材充実料	24,000	24,000
	施設設備資金	200,000	—
	合計	820,000	420,000

● 授業料の免除・徴収猶予

■ 麻布大学附属瀧野辺高等学校学則

第25条の2 本校は、体育系コースに有為な人材確保と育成に資することを目的として、優秀であると認められた場合は、授業料及び入学金を免除することがある。

■ 麻布大学附属瀧野辺高等学校普通科体育系コース規則

第7条 学則第25条の2により、本コースの奨学生として決定され、本校に入学する者について授業料及び入学金を免除することができる。

⑦ 奨学金

種類	貸与・給付の別	対象・条件	金額
麻布大学附属瀧野辺高等学校普通科体育系コース奨学生	給付 (免除)	普通科体育系コースに入学を希望する者で中学校在学中におけるクラブ活動で一定の成績を修めた者	授業料相当額(3年間) 入学金相当額
高等学校等就学支援金 (国の制度)	給付	高等学校等在学者(全在学者)	月額9,900円(年額118,800円) 加算支給の場合あり
神奈川県	私立高等学校等生徒学 費補助金	神奈川県内の私立の高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の住民税の内、市町村民税所得割額が一定の基準を満たす場合	入学金 99,000円 授業料(年額) 74,400円～182,400円 (市町村民税所得割額等の基準により異なる。)
	私立学校生徒学費緊急 支援補助金	神奈川県内の私立の小・中学校、高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の前年4月1日以降に生じた会社都合による退職、倒産、死亡、離婚等により、家計が急変して当年中の所得金額が一定の所得基準に該当する場合	高等学校等の授業料(年額) 59,400円又は 118,800円(所得により異なる。)
	高等学校奨学金	神奈川県在住で、市内の高等女子校等に在学する者又は保護者が神奈川県在住で、高等学校等に在学する者 収入要件及び成績要件を満たす者	私立 30,000円、40,000円より選択(月額)
東京都私学財団 公益財団法人	私立高等学校等授業料 軽減助成	生徒・保護者が共に東京都域外に在住であり、東京都域外にある私立の高等学校等に在学する者で、所得等が一定の基準を満たす場合	授業料(年額) 99,400円～179,400円 (所得等の基準により異なる。)
	東京育英資金	生徒・保護者が共に東京都域外に在住であり、高等学校等に在学する者で、経済的理由により修学が困難であること等	私立高等学校 35,000円(月額)

● 奨学金貸与・給付者数

(人)

平成25年3月31日現在

区分	1年次	2年次	3年次	小計	合計
麻布大学附属瀧野辺高等学校普通科体育系コース奨学生	3	3	3	—	9
神奈川県					228
私立高等学校等生徒学費補助金	56	63	93	212	
私立学校生徒学費緊急支援補助金	0	0	0	0	
高等学校奨学金	4	2	10	16	
公益財団法人東京都私学財団					47
私立高等学校等授業料軽減助成	8	20	15	43	
東京育英資金	0	0	4	4	
合計	71	88	125	—	284

⑧ 生徒表彰

■ 成績優等賞

各学年で教科・科目の成績が優秀な者で、出席は常にして品行方正で他の模範たるものを表彰する。
特典として、2・3学年の生徒は、授業料が免除される。(学年で各3人)
また、卒業時には、越智賞(1人)及び竹岸・越智賞(6人程度)を授与することがある。

■ 1か年精勤賞

欠席1日以内の者で、欠課時数が7時間以内の者を表彰する。

■ 3か年精勤賞

各学年間で精皆勤の者を表彰する。

■ 皆勤賞(1か年・3か年)

各学年間欠席・遅刻・早退・欠課が皆無の者を、1・2学年にあつては学年末に、3学年は卒業式に表彰する。
なお、3か年皆勤者には、特典として卒業時に記念品が授与される。

■ 特別功労賞

次の(1)～(5)の功績等を挙げ、学校の名譽を著しく高めた生徒を卒業時に表彰する。なお、1・2年生においても、特別の場合は表彰することがある。

- (1) 体育クラブ: 関東大会・全国大会・国体・国際試合等の代表となった個人及びチーム
- (2) 文化クラブ: 研究・作品発表等で優秀であり、県大会以上で受賞した者
- (3) 読書感想文等のコンクールで優秀であり、本校の名譽を著しく高めた者
- (4) 人命救助等で善行賞に相当する榮譽又は評価を受けた者
- (5) (1)～(4)以外のもので、選考委員会において選出された者

⑨ 平成24年度卒業生数及び進路状況

平成25年5月1日現在

	卒業生数	就職	進学					その他(浪人等)
			麻布大学	他大学	短期大学	専門学校・各種学校	その他(留学等)	
一般コース	216	3	27	121	16	31	0	18
体育系コース	27	0	0	18	0	6	0	3
合計	243	3	27	139	16	37	0	21

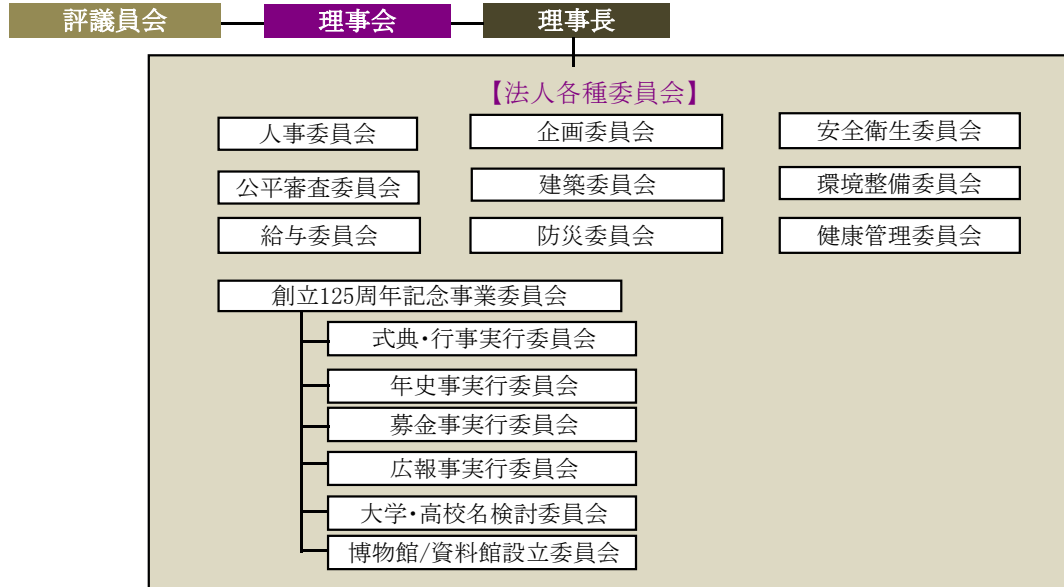
⑩ 平成25年度入学者選抜結果

平成25年5月1日現在

課程等	区分	募集人員	平成25年度											平成24年度	平成23年度		
			志願者			受験者			合格者			入学者		志願者	志願者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
全	推薦入試	129	59	54	113	59	54	113	59	54	113	59	54	113	74	89	
日 制 普 通 科	一般入試	単願	38	50	88	38	50	88	38	50	88	38	50	88	65	56	
		併願	129	218	336	554	218	335	553	218	335	553	20	30	50	280	305
		一般	8	9	17	8	9	17	8	9	17	3	5	8	18	30	
	二次試験	若干名	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	0	2	7	8	
	一般・二次計		266	397	663	266	396	662	266	396	662	63	85	148	370	399	
	合計	258	325	451	776	325	450	775	325	450	775	122	139	261	444	488	

3. 管理運営の概要

(1) 学園運営に係る会議等



(2) 会議等の開催状況

① 理事会

月 日	会議等	議 事 内 容
4月24日	第1回 理事会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の人事異動について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申について 3) 平成23年度麻布大学・大学院及び附属淵野辺高等学校の卒業生数及び修了者数について 4) 平成24年度麻布大学・大学院及び附属淵野辺高等学校の入学者数について 5) 第58回臨床検査技師国家試験結果について 6) 中央教育審議会大学分科会大学教育部会「審議のまとめ」の公表について 7) 平成24年度法人各種委員会委員について 8) 会計検査院の実地検査結果について 9) 平成21年度から3か年計画で実施した事務改革を振り返って（総括） 10) 大学評議会報告について 11) 高等学校報告について <p>II その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) その他 <ul style="list-style-type: none"> ①本学園東側のマンション建設計画について
5月29日	第2回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学大学院学則の一部改正(案)について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申について（継続） 3) 平成23年度事業の実績及び決算について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度評議員選挙に係る懸念事項について 2) 競争的資金等（公的機関）の獲得状況について 3) 中期目標・中期計画（平成21年度～平成26年度）の中間評価について 4) 大学評議会報告について 5) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) その他 <ul style="list-style-type: none"> ①茨城県桜川市の学園所有地の処分について

月 日	会議等	議 事 内 容
6月12日	第1回 臨時理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 退任役員の表彰について 2) 理事の事務執行について 3) 理事長の代理・代行について 4) 法人各種委員会委員の選出について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 前期理事からの申し送り事項について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 有限責任監査法人トーマツからの監査覚書説明会の開催について 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①平成24年度役員研修会の開催について ②理事情報交換について
6月26日	第3回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学学則の一部改正（案）について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申の取進めについて <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員（大学教員）の長期出張の期間延長について 2) 職員の処分について 3) 事務職員の人事について 4) 「(仮称)淵野辺一丁目計画」開発事業に関する意見書について 5) 平成24年度大学間連携共同教育推進事業について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について 8) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①教員の人事について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 創立125周年記念事業の進め方について 2) 今後の学園施設・整備計画の進め方について 3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①理事懇談会等について ②教員の退職に伴う補充について ③役員懇談会の開催について
7月20日	第4回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務職員の人事について 2) 第1・四半期の資金収支報告について 3) 第1・四半期の資金残高及び資産運用報告について 4) 第1・四半期の麻布大学附属動物病院の運営状況報告について 5) 夏期の節電対策について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①麻布大学生生活協同組合との懇談会について ②役員懇談会の開催について

II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
9月25日	第5回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 「非常勤職員の手当に係る取扱いについて」の一部改正(案)について 3) 平成24年度給与の取扱い(案)について 4) 新キャンパス・マスタープランⅡ期工事の実施(案)について 5) 新キャンパス・マスタープランⅡ期工事の実施に係る工事監理業務委託業者の選定(案)について 6) 創立125周年記念事業の取進め(案)について 7) 平成24年度麻布大学東日本大震災による被災の「特別措置」(案)について 8) 平成25年度予算編成大綱(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 附属渋野辺高等学校教員の採用について 2) 職員(大学教員)の長期出張について 3) 職員の処分について 4) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申の取扱いについて 5) (仮称)高等学校運営会議の設置(案)について 6) 労働契約法の一部を改正する法律の施行について 7) 「3号館及びび体育館解体工事並びに体育館跡地駐車場整備工事」の完了について 8) 中央教育審議会「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)」について 9) 中央教育審議会「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について(答申)」について 10) 平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」の選定結果について 11) 大学評議会報告について 12) 高等学校報告について 13) 麻布獣医学園職員会からの要求書に対する回答について
10月30日	第6回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申の取扱いについて 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」に係る工事監理業務委託業者の選定について(案) 4) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の発注方法及び設計・見積参加業者の選定方法等について(案) 5) 7号館外壁修繕・塗装工事(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の人事について 2) 第2・四半期の財務状況等報告について <ol style="list-style-type: none"> (1) 資金収支報告 (2) 資金残高及び資産運用報告 (3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告 3) 創立125周年記念事業委員会報告について 4) 平成24年度麻布大学東日本大震災被災特別措置の申請状況について 5) 大学評議会報告について 6) 高等学校報告について 7) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 寄附金に係る税額控除対象法人となるための取組について
10月30日	第7回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申の取扱いについて 2) 新キャンパス・マスタープランⅡ期工事の実施について

月 日	会議等	議 事 内 容
11月27日	第8回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 麻布大学附属澗野辺高等学校学則の一部改正(案)について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」に係る審査委員会の設置(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 7号館外壁修繕・塗装工事の入札結果について 2) 文部科学省「平成24年度学校法人監事研修会」の出席報告について 3) (仮称)高等学校運営会議報告について 4) 大学評議会報告について 5) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年1月の理事会開催日程について
12月25日	第9回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 依願退職者の取扱いについて <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度麻布大学推薦等入学試験・編入学試験結果について 2) 「麻布獣医学園の今後の在り方」に係る大学教員との懇談会の開催結果について 3) 税額控除対象法人となるための寄附状況について 4) (仮称)高等学校運営会議報告について 5) 大学評議会報告について 6) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 附属澗野辺高等学校における次期校長について
1月29日	第10回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度予算要望(人員)(案)について 2) 教員の人事(案)について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」に係る設計・施工業者の選定について 4) 動物病院診療料金の一部改正(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務職員の人事について 2) 第3・四半期の財務状況報告について <ol style="list-style-type: none"> (1) 資金収支報告 (2) 資金残高及び資産運用報告 (3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」に係る設計・施工業者の審査結果について 4) 平成25年度麻布大学一般入学試験等の志願者状況について 5) 税額控除対象法人となるための寄附状況について 6) (仮称)高等学校運営会議報告について 7) 大学評議会報告について 8) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度予算概要について

II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
2月26日	第11回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 平成25年度事業計画(案)について 3) 平成25年度予算(案)について 4) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」に係る基本計画及び工事請負金額(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度麻布大学入学試験結果について 2) 平成25年度麻布大学附属淵野辺高等学校入学試験結果について 3) 創立125周年記念事業委員会報告について 4) 税額控除対象法人となるための寄附状況について 5) 大学評議会報告について 6) 高等学校報告について 7) 麻布獣医学園職員会からの福利厚生に関わる要求書に対する回答について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度理事会・評議員会開催予定(案)について 2) 麻布大学及び麻布大学附属淵野辺高等学校の卒業式について
2月26日	第12回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度事業計画(案)について 2) 平成25年度予算(案)について
3月19日	第13回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学家畜伝染病発生予防規程の制定(案)について 2) 就業規則第40条における永年勤続被表彰者の決定について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 契約講師の採用について 2) 事務職員の人事について 3) 創立125周年記念事業 実行委員会及び検討委員会報告について 4) 平成25年度麻布大学一般入学試験等結果について 5) 平成25年度麻布大学附属淵野辺高等学校入学試験結果について 6) 第64回獣医師国家試験結果について 7) 7号館外壁修繕・塗装工事の完了報告について 8) 大学評議会報告について 9) 高等学校報告について 10) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①懲戒処分の変更について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度 麻布獣医学園・麻布大学・麻布大学附属淵野辺高等学校の行事予定について 2) 有価証券購入に当たっての基本的考え方

② 役員懇談会

月 日	行 事	議 事 内 容
8月30日	第1回 役員懇談会	<ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく改革の進め方について 2) 創立125周年記念事業の取進めについて 3) 新キャンパスマスタープラン第Ⅱ期工事について 4) 平成24年度 麻布大学東日本大震災被災特別措置について 5) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①麻布大学生協の概要について

II 事業の概要

③ 評議員会

月 日	行 事	議 事 内 容
5月29日	第1回 評議員会	<p>I 報告事項</p> <p>1) 中期目標・中期計画（平成21年度～平成26年度）の中間評価について</p> <p>2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申について</p> <p>II 審議事項</p> <p>1) 平成23年度事業の実績及び決算について</p> <p>(1) 事業報告書</p> <p>(2) 資金収支計算書及び消費収支計算書</p> <p>(3) 貸借対照表</p> <p>(4) 財産目録</p> <p>(5) 監事監査報告書</p>
10月30日	第1回 臨時評議員会	<p>I 報告事項</p> <p>1) 創立125周年記念事業の取進めについて</p> <p>II 協議事項</p> <p>1) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申の取扱いについて</p> <p>2) 新キャンパス・マスタープランⅡ期工事の実施について</p> <p>III その他</p> <p>1) 寄附金に係る税額控除対象法人となるための取組について</p> <p>2) その他</p>
2月26日	第2回 評議員会	<p>I 報告事項</p> <p>1) 平成25年度麻布大学入学試験結果について</p> <p>2) 平成25年度麻布大学附属渕野辺高等学校入学試験結果について</p> <p>3) 新キャンパス・マスタープランⅡ期工事の進捗状況について</p> <p>4) 創立125周年記念事業委員会報告について</p> <p>5) 税額控除対象法人となるための寄附状況について</p> <p>6) 「麻布獣医学園の今後の在り方」に係る大学教員との懇談会の開催結果について</p> <p>II 協議事項</p> <p>1) 平成25年度事業計画（案）について</p> <p>2) 平成25年度予算（案）について</p> <p>III その他</p> <p>1) 平成25年度評議員会開催予定（案）について</p> <p>2) 麻布大学及び麻布大学附属渕野辺高等学校の卒業式について</p> <p>3) その他</p>

④ 改選に係る会議

月 日	行 事	議 事 内 容
5月28日	第1回 新評議員による会議	1. 寄附行為第18条第3号（学識経験者）評議員（4～6人）の選任について
6月1日	第1回 新評議員会	<p>1. 理事（寄附行為第18条第1号評議員から4人）の選任について</p> <p>2. 理事（寄附行為第18条第2号評議員から4人）の選任について</p> <p>3. 評議員会議長及び副議長の選任について</p> <p>4. 監事（2人）の選任（同意）について</p>
6月1日	第1回 新理事による会議	1. 学識経験者理事の選任について
6月1日	第1回 新理事会	<p>I 審議事項</p> <p>1) 理事長の選任について</p> <p>2) 監事候補者（2人）の選任について</p> <p>3) 理事会の開催日程について</p> <p>II その他</p> <p>1) 事務処理における決裁について</p>

⑤ 評議員選挙管理委員会

月日	行事	議事内容
4月25日	第1回(通算第7回)評議員選挙管理委員会	1. 2号評議員選挙の開票に当たっての確認事項 2. 2号評議員選挙の開票及び開票結果の確認について 3. 本学園の高校卒業生から選任する評議員について 4. 当選者公示(案)について 5. 当選通知(案)について 6. 今回の選挙における懸案事項について 7. その他

⑥ 創立125周年記念事業委員会

月日	行事	議事内容
10月17日	第1回創立125周年記念事業委員会	1. 創立125周年記念事業の検討について ①記念式典・祝賀会の開催日程及び場所について ②周年事業について 2. その他
1月29日	第2回創立125周年記念事業委員会	1. 創立125周年記念事業の趣意(案)について 2. 創立125周年記念事業(案)及び周年事業実施体制(案)について 3. その他

⑦ 年史実行委員会

月日	行事	議事内容
3月14日	第1回年史実行委員会	1. 創立125周年史について 2. 創立125周年DVDについて 3. 基礎資料の収集について 4. 次回委員会の開催について

⑧ 広報実行委員会

月日	行事	議事内容
3月15日	第1回広報実行委員会	1. 創立125周年記念に係る広報について 2. 次回委員会の開催について

⑨ 大学・高校名検討委員会

月日	行事	議事内容
3月19日	第1回大学・高校名検討委員会	1. 大学及び高校の名称について 2. 次回委員会の開催について

⑩ 博物館/資料館設立委員会

月日	行事	議事内容
3月7日	第1回博物館/資料館設立委員会	1. スケジュールについて 2. 施設の設置場所について 3. 展示日程 4. 博物館及び資料館について 5. その他 ①委員の追加について

⑪ 給与委員会

月日	行事	議事内容
9月25日	第1回給与委員会	1. 正・副委員長の選出について 2. 平成24年10月1日付け採用者の格付について 3. 平成24年10月1日及び平成25年4月1日付け昇格に伴う格付について 4. 平成24年10月1日付け採用特任教員の給与について
12月25日	第2回給与委員会	1. 平成25年1月1日付け採用の特任教員の給与について
2月19日	第3回給与委員会	1. 平成25年4月1日付け採用者の格付について 2. 平成25年4月1日付け昇格に伴う格付について 3. 特任教員の取扱いについて
3月19日	第4回給与委員会	1. 平成25年4月1日付け昇格に伴う格付について 2. 給与委員会への諮問事項の省略について

II 事業の概要

⑫ 環境整備委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
6月27日	第1回 環境整備委員会	1. 環境整備委員会委員長の選出について 2. 平成24年度 夏期の節電対策について 3. 今後の駐車場の在り方及び構内環境について 4. エネルギー管理標準の改定について 5. 麻布総合グラウンドの人工芝化について 6. その他

⑬ 安全衛生委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
4月18日	第1回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成24年3月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
5月21日	第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 職員の就業時間中における負傷について 2. 平成24年4月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
6月19日	第3回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 安全衛生委員会委員の構成について 2. 平成24年5月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
7月27日	第4回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成24年6月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
8月22日	第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成24年7月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
9月18日	第6回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 秋の全国交通安全運動について 2. 平成24年8月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
10月26日	第7回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成24年9月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
11月26日	第8回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成24年10月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
12月14日	第9回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成24年11月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
1月28日	第10回 安全衛生委員会	1. 衛生管理者の後任について 2. 職員の就業時間中における負傷について 3. 平成25年度安全衛生委員会開催日程及び職場巡視日程(案)について 4. 平成25年度安全衛生管理活動計画表(案)について 5. 学内巡視の状況について 6. その他
2月22日	第11回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 労働災害について 2. 平成25年1月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
3月22日	第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成25年2月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他

⑭ 健康管理委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
10月19日	第1回 健康管理委員会 (持ち回り)	1. 平成25年度事業計画について 2. 平成25年度予算について

II 事業の概要

(3) 平成24年度 行事報告

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 澗野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
4 月	18日 第1回 安全衛生委員会 (持ち回り)	2日 入学者オリエンテーション (～9日)	6日 教授会	2日 学部教務委員会 (持ち回り)	3日 在学者ガイダンス	5日 始業式
	24日 第1回理事会	3日 在学者、編入学者 ガイダンス	11日 情報システム 基礎講習会	9日 教授会	3日 入学者オリエン テーション	5日 職員会議
	25日 第1回(通算第7回) 評議員選挙管理委員会	3日 フレッシュヤーズセミナー オリエンテーション ワークグループ (～4日)	23日 学部教務委員会	10日 情報システム 基礎講習会	5日 情報システム 基礎講習会	6日 入学式
		3日 教職課程委員会 (持ち回り)		23日 学部教務委員会 (持ち回り)	11日 環境保健学 研究科委員会	9日 オリエンテーション①
		5日 入学式			23日 獣医学研究 科委員会	9日 在校生授業開始
		6日 授業開始 (在学者)				10日 オリエンテーション②
		6日 生涯学習委員会 (持ち回り)				10日 部長会議
		6日 国際交流委員会 (持ち回り)				12日 入学者授業開始
		9日 生物研運営委員会				14日 後援会役員会
		10日 授業開始 (入学者)				17日 部長会議
		11日 生物研運営委員会 (持ち回り)				19日 学年会議
		11日 研究推進・支援 本部会				23日 カリキュラム委員会
		13日 生物研運営委員会 (持ち回り)				26日 運営委員会
		19日 起業家セミナー				
		20日 評議会				
		23日 キャリア・就職対策 支援委員会				
		24日 学生委員会				
		26日 教職課程委員会				
		26日 動物病院運営 会議(持ち回り)				
	27日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)					
	27日 学芸員課程委員会					
5 月	18日 平成23年度決算に 係る学内監査	7日 合同地方自治体等 (公務員)説明会 (就職)	7日 教授会	14日 教授会	9日 環境保健学 研究科委員会	1日 部長会議
	21日 第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	9日 就職活動対策 講座(～6/13 毎週水曜日)	30日 学部教務委員会		28日 獣医学研究 科委員会	2日 球技大会
	28日 第1回 新評議員による会議	11日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				8日 部長会議
	29日 第2回理事会	12日 父母会理事会				10日 臨時評議員会議
	29日 第1回評議員会	13日 卒業生子女対象 大学説明会				10日 部会議
		14日 学術情報委員会				12日 後援会総会
		14日 生物研運営委員会				15日 部長会議
		15日 教務委員会				17日 運営委員会
					21日 カリキュラム委員会	
					22日 部長会議	

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 澁野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
5月		15日 大学院奨学金 選考委員会 16日 国際交流委員会 17日 情報システム委員会 18日 公務員試験対策 講座(～6/22 毎週金曜日) (就職) 23日 評議会 23日 教育推進センター 運営委員会 23日 研究推進・支援 本部会 24日 起業家セミナー 28日 キャリア・就職対策 支援委員会				22日 中間試験 (～25日) 24日 職員会議 26日 麻布見学会 29日 部長会議
6月	1日 第1回新評議会 1日 第1回 新理事による会議 1日 第1回新理事会 12日 第1回臨時理事会 19日 第3回 安全衛生委員会 (持ち回り) 26日 第3回理事会 27日 第1回 環境整備委員会	1日 合同NOSAI説明会 (就職) 4日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り) 5日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 6日 動物病院運営 会議(持ち回り) 8日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 10日 オープンセミナー 11日 生物研運営委員会 13日 職務発明審査委員会 13日 教務委員会 16日 父母会定期 総会・代議員会 18日 データベースセミナー 18日 合同企業説明会 (就職) 20日 SPI対策講座 (～7/18 毎週水曜日) (就職) 20日 増井光子賞及び 学業成績優秀者 表彰式 20日 評議会 20日 研究推進・支援 本部会 21日 起業家セミナー 25日 動物病院運営 会議 25日 キャリア・就職支援 対策委員会 27日 教務委員会 29日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	4日 教授会 25日 学部教務委員会	6日 学部教務委員会 11日 教授会 29日 学部教務委員会	6日 環境保健学 研究科委員会 6日 修士論文中間 報告会(環境 保健学研究科) 12日 環境保健学 研究会委員会 (持ち回り) 25日 獣医学研究 委員会	2日 後援会役員会 5日 部長会議 7日 学年会議 8日 麻布ガイダンス 12日 部長会議 14日 一般コース 修学旅行 (～19日) 14日 運営委員会 15日 社会見学 テーブルマナー 18日 3年生進路 ガイダンス 18日 カリキュラム委員会 19日 部長会議 21日 部会議 26日 部長会議 28日 職員会議 29日 学校評議会 29日 学校評価委員会

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 澁野辺高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院		
7 月	19日 役員研修会(～20日)	2日 合同動物病院 説明会(就職)	2日 教授会	9日 教授会	11日 環境保健学 研究科委員会	3日 部長会議	
	20日 第4回理事会	4日 教職員健康診断	23日 学部教務委員会	20日 学部教務委員会	23日 獣医学研究 科委員会	5日 学年会議	
	26日 第4回 安全衛生委員会 (持ち回り)	4日 起業家セミナー	4日 起業家セミナー			27日 中間論文発表 会(獣医学研 究科)(～30日)	5日 期末試験 (～11日)
		5日 データベースセミナー	5日 データベースセミナー				7日 後援会役員会
		8日 オープンセミナー	8日 オープンセミナー				10日 部長会議
		9日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	9日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				10日 市内四校情報 交換会
		9日 麻布大学奨学生 選考委員会	9日 麻布大学奨学生 選考委員会				12日 運営委員会
		9日 生物研運営委員会	9日 生物研運営委員会				17日 部長会議
		12日 データベースセミナー	12日 データベースセミナー				17日 カリキュラム委員会
		18日 評議会	18日 評議会				19日 部会議
		18日 研究推進・支援 本部会	18日 研究推進・支援 本部会				20日 職員会議
		19日 学術情報委員会	19日 学術情報委員会				21日 夏期休業 (～8月31日)
		20日 研究推進・支援本部セミナー	20日 研究推進・支援本部セミナー				
		23日 キャリア・就職支援 対策委員会	23日 キャリア・就職支援 対策委員会				
		23日 動物病院運営 会議	23日 動物病院運営 会議				
		24日 教務委員会	24日 教務委員会				
		25日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り)	25日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り)				
		25日 自己点検・評価 委員会	25日 自己点検・評価 委員会				
		26日 学生委員会	26日 学生委員会				
		30日 前期定期試験 (～8/3)	30日 前期定期試験 (～8/3)				
30日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	30日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)						
8 月	22日 第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1日 市民大学 (～9/5、毎週水曜全5回)	6日 教授会	7日 教授会	9日 環境保健学 研究科入学 試験	4日 後援会役員会	
	30日 第1回役員懇談会	2日 市民大学 (～9/6、毎週水曜全5回)			10日 環境保健学 研究科委員会	9日 公私合同説明会	
		4日 オープンキャンパス (～5日)			22日 環境保健学 研究科委員会 (持ち回り)	25日 学校説明会	
		6日 教育推進センター 運営委員会					
		8日 教育推進センター 運営委員会 (持ち回り)					
		8日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)					
		9日 夏期休業 (～9/13)					
		18日 父母会名古屋会 場地区懇談会					
		23日 国際交流委員会 (持ち回り)					
	26日 父母会仙台会場 地区懇談会						

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 刈野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
8月		27日 動物病院運営 会議 27日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				
9月	18日 第6回 安全衛生委員会 (持ち回り) 25日 第5回理事会 25日 第1回給与委員会 29日 第2回 創立125周年記念事業 準備委員会	2日 父母会さいたま 会場地区懇談会 3日 研究推進・支援 本部会 5日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 8日 父母会広島会場 地区懇談会 9日 プレ入試 14日 前期追再試験 (～21日) 19日 評議会 19日 教育推進センター 運営委員会 20日 研究推進・支援 本部取扱補助金 パネル報告会 21日 生物研運営委員会 (持ち回り) 21日 職務発明審査委員会 24日 キャリア・就職支援 対策委員会 24日 学術情報委員会 24日 動物病院運営 会議 24日 後期授業開始 26日 就職活動実戦 講座(～11/28 毎週水曜日) (就職) 27日 教務委員会 28日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り) 28日 業界セミナー:製薬 業界編 (就職)	4日 学部教務委員会 (持ち回り) 8日 AO入試(2次) 17日 AO入試 (2次面接) (～9/22) 24日 学部教務委員会	21日 学部教務委員会	4日 獣医学研究 科獣医学専 攻入学試験 4日 獣医学研究 科動物応用 科学専攻入 学試験(～5日) 7日 獣医学研究 科委員会 12日 臨時環境保健学 研究科委員会	3日 授業開始 3日 キャンプ実習 (～5日) 4日 部長会議 4日 運営委員会 6日 職員会議 8日 文化祭 (～9日) 9日 部長会議 14日 体育祭 18日 部長会議 18日 カリキュラム委員会 20日 部会議 23日 体育系コース 修学旅行 (～27日) 25日 部長会議 28日 前期終了式
10月	17日 第1回 創立125周年記念 事業委員会 19日 第1回健康管理委員会 (持ち回り) 26日 第7回 安全衛生委員会 (持ち回り) 30日 第6回理事会 30日 第7回理事会 30日 第1回臨時評議員会	3日 国際交流委員会 (持ち回り) 5日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 5日 業界セミナー:食肉 業界編(就職) 6日 グループ・ディスカッション 対策実習(就職) 7日 オープンセミナー 11日 消防訓練 13日 父母会関東甲信 越地区個人面談	1日 教授会 11日 学部学生指導委員会 12日 刈高特別入試 18日 臨時教授会 29日 学部教務委員会	9日 教授会 12日 刈高特別入試 16日 臨時教授会	10日 環境保健学 研究科委員会 22日 獣医学研究 科委員会	1日 後期始業式 2日 部長会議 3日 塾説明会 4日 運営委員会 7日 後援会役員会 9日 部長会議 11日 学年会議 12日 麻布大特別入試 15日 カリキュラム委員会 16日 部長会議

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 澁野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
10月		15日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 15日 学芸員課程委員会 (持ち回り) 16日 国際交流委員会 17日 教職課程委員会 (持ち回り) 17日 評議会 17日 研究推進・支援 本部会 19日 業界セミナー:検査 業界編(就職) 19日 教育推進センター 運営委員会 (持ち回り) 20日 麻布環境科学 研究会 22日 学術情報委員会 22日 情報システム委員会 22日 動物病院運営 会議 22日 キャリア・就職支援 対策委員会 23日 学術情報センター 運営委員会 23日 学生委員会 24日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 25日 麻布大学父母会 25日 奨学生選考委員会 25日 動物慰霊祭 26日 大学祭(～28日) 26日 国際交流委員会 (持ち回り) 27日 ホームカミングデー				16日 中間試験A (～19日) 18日 職員会議 20日 学校説明会 22日 芸術鑑賞 23日 部長会議 25日 部会議
11月	1日 第3回 創立125周年記念事業 準備委員会 12日 予算ヒアリング (～12/6) 26日 第8回 安全衛生委員会 (持ち回り) 27日 第8回理事会	4日 オープンセミナー 5日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 5日 第1回生物研ワークショップ 9日 業界セミナー:乳業界 酪農飼料業界編 (就職) 10日 麻布獣医学会 12日 動物病院運営 会議(持ち回り) 12日 学生リクルート ファッションセミナー (就職) 12日 生物研運営委員会 14日 学生委員会 (持ち回り)	3日 獣医学科編入学 試験(1次選抜) 5日 教授会 17日 獣医学部 推薦・特別 入学試験 23日 獣医学部 編入学試験 26日 学部教務委員会 28日 臨時教授会	1日 学部教務委員会 10日 指定校特別 推薦入学試験 10日 環境特別 入学試験 12日 教授会 17日 生命・環境科学部 推薦・特別入学 試験, 編入学 試験 21日 臨時教授会 30日 学部教務委員会	7日 環境保健学 研究科委員会 26日 獣医学研究 科委員会 1日 運営委員会 6日 部長会議 7日 第1回(仮称)高等 学校運営会議 8日 学年会議 10日 3年生模試 13日 部長会議 15日 部会議 20日 部長会議 22日 職員会議 23日 学校説明会 27日 部長会議 29日 運営委員会	

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 澁野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
11月		16日 就職サポ活用 セミナー(就職) 19日 女子学生リルート メイクセミナー (就職) 20日 起業家セミナー 21日 評議会 21日 学芸員課程委員会 (持ち回り) 21日 研究推進・支援 本部会 25日 模擬面接対策 実習(就職) 26日 動物病院運営 会議 26日 キャリア・就職支援 対策委員会 28日 教務委員会				
12月	14日 第9回 安全衛生委員会 (持ち回り) 25日 第9回理事会 25日 第2回給与委員会	3日 合同企業説明会 (～5日)(就職) 3日 第2回生物研ワークショップ 8日 父母会理事会 10日 生物研運営委員会 12日 就活実戦講座 総括(就職) 12日 フレッシュヤーズセミナー 責任者会議 12日 起業家セミナー 14日 生命・環境科学部 FD講演会 17日 大学院奨学金 返還免除選考 委員会 17日 研究推進・支援 本部会 17日 動物病院運営 会議 18日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 18日 教育推進センター FD研修会 19日 評議会 20日 教職課程委員会 (持ち回り) 22日 冬期休業 (～1/9)	3日 教授会	10日 教授会 20日 臨時教授会	5日 環境保健学 研究科委員会 17日 獣医学研究 科委員会	3日 中間試験B (～7日) 4日 部長会議 4日 市内四校情報 交換会 6日 学年会議 7日 火災訓練 11日 部長会議 13日 部会議 17日 第1回 内選会議 18日 部長会議 19日 第2回(仮称)高等 学校運営会議 20日 職員会議 20日 特別講演会 21日 第2回 内選会議 25日 部長会議 25日 第3回 内選会議 26日 冬季休業 (～1/7)
1月	24日 「麻布大学(仮称) 新5号館・新食堂等 建築工事」に係る設計・ 施工提案説明会 28日 第10回 安全衛生委員会 29日 第10回理事会	10日 授業開始 10日 生涯学習委員会 11日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 15日 生物研運営委員会	8日 教授会 28日 学部教務委員会	15日 教授会 23日 シラバス作成委員会	16日 環境保健学 研究科委員会 25日 臨時環境保健学 研究科委員会 28日 獣医学研究 科委員会	8日 授業開始 8日 部長会議 8日 運営委員会 8日 職員会議 10日 学年会議

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 澁野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
1月	29日 第2回 創立125周年記念 事業委員会	17日 生涯学習委員会 (持ち回り) 17日 職務発明審査 19日 大学入試センター 試験(～20日) 21日 研究推進・支援 本部会 22日 学生委員会 23日 評議会 25日 国際交流委員会 (持ち回り) 28日 キャリア・就職支援 対策委員会 28日 動物病院運営 会議 30日 獣医学研究科 FD講演会				12日 後援会役員会 15日 部長会議 17日 職員会議 22日 推薦入学試験 24日 卒業認定会議 28日 学校評議員会 29日 部長会議 31日 部会議
2月	19日 第3回給与委員会 22日 第11回 安全衛生委員会 (持ち回り) 26日 第11回理事会 26日 第12回理事会 26日 第2回評議員会	8日 後期定期試験 (～15日) 12日 生物研運営委員会 15・ 模擬選考実習 17日 (就職) 18日 動物病院運営 会議 18日 職務発明審査委員会 18日 公務員がイグンス (就職) 19日 学術情報委員会 (持ち回り) 20日 教職課程委員会 (持ち回り) 20日 評議会 20日 研究推進・支援 本部会 25日 後期追再試験 (～3/1) 25日 キャリア・就職支援 対策委員会 25日 麻布大学奨学生 選考委員会 26日 生涯学習委員会 27日 フレッシュヤーズセミナー 責任者会議 28日 学生委員会	3日 獣医学科 一般入学試験 4日 動物応用科 学科一般入学 試験 8日 教授会 13日 臨時教授会 22日 動物応用科学科 センター試験利 用入試(Ⅱ期)	5日 生命・環境科学部 一般入学試験 (A日程) 6日 生命・環境科学部 一般入学試験 (B日程) 7日 生命・環境科学部 一般入学試験 (C日程) 12日 教授会 14日 臨時教授会	13日 環境保健学 研究科委員会 14日 課程論文発表 会(獣医学研究 科)(～15日) 15日 臨時環境 保健学研究 科委員会 15日 課程論文審査 会(環境保健学 研究科) 25日 獣医学研究 科委員会 27日 環境保健学 研究科入学 試験 27日 臨時環境保健学 研究科委員会	5日 部長会議 7日 運営委員会 10日 一般入学試験 11日 入試判定会議 12日 一般入学試験 合格発表 12日 部長会議 12日 体育系コース スキー実習 (～15日) 14日 学年会議 16日 後援会役員会 19日 部長会議 21日 職員会議 26日 部長会議 28日 部会議

3月	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 刈野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
7日	第1回 博物館/資料館 設立委員会	4日 公務員対策集中 講座(～12日) (就職)	4日 教授会	2日 食品生命科 学科一般入学 試験(Ⅱ期)	4日 獣医学研究 科獣医学専 攻入学試験	1日 卒業式
14日	第1回 年史実行委員会	5日 学術情報センタ ー運営委員会 (持ち回り)	5日 獣医学部転 学部・転学 科試験	2日 環境科学科 一般入学試験 (Ⅱ期)	4日 獣医学研究 科動物応用 科学専攻入 学試験 (～5日)	4日 一般入学試験 (二次)
15日	第1回 広報実行委員会	6日 評議会	7日 学部教務委員 会(持ち回り)	4日 教授会		4日 学年末試験 (～8日)
19日	第1回 大学・高校名検討 委員会	11日 国際交流委員 会	18日 臨時教授会	6日 学部教務委員 会(持ち回り)	6日 環境保健学 研究科委員 会	5日 部長会議
19日	第13回理事会	11日 生物研運営委員 会	18日 教授会 (持ち回り)	8日 生命・環境科学部 転学部・転学 科試験	7日 獣医学研究 科委員会	7日 運営委員会
19日	第4回給与委員会	12日 教務委員会	18日 学部学生指導委員 会	8日 生命・環境科学部 転学部・転学 科試験	7日 獣医学研究 科委員会	10日 入学予定者 説明会
22日	第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	13日 動物病院運営 会議(持ち回り)	25日 学部教務委員 会(持ち回り)	18日 臨時教授会	13日 臨時環境保健学 研究科委員 会	12日 部長会議
		15日 卒業式			18日 環境保健学 研究科委員 会(持ち回り)	14日 学年会議
		17日 ミニ・オープンキャンパス				19日 部長会議
		19日 公務員全国公開 模擬試験(就職)				21日 進級会議
		19日 臨時生物研運営委員 会(持ち回り)				21日 部会議
		21日 研究推進・支援 本部会				21日 職員会議
		25日 春期休業(～31日)				25日 終了式・離任式
		25日 キャリア・就職支援 対策委員会				25日 新年度準備会議
						25日 職員会議
						26日 春季休業 (～4/4)

4. 前年度決算監査における監事要望事項の履行状況

1 資産運用について

● 要望事項

資産運用については「資金運用規程」や「資金運用管理基準」を遵守して行われたものの、結果として多大の損失が生じた。

今後の資産運用に当たっては、元本が保証されることを基本として運用すること。

■ 履行状況

平成23年12月に当時資産運用していたSMA（投資一任契約）及びダイワ・グローバル債券ファンドを解約したことにより、平成23年度決算においては、多大な損失額を計上することとなった。

このことから、今後の資産運用については、「学校法人麻布獣医学園資金運用規程」及び「学校法人麻布獣医学園資金運用管理基準」を遵守し、元本の安全性の確保を最重要視するとともに、元本が保証され、リスクの極めて少ない国債や地方債等を中心に運用することとしている。

2 本学園の今後の在り方に関する委員会答申に対する取組について

● 要望事項

「本学園の今後の在り方に関する委員会」が2年間の検討を経て、問題点を分析及び改善すべき課題についての答申を行った。

今後、理事会はパブリックコメントでの意見等を含め十分検討を行った上で「本学園の今後の在り方」を明確なものとし、その上で優先順位を付けた工程表等を作成し進行管理を行い、提言にとどまることのないよう着実に取組を進めること。

特に、この提言の具現化に当たっては、財政上の検討を十分に行い、限られた財源や人材で対応することを基本として、効率の悪いものは大胆に整理し、改革を進めていくことが必要である。理事会が主導力を発揮してこの改革に着実に取り組んでいくことが求められる。

■ 履行状況

麻布獣医学園の今後の在り方については、委員会から平成24年3月に答申を受けて以降、理事会で検討の上、学内パブリックコメントを実施し、教職員各位から意見募集を行った後、新理事会に引き継がれた。

新理事会では、引き継いだ事項を精査し、改革に向けた具体的検討に着手し、平成24年10月までに「学園の今後の在り方答申に基づく改革の進め方」と題する18の改革項目に係る改革の課題整理及びスケジュールを策定した。

その後は学園の統治体制に着手し、平成24年10月からは高等学校改革を推進していくため、(仮称)高等学校運営会議を発足させて高等学校に関する諸課題に対応する体制を整えた。

また、ここに至るまでには、各部局別及び教員層については職階別に説明会を開催し、その内容の周知を図ったところである。

現在、答申内容に基づき具体的制度設計に取り組み、「新体制に関する基本的考え方」として新たな運営体制に関する制度設計(案)をとりまとめたところである。

今後は、この制度設計(案)について理事会で検討の上、麻布獣医学園職員会に提示するとともに、大学の教学組織である教授会等からも意見を聴取しながら、平成26年度から新体制が発足できるよう取り進めていくほか、学園の財務並びに教職員の人事計画及び労務管理に関する課題についても、順次取り組んでいく予定である。

3 大学院教育に係る抜本的な改革について

● 要望事項

これまで獣医学専攻については、定員充足数が収容定員を満たすことがない状況が続いてきている。このような状況を踏まえ、これらの要因についての分析等を十分に行い、教員と事務局が連携してその改善に向けて努力すること。

■ 履行状況

・抜本的な改革について

中央教育審議会（文部科学省諮問機関）の平成 17 年及び 23 年の大学院答申では、大学院修了者の質保証、専攻の枠を越えての組織的な教育・研究指導体制の構築、教員間の綿密な協議に基づく体系的な教育の充実など、大学院教育のより一層の組織的展開の強化に取り組むことが求められており、本学では、これらの提言に対応するため、実態に見合った入学定員数の見直しや融合型の専攻への再編（大学院組織改組）を考慮して教育組織の一本化、すなわち 1 研究科複数専攻制への変更を検討している。その前提条件として、平成 24 年度は、獣医学研究科と環境保健学研究科の両研究科の教員資格審査基準を統一した。

・原因：進学希望者への情報発進が不十分であるため。進学希望者への対応分野が充実できていないため。

1) 本学獣医学専攻博士課程の入学定員は 10 名（収容定員は 40 人）であり、他の私立獣医系大学と比較しても多い。本学では過去にこの入学定員（収容定員）を充足したことはない。社会情勢に鑑みると、6 年間の獣医学部生として高額な学費を負担した直後に、更に学費負担を強いて、また就職の機会を遅らせてまで、学部学生卒業直後の学生に博士課程大学院進学への希望を期待するのは難しい。せいぜい 5 名程度が妥当と考える。ただし、ここ 4 年間の入学者総数を他獣医学系大学と比較した場合、本学は見劣りしているのも事実であり、進学希望者確保のための本学の努力が足りないことは否めない。

2) 現在の社会情勢では内部進学者数に限度があると考えてはいるものの、官公庁や企業に既に勤務する社会人や動物病院で働く開業・勤務獣医師の中に、博士号の必要性を仕事上強く感じている者や高度な研究の必要性を感じている者、つまり博士号取得希望者が数多く存在しているのも事実である。

3) 本学では、10 月期（秋）入学、社会人特別選抜や RA 制度など大学院進学に有利な制度を導入しているにもかかわらず、世の中に十分周知できていないことから、本学獣医学専攻ではこれら進学希望者を取り込めていないと考える。

4) 基礎系や病態系分野に比較して臨床系分野への進学者が少ないことも課題として挙げられる。

・対策：内部進学者はもちろんのこと社会人をターゲットとした大学院進学希望者への広報活動（大学院生に対する恵まれた経済的及び研究環境の情報提供）を充実させること。社会人入学者を確保すること。本学の特徴的な研究の質のさらなる向上を徹底すること。

1) 授業料の負担を軽減できる RA 制度、個別に時間割を作成し丁寧に対応する社会人入学制度、大学院生への手厚い研究活動費の支給、最先端機器の導入と充実など、内部進学希望者や社会人にアピールできる（しなげればいけない）材料は多い。平成 24 年度は、社会人特別選抜用のパンフレットの作成、各機関への配布、雑誌への掲載等、社会人入学制度の広報活動に力を入れてきた（継続中である）。また、これまで実施されてこなかったオープンキャンパスを利用した広報活動も始めるようにした。

2) さらに、まだ承認はされていないが、平成 26 年度からの長期履修学生制度（とりあえず社会人

に限る)の導入を目指して、規則制定にも取り組んでいる。平成25年度中には外国人留学生に対する入学試験も対応することとしている。

3) 平成26年度からは研究科委員であれば、教授だけでなく准教授も指導教員となれるよう規則を改正(平成24年度)し、募集可能な「対応する研究領域」を増やし、臨床系分野を含む幅広いニーズに対応できるよう改善を進めた。

4) 最も本質的で重要でアピール度が高いのは、研究内容を質、量ともに充実させるのは言うまでもない。獣医学専攻の最も大きな特徴は、動物に関して高度なレベルの研究に専念できるということである。そのためには、レベルの高い教員による質の高い研究を実施することが学生への最も大きなアピールとなる。その一貫として他大学と比べても研究科委員の資格審査基準をより高いレベルで充実させてきた。学生の論文発表会も念入りに厳密に審査するように改善し、質の確保を図っている。また高精度、最先端の共用機器も充実されつつある。これらを反映して、ここ数年間、確実に研究のレベルは上がっている。発表論文数の増加だけでなく、論文内容と掲載雑誌の質をみれば明らかである。在学生達も実感してきている段階だと考えている。

これらを通して、潜在的な獣医学専攻大学院進学希望者を取り込んで定員を確保できる可能性は十分にあると考えている。ただし、本学大学院での上述の取組状況を対外的に浸透させ、効果をみるためには、もう少し時間(2年間程度)が必要である。なお、平成24年度は4月期及び10月期入学者を合わせて8人を確保した。そのうち、社会人入学者が2人である。

4 学園における不祥事の防止について

● 要望事項

平成19年から20年にかけて発生した不祥事について学園が行った処分を不服として提起された3件の訴訟は、学園側の主張が認められて結審した。学園は、各訴訟の背景や原因等を見極めるための「学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会」を設け、23年度には当該委員会から再発防止を重点とした答申を受けている。

学園は、これを今後の重要課題として受け止め、学園における組織人としての心構え、倫理観の醸成に関する研修など、階層別、計画的な研修を実施するとともに学園内の関係者間の意思疎通に努め、かかる事態の再発防止を図ること。

■ 履行状況

学園における不祥事の再発防止について、ここ数年、ハラスメント事案に係る懲罰が数件発生していることから、平成24年度においては、ハラスメント防止に関する加害者及び被害者双方の視点から問題意識を喚起するよう、大学教員、高校教職員、事務職員及び高校生徒の層別に、教育講演会及び研修会を計4回開催したところである。

ハラスメントに関する教育講演会及び研修会については、平成11年度から継続的に取り組んでおり、ここ数年は、懲罰事案が数件あったこと、また、その事案の内容をより詳細に公表したこと等により、教職員のハラスメントに関する意識の向上が認められつつある。

今後は、ハラスメントのみならず一歩進めた広い視点から、教育機関に所属する組織人としての心構え、倫理観、社会規範、職場風土等の意識の定着と醸成を趣旨とした内容についても、講演会又は研修会を実施する予定である。

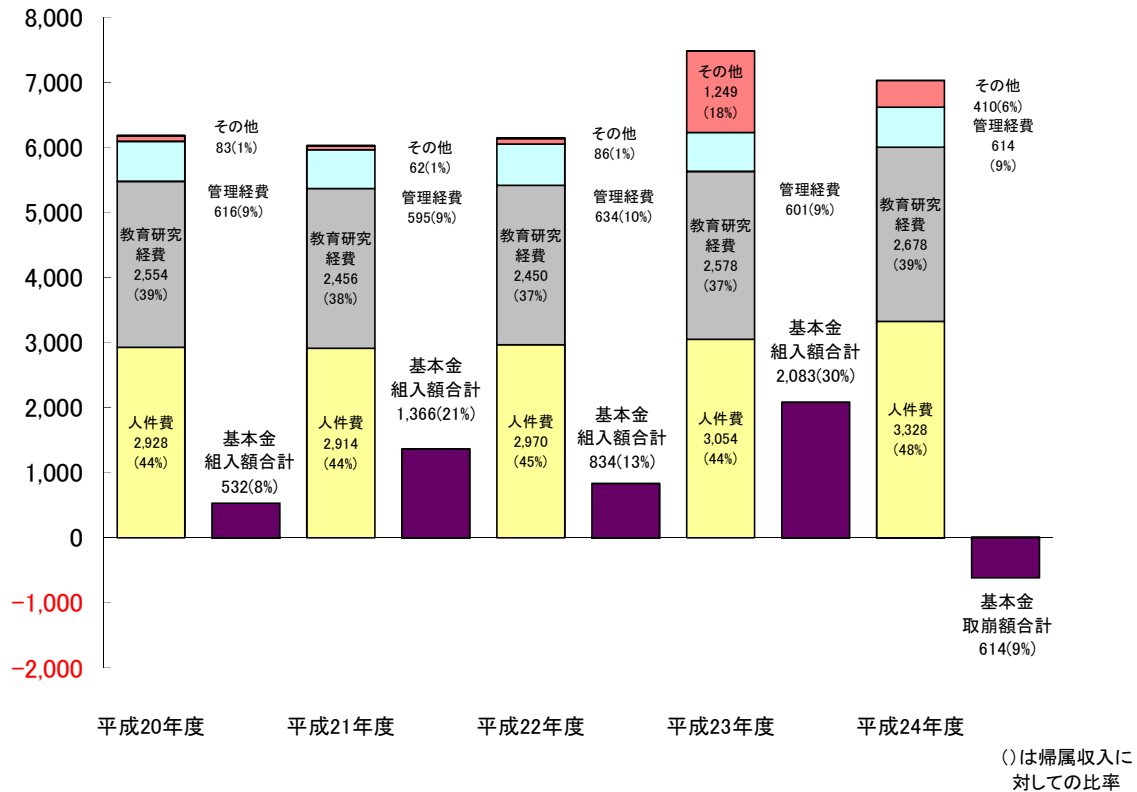
また、職員間の意思疎通を深めるため、平成24年度においても学園の今後の在り方について、教職員各階層と意見交換の場を持つなど、その対応に取り組んでおり、今後とも教職員と話し合う機会を作っていきたいと考えている。

III 財務の概要

1. 財務状況の推移

(単位百万円)

消費支出及び基本金組入額



●消費支出とは、教育研究その他の諸活動に対応して消費した財貨と用役の額を示したもので、以下のようなものがある。

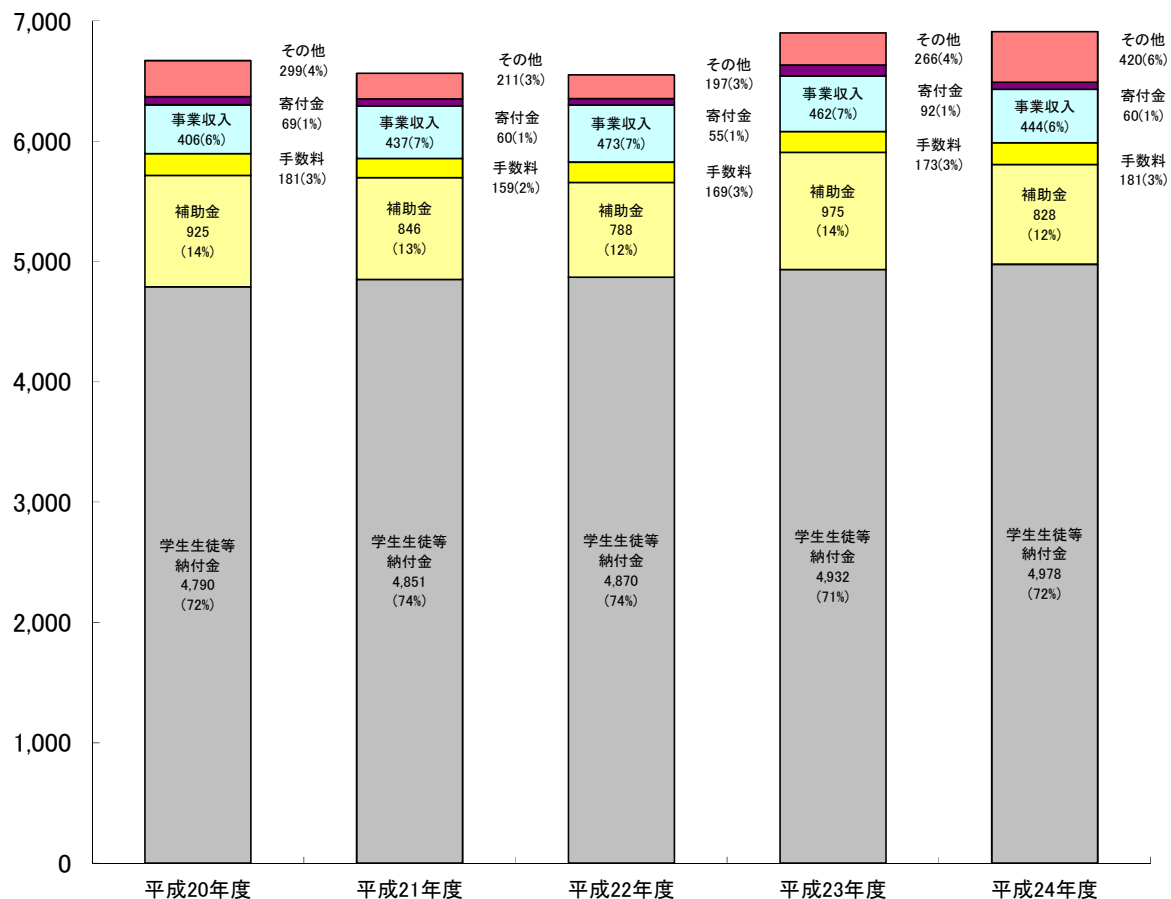
- 人件費
教員人件費、職員人件費、退職給与引当繰入額など
- 教育研究経費
消耗品費、光熱水費、業務委託費、減価償却費など
- 管理経費
消耗品費、光熱水費、業務委託費、減価償却費など
- その他
資産処分差額など上記各科目に該当しないもの

●基本金組入額とは、「学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため、維持すべきものとして帰属収入のうちから組み入れた金額」で、組み入れるべき金額としては、教育の用に供される固定資産額で、以下のようなものがある。

- 基本金組入額合計
建物、構築物、教育研究用機器備品、図書などの取得価額の合計

帰属収入

(単位百万円)



()は帰属収入に対するの比率

●帰属収入とは、学校法人の負債とならない収入で、以下のようなものがある。

- 学生生徒等納付金
入学金, 授業料, 実験実習費など
- 補助金
国庫補助金, 地方公共団体補助金など
- 手数料
入学検定料, 試験料, 証明手数料など
- 事業収入
附属病院収入, 受託事業収入など
- 寄付金
特別寄付金, 一般寄付金, 現物寄付金
- その他
受取利息配当金, 施設設備利用料, 雑収入など

		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
消費収支計算書関係												
人件費比率	人件費	43.5	42.0	52.2	42.9	40.6	41.7	43.9	44.4	45.3	44.3	48.2
↓	／帰属収入	(52.0)	(52.0)	(52.2)	(51.3)	(52.0)	(51.4)	(52.8)	(52.6)	(52.9)	(54.0)	
人件費依存率	人件費	57.4	54.3	68.1	55.6	54.6	57.9	61.1	60.1	61.0	61.9	66.9
↓	／学生生徒等納付金	(69.3)	(69.6)	(70.2)	(70.7)	(71.3)	(71.7)	(72.3)	(72.4)	(72.0)	(74.4)	
教育研究経費比率	教育研究経費	30.6	32.2	35.4	33.2	42.2	42.2	38.3	37.4	37.4	37.4	38.8
↑	／帰属収入	(26.7)	(27.4)	(28.3)	(28.5)	(29.3)	(29.7)	(31.0)	(30.9)	(30.9)	(30.9)	
管理経費比率	管理経費	6.5	7.5	7.9	9.0	10.0	9.9	9.2	9.1	9.7	8.7	8.9
↓	／帰属収入	(7.8)	(7.9)	(8.5)	(8.5)	(8.5)	(8.7)	(9.9)	(10.3)	(8.8)	(8.7)	
借入金等利息比率	借入金等利息	0.2	0.2	0.1	0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	1.0	1.0
↓	／帰属収入	(0.6)	(0.6)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	
消費収支比率	消費支出	93.3	94.5	100.8	93.1	132.5	96.7	100.7	116.0	107.4	155.3	101.7
↓	／消費収入	(105.3)	(105.7)	(107.2)	(107.5)	(107.8)	(108.3)	(115.0)	(110.8)	(110.5)	(109.2)	
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	75.9	77.3	76.6	77.2	74.4	71.9	71.8	73.9	74.3	71.5	72.0
～	／帰属収入	(75.1)	(74.7)	(74.4)	(72.6)	(72.9)	(71.6)	(73.0)	(72.7)	(73.4)	(72.7)	
寄付金比率	寄付金	1.8	1.1	1.1	0.9	1.4	1.1	1.0	0.9	0.8	1.3	0.9
↑	／帰属収入	(2.4)	(2.3)	(1.9)	(3.4)	(2.3)	(3.0)	(2.4)	(2.5)	(2.6)	(2.3)	
補助金比率	補助金	12.8	12.9	12.5	12.5	13.2	14.3	13.9	12.9	12.0	14.1	12.0
↑	／帰属収入	(12.6)	(12.6)	(12.7)	(12.5)	(12.3)	(12.1)	(12.5)	(12.9)	(12.4)	(12.4)	
基本金組入率	基本金組入額	12.6	9.5	-8.7	7.7	27.9	0.0	8.0	20.8	12.7	30.2	0.0
↑	／帰属収入	(14.9)	(15.4)	(15.2)	(15.9)	(14.6)	(14.5)	(13.2)	(13.1)	(13.4)	(11.6)	
帰属収支差額率	帰属収入－消費支出	18.4	14.4	-9.6	14.1	4.5	3.3	7.3	8.2	6.3	-8.4	-1.7
↑	／帰属収入	(10.4)	(10.5)	(9.1)	(9.6)	(8.0)	(7.4)	(0.2)	(3.7)	(4.4)	(3.4)	
貸借対照表関係												
固定比率	固定資産	100.5	101.7	103.4	110.4	110.5	112.2	110.8	109.6	118.5	114.6	112.2
↓	／自己資金	(97.7)	(98.4)	(98.5)	(98.7)	(98.7)	(98.5)	(99.4)	(100.0)	(99.8)	(100.1)	
固定長期適合率	固定資産	95.2	96.5	95.9	94.7	94.9	96.9	96.5	96.1	96.3	93.1	92.5
↓	／自己資金＋固定負債	(88.9)	(88.6)	(90.0)	(90.5)	(90.8)	(91.0)	(91.8)	(92.0)	(92.1)	(92.2)	
流動比率	流動資産	186.9	171.8	182.0	222.8	210.1	163.1	173.0	181.7	179.9	232.7	206.4
↑	／流動負債	(265.7)	(249.2)	(257.7)	(253.0)	(247.6)	(251.2)	(238.6)	(232.7)	(236.6)	(230.3)	
総負債比率	総負債	10.2	9.4	11.7	17.7	17.8	17.6	16.9	16.4	22.3	22.8	23.0
↓	／総資産	(14.6)	(16.3)	(14.1)	(13.6)	(13.4)	(12.8)	(12.7)	(13.2)	(12.8)	(13.1)	
負債比率	総負債	11.3	10.4	13.3	21.5	21.7	21.4	20.4	19.6	28.7	29.5	29.9
↓	／自己資金	(17.2)	(19.4)	(16.4)	(15.8)	(15.5)	(14.7)	(14.6)	(15.2)	(14.7)	(15.1)	
自己資金構成比率	自己資金	89.8	90.6	88.3	82.3	82.2	82.4	83.1	83.6	77.7	77.2	77.0
↑	／総資金	(85.4)	(83.7)	(85.9)	(86.4)	(86.6)	(87.2)	(87.3)	(86.8)	(87.2)	(86.9)	
消費収支差額	消費収支差額	-8.1	-6.6	-6.8	-4.6	-10.2	-9.0	-9.0	-11.9	-12.2	-21.4	-19.7
構成比率	／総資金	(-0.2)	(-5.4)	(-2.3)	(-2.6)	(-3.6)	(-4.6)	(-6.8)	(-8.1)	(-9.3)	(-10.5)	

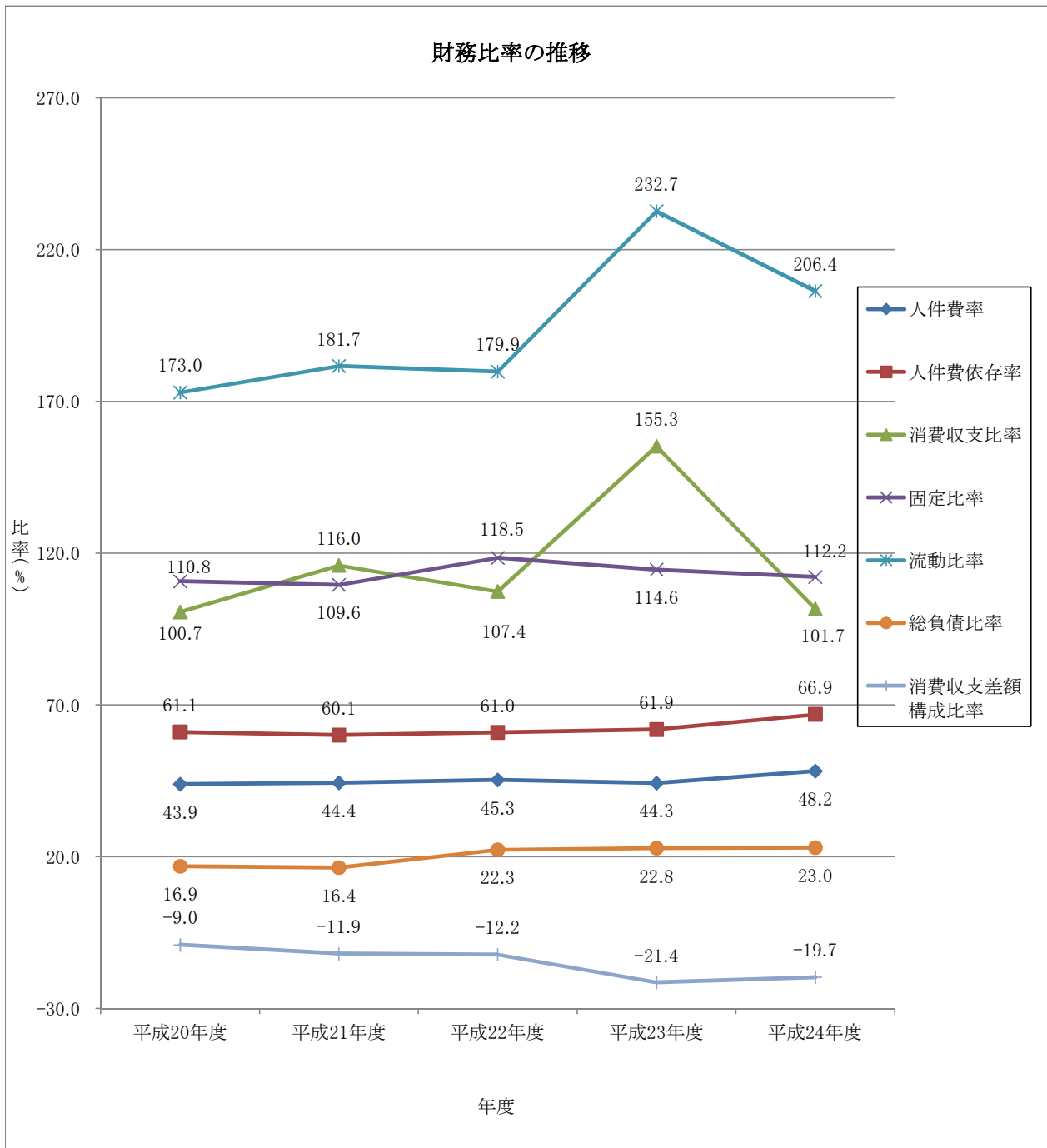
【注】1. ()内の数字は「今日の私学財政(大学・短期大学編)」(日本私立学校振興・共済事業団編)に記載されている医歯系法人を除く大学法人の平均値を示す。

2. 総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額 自己資金＝基本金＋消費収支差額

3. ↑:高い値がよい。↓:低い値がよい。～:どちらともいえない。

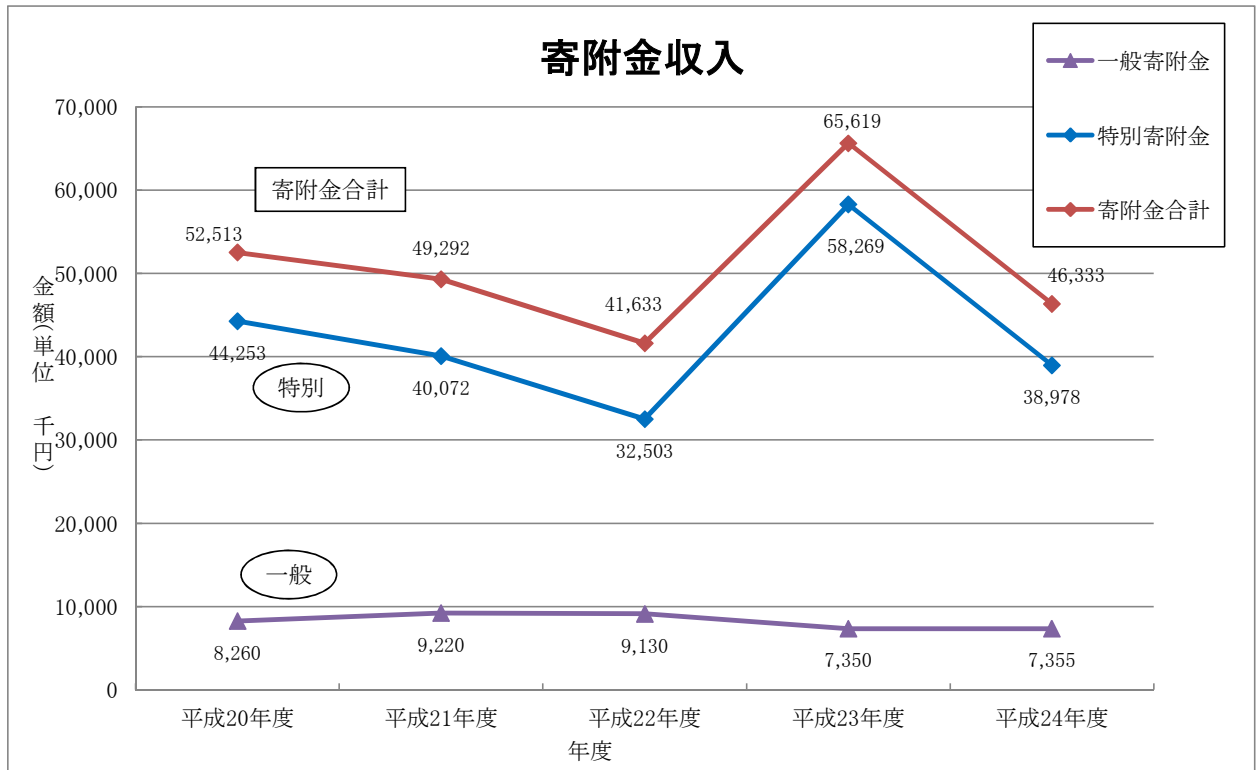
● 財務比率の推移

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人件費率	人件費/帰属収入	43.9	44.4	45.3	44.3	48.2
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	61.1	60.1	61.0	61.9	66.9
消費収支比率	消費支出/消費収入	100.7	116.0	107.4	155.3	101.7
固定比率	固定資産/自己資金	110.8	109.6	118.5	114.6	112.2
流動比率	流動資産/流動負債	173.0	181.7	179.9	232.7	206.4
総負債比率	総負債/総資産	16.9	16.4	22.3	22.8	23.0
消費収支差額構成比率	消費収支差額/総資金	-9.0	-11.9	-12.2	-21.4	-19.7



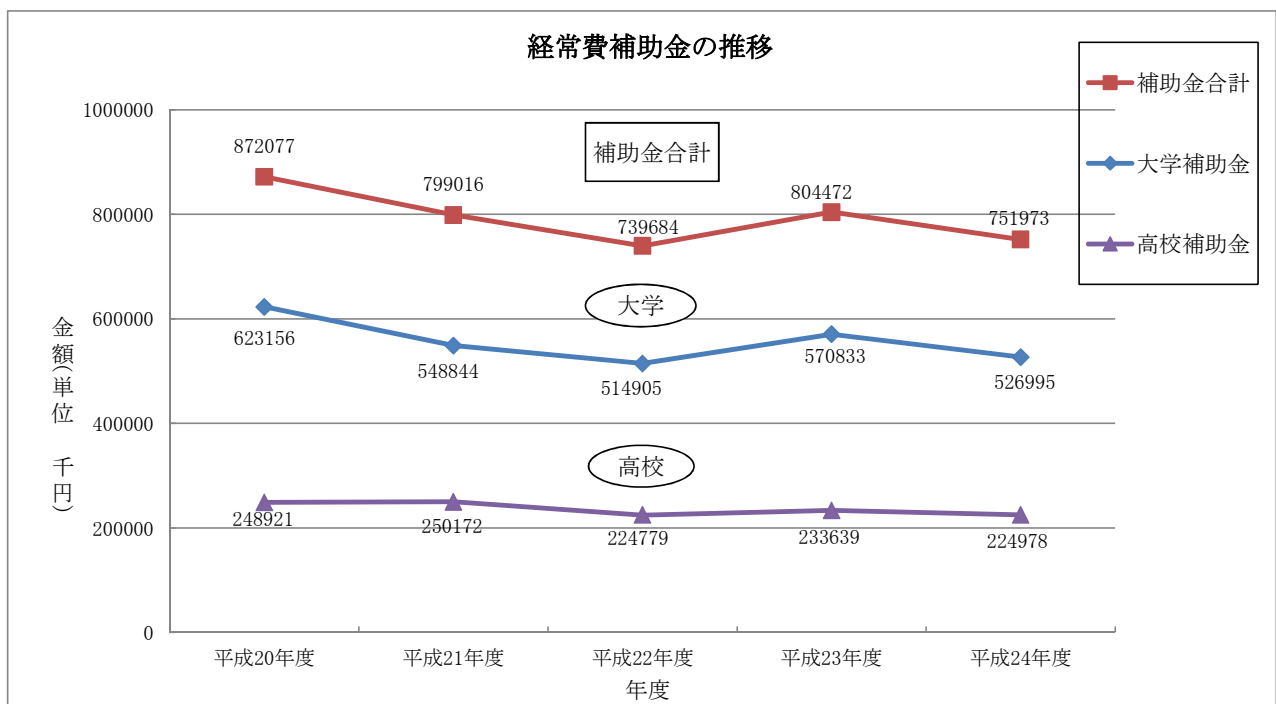
3. 寄附金収入の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般寄附金	8,260,000	9,220,000	9,130,000	7,350,000	7,355,000
特別寄附金	44,252,793	40,072,100	32,502,955	58,269,310	38,977,662
寄附金合計	52,512,793	49,292,100	41,632,955	65,619,310	46,332,662

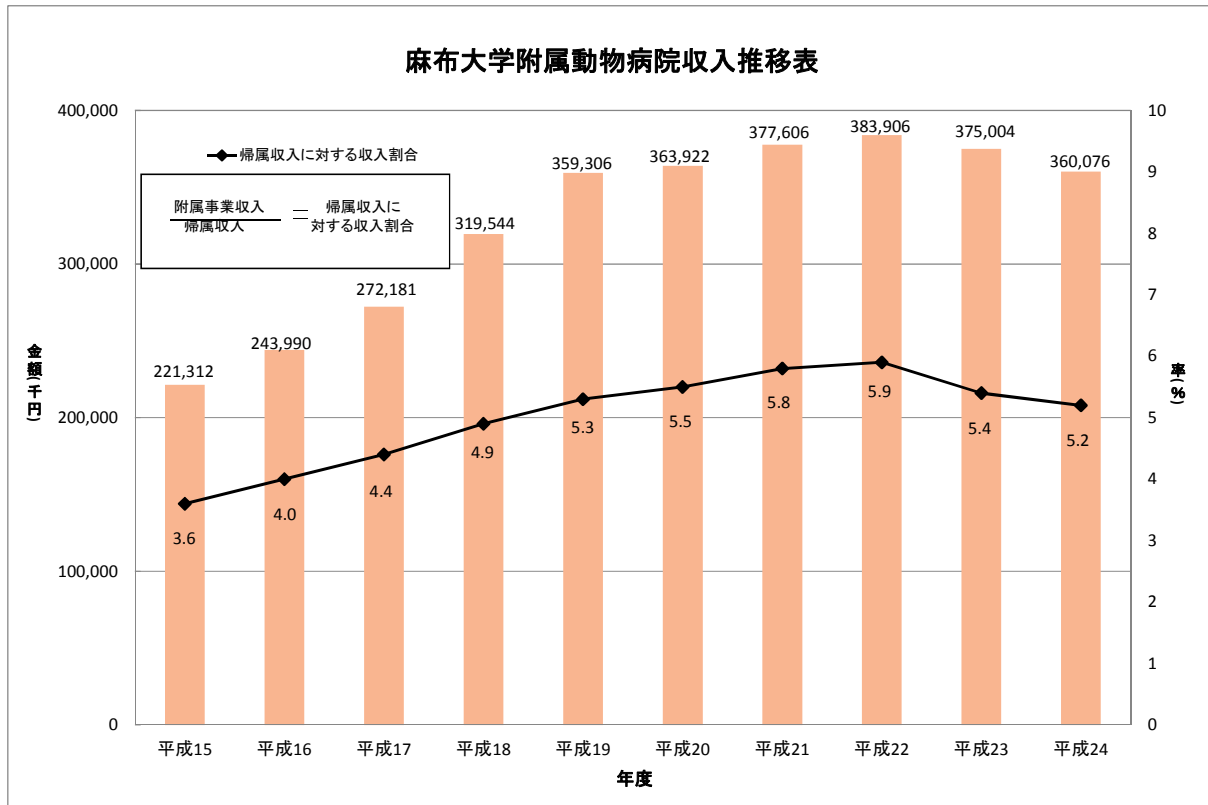


4. 経常費補助金の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大学補助金	623,156,000	548,844,000	514,905,000	570,833,000	526,995,000
高校補助金	248,921,000	250,172,000	224,779,000	233,639,000	224,978,000
補助金合計	872,077,000	799,016,000	739,684,000	804,472,000	751,973,000



5. 動物病院収入の推移



※ 動物病院は、平成19年4月に獣医学部附属から麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更

6. 資金残高

平成25年3月31日現在

